

# 川俣町 住民意向調査 報告書

平成26年3月

復 興 庁  
福 島 県  
川 俣 町



# 川俣町 住民意向調査

## 報告書

### 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1-1 調査目的.....	3
1-2 調査内容.....	3
1-3 調査設計.....	3
1-4 回収結果.....	3
1-5 報告書の見方.....	3
<b>II 回答者の属性</b> .....	5
2-1 回答者の属性.....	7
<b>III 調査結果</b> .....	11
3-1 現在の状況.....	13
3-1-1 現在の避難先自治体.....	13
3-1-2 世帯構成・人数.....	14
3-1-3 職業.....	21
3-1-4 住居形態.....	29
3-1-5 自動車保有.....	33
3-1-6 ペットの有無.....	34
3-2 復興公営住宅の入居意向.....	35
3-2-1 復興公営住宅への入居希望.....	35
3-2-2 復興公営住宅の入居を現時点で判断できない理由.....	39
3-2-3 入居を希望する地域と家族構成.....	40
3-2-4 分散して入居する場合の住居形態.....	42
3-2-5 分散して避難している家族との同居意向.....	43
3-2-6 復興公営住宅に入居を希望する自治体を選んだ理由.....	44
3-2-7 復興公営住宅の近隣に必要な施設・機能.....	46
3-2-8 復興公営住宅に入居する場合に必要なサービス.....	47
3-2-9 復興公営住宅以外の避難期間中の住居.....	48
3-2-10 現在の住居で継続して暮らしたい理由.....	49
3-2-11 避難期間中、転居を希望する自治体.....	50
3-2-12 避難期間中、転居する場合の住宅形態.....	51
3-2-13 避難期間中の住宅や居住環境についての意見.....	52

3-2-14	避難期間中の生活において、困っていることや改善を求めること	53
<b>3-3</b>	<b>将来の意向</b>	<b>55</b>
3-3-1	今後の職業についての意向	55
3-3-2	職場を選ぶ際に重要視すること	57
3-3-3	山木屋地区への帰還意向	58
3-3-4	山木屋地区への帰還を判断する上で必要と思う情報	60
3-3-5	帰還する場合の住居形態	62
3-3-6	元の持ち家に戻る場合に必要な修繕	63
3-3-7	帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由	64
3-3-8	川俣町へ帰還する場合に行政に望む支援	65
3-3-9	現時点で戻らないと決めている理由	66
3-3-10	帰還しない場合に居住したい自治体	68
3-3-11	帰還しない場合の住居形態	69
3-3-12	帰還しない場合に今後の生活において求める支援	70
<b>3-4</b>	<b>意見・要望</b>	<b>71</b>
<b>IV</b>	<b>参考資料</b>	<b>85</b>
4-1	使用調査票	87

# I 調査の概要



## 1-1 調査目的

本調査は、川俣町の避難指示解除準備区域及び居住制限区域（山木屋地区）住民の復興公営住宅の入居意向や帰還に関する意向等を把握し、帰還に向けた諸施策を適切に実施するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	川俣町内
(2) 調査対象と標本数	避難指示解除準備区域及び居住制限区域(山木屋地区)の世帯の代表者 551 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成 26 年 1 月 15 日（水）～平成 26 年 1 月 29 日（水）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、川俣町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 1-4 回収結果

有効回収数 322 件（有効回収率 58.4%）

## 1-5 報告書の見方

- ・調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・図表において、比率が少ない選択肢については、比率の表示を省略している場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。



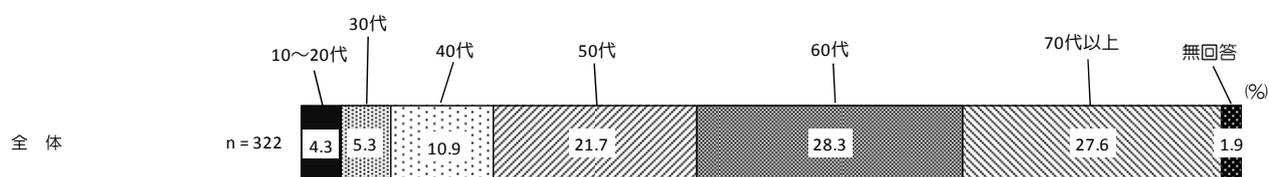
## II 回答者の属性



## 2-1 回答者の属性

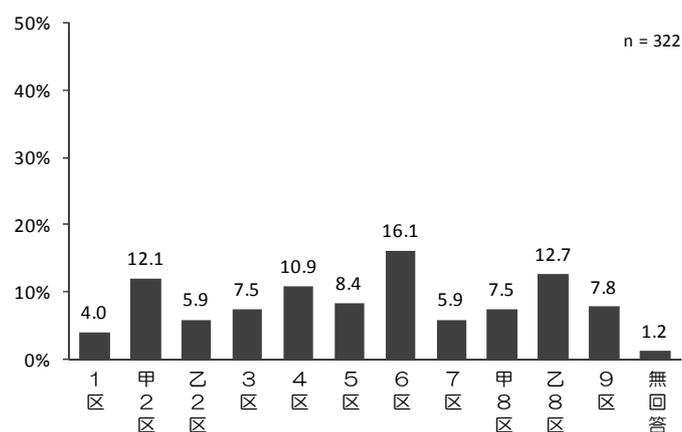
### (1) 年齢

<図表2-1-1 年齢>



### (2) 震災および原発事故発生当時居住していた行政区

<図表2-1-2 震災および原発事故発生当時居住していた行政区>



### (3) 震災および原発事故発生当時の世帯での立場

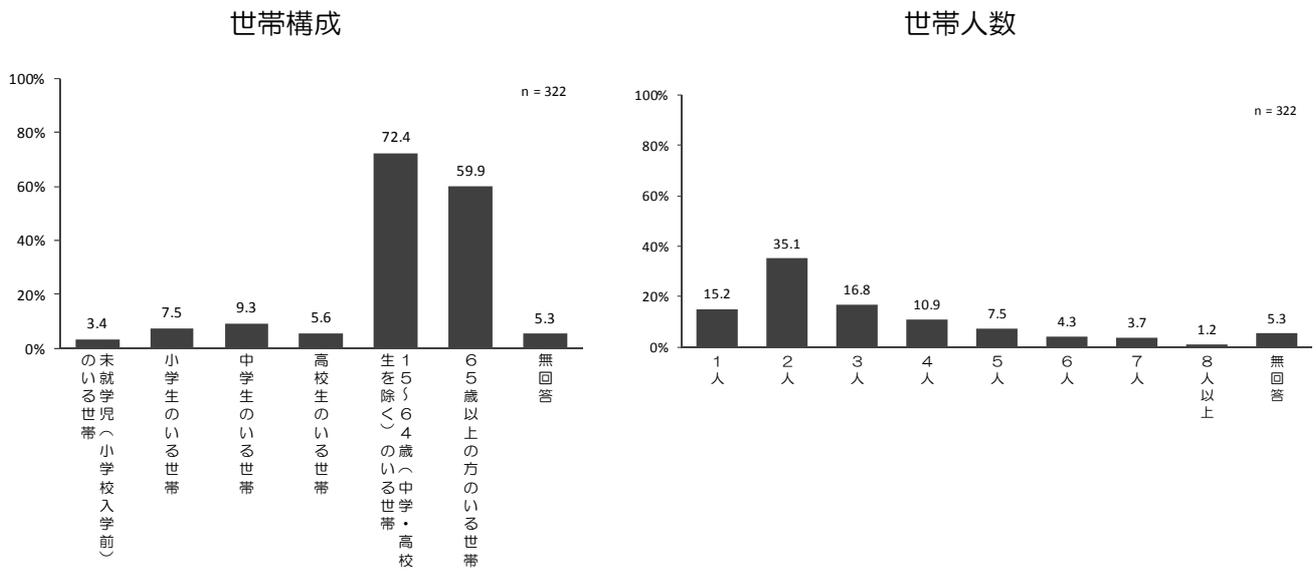
<図表2-1-3 震災および原発事故発生当時の世帯での立場>



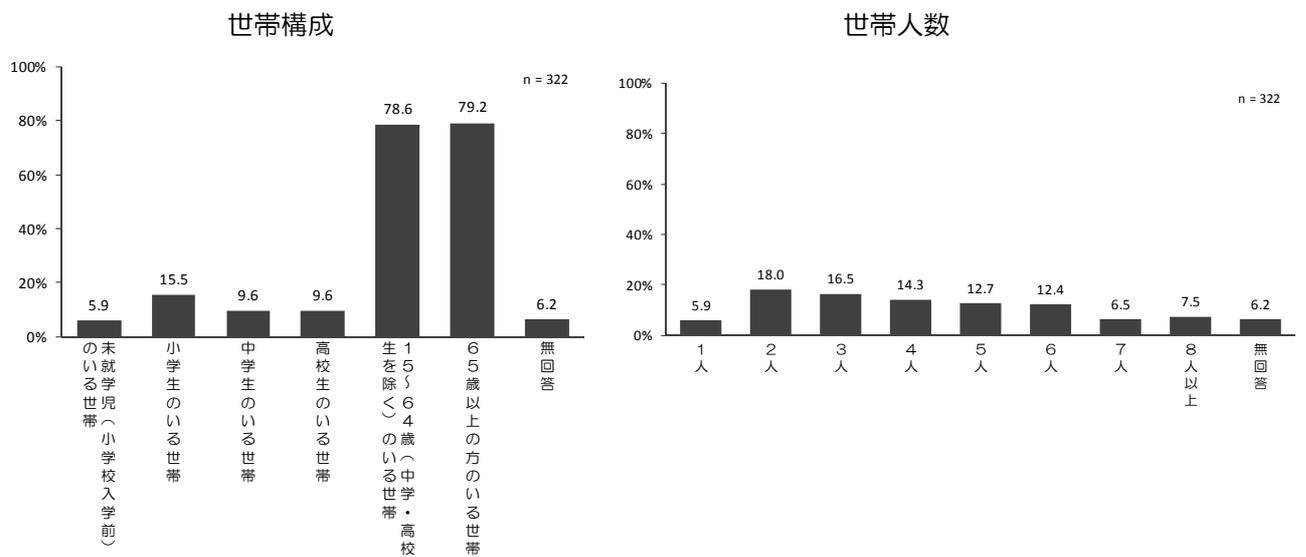
## II 回答者の属性

### (4) 世帯構成・人数

<図表2-1-4 現在の世帯構成・人数>

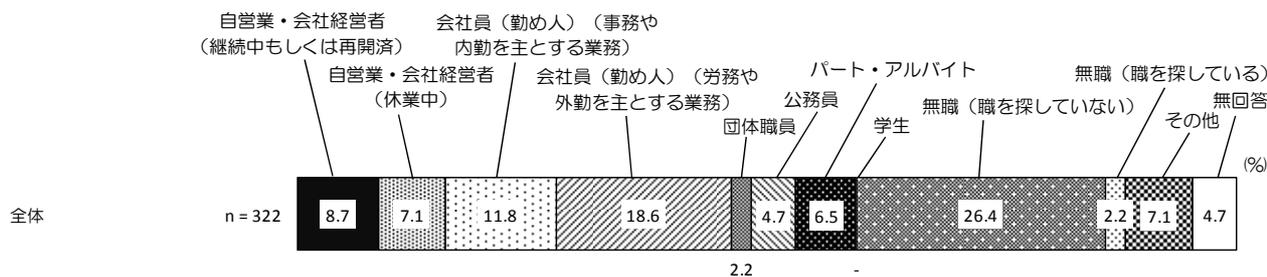


<図表2-1-5 震災および原発事故発生当時の世帯構成・人数>

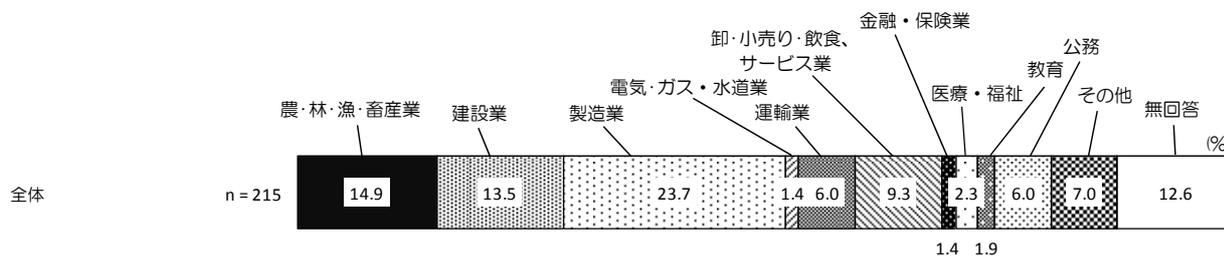


(5) 職業

<図表2-1-6 現在の職業（就業形態）>



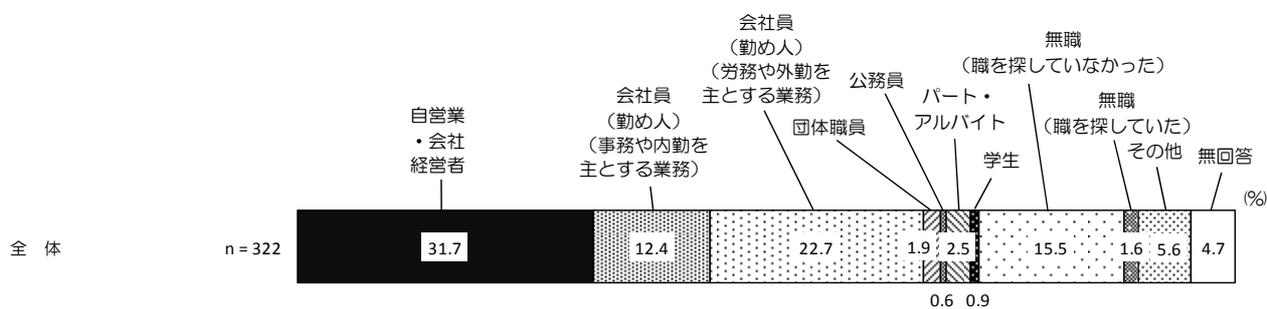
<図表2-1-7 現在の業種>



<図表2-1-8 現在の就業先>

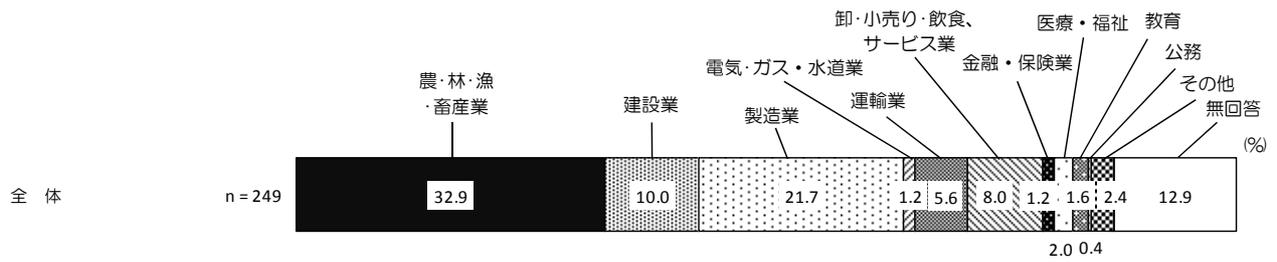


<図表2-1-9 震災および原発事故発生当時の職業（就業形態）>



## II 回答者の属性

<図表2-1-10 震災および原発事故発生当時の業種>

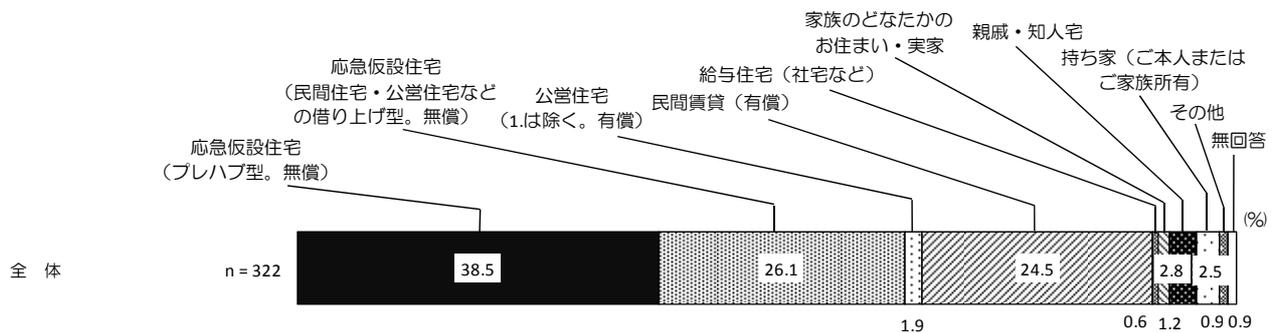


<図表2-1-11 震災および原発事故発生当時の就業先>

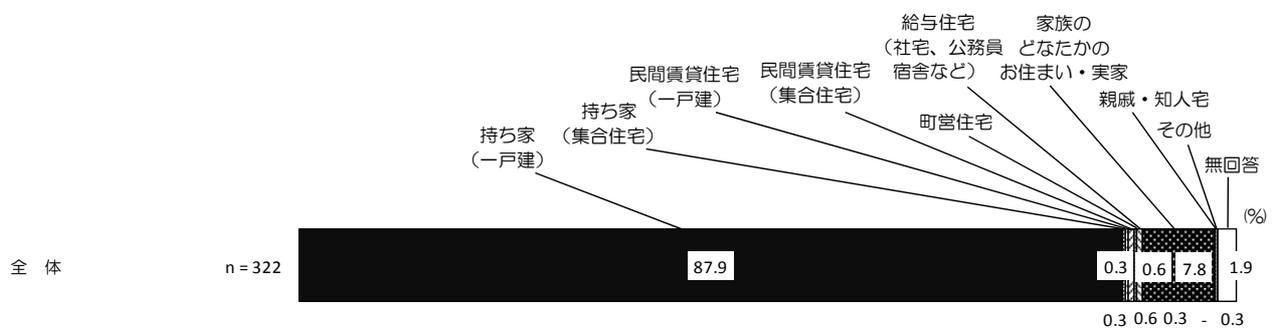


### (6) 住居形態

<図表2-1-12 現在の住居形態>



<図表2-1-13 震災および原発事故発生当時の住居形態>



### **III 調査結果**



### 3-1 現在の状況

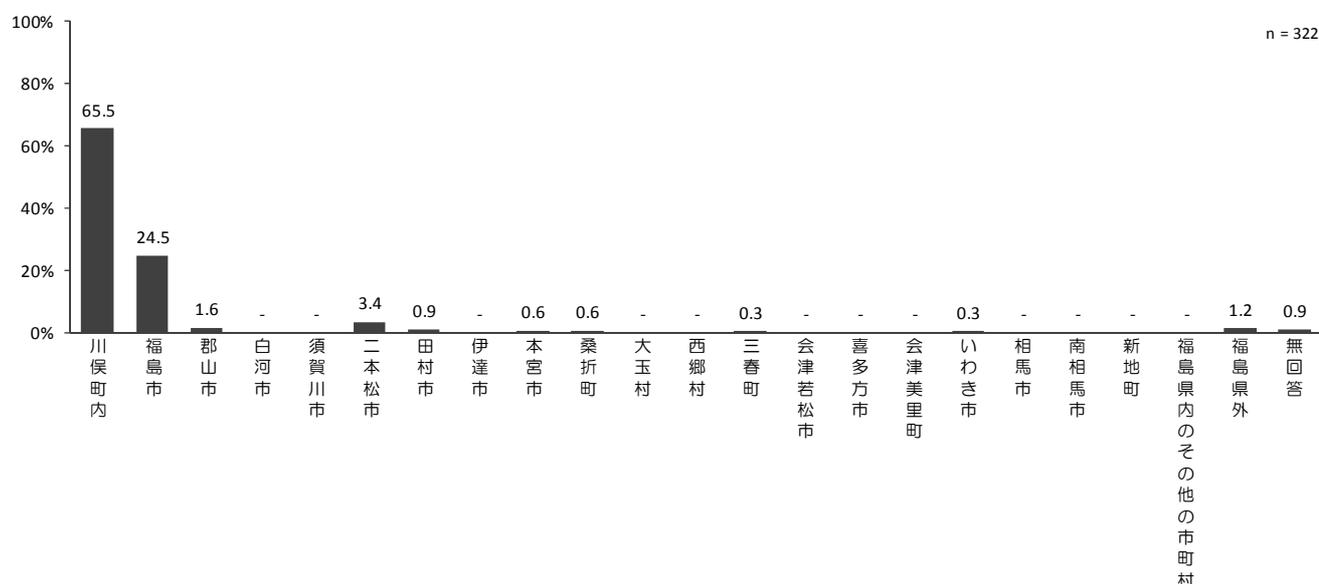
#### 3-1-1 現在の避難先自治体

問7 あなたが現在避難されている先の自治体を教えてください。(〇は1つ)

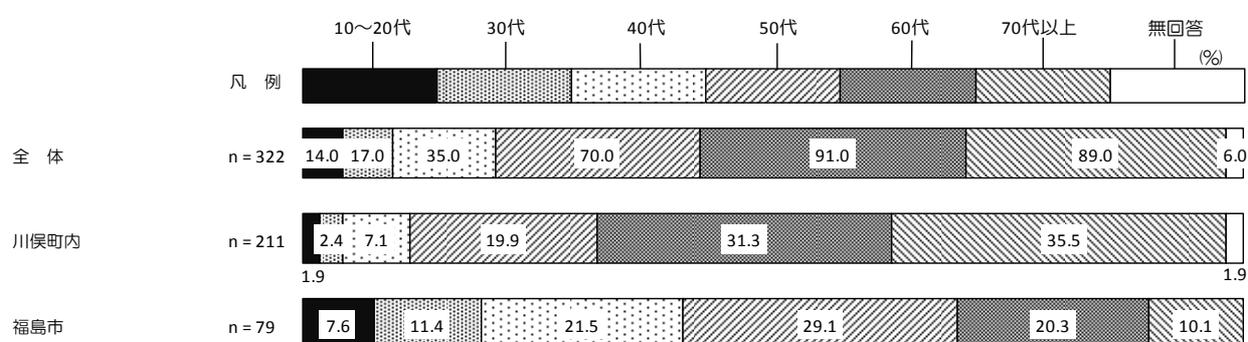
現在の避難先自治体について、「川俣町内」(65.5%)が最も多く、次いで「福島市」(24.5%)、「二本松市」(3.4%)となっている。

主な避難先自治体について、世帯主の年齢構成をみると、川俣町内では60代以上の高齢者が6割以上を占めているのに対し、福島市では40代(21.5%)、50代(29.1%)が多くなっている。

<図表3-1-1-1 現在の避難先自治体>



<図表3-1-1-2 主要な避難先自治体の世帯主の年齢構成>



### III 調査結果

#### 3-1-2 世帯構成・人数

##### (1) 震災および原発事故発生当時の世帯での立場

問4 あなたは、震災および原発事故発生当時、世帯主でしたか。(〇は1つ)

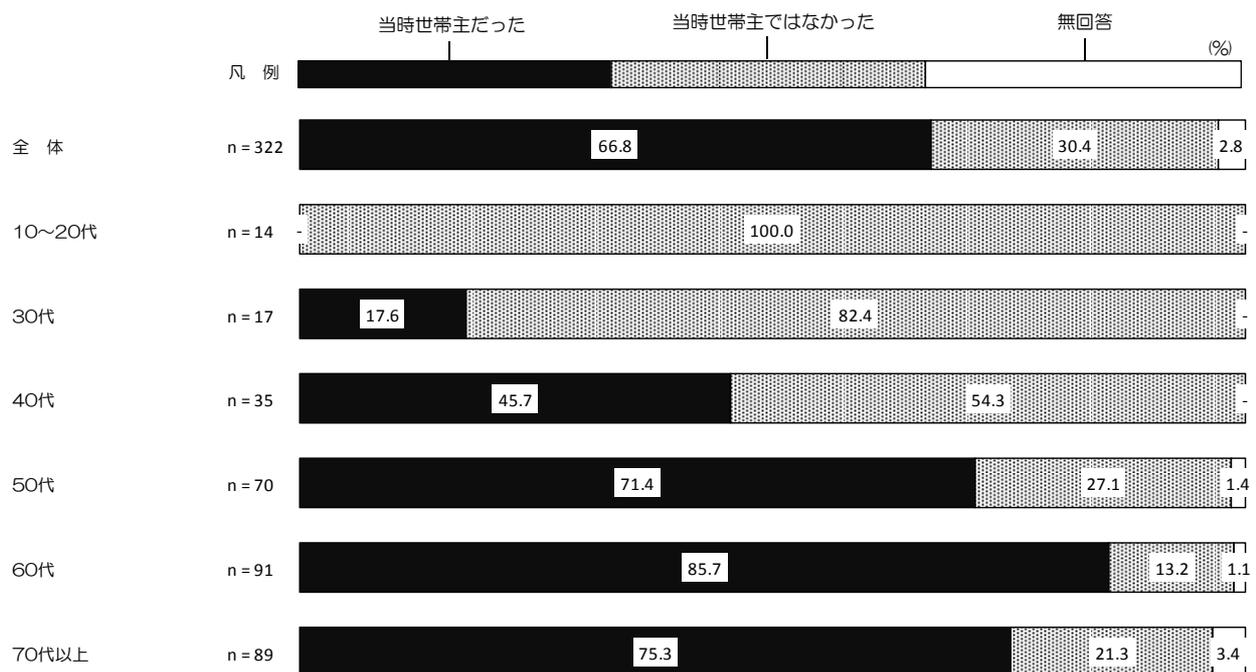
震災および原発事故発生当時の世帯での立場について、「当時世帯主だった」(66.8%)が最も多く、6割を超えている。

世帯主の年齢別にみると、「当時世帯主だった」は、概ね上の年齢層で割合が高くなっており、50代(71.4%)、60代(85.7%)、70代以上(75.3%)では7割を超えている。

<図表3-1-2-1 震災および原発事故発生当時の世帯での立場>



<図表3-1-2-2 震災および原発事故発生当時の世帯での立場(世帯主の年齢別)>



(2) 現在の世帯構成・人数

問8 現在の世帯構成についてうかがいます。

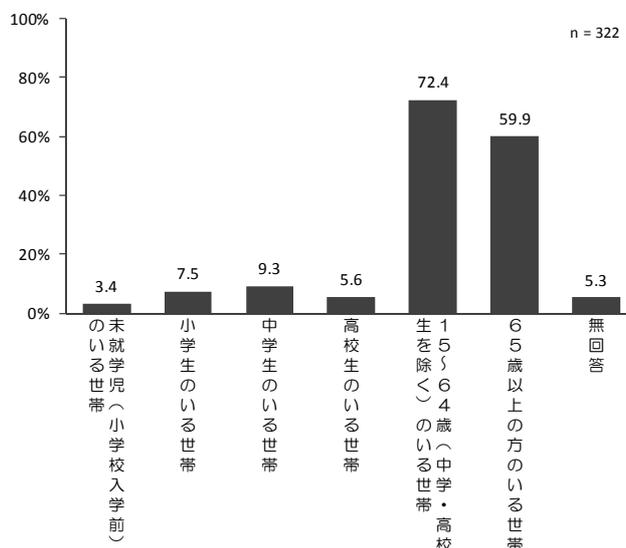
(1) 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

①現在の世帯構成

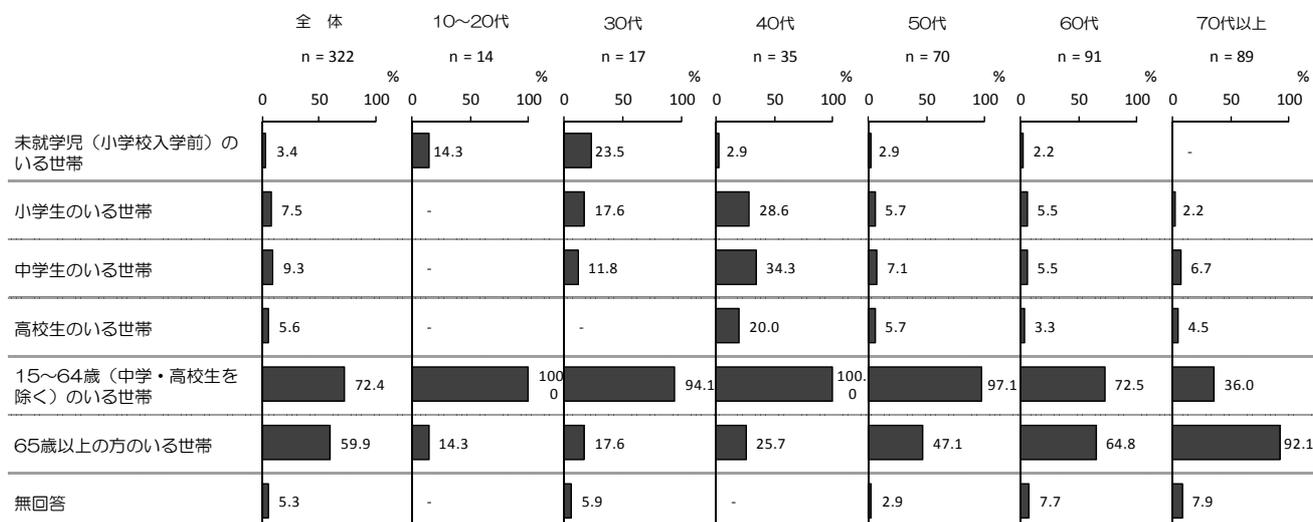
現在の世帯構成は、高校生以下(「未就学児」「小学生」「中学生」「高校生」)が同居する世帯はそれぞれ1割未満、一方で「65歳以上の方のいる世帯」は59.9%となっている。

年齢別にみると、「15～64歳(中学・高校生を除く)のいる世帯」が、概ねいずれの年齢層でも多くなっているが、30代では「未就学児」(23.5%)、40代では「小学生」(28.6%)、「中学生」(34.3%)が2～3割と多い。

<図表3-1-2-3 現在の世帯構成>



<図表3-1-2-4 現在の世帯構成 (世帯主の年齢別)>



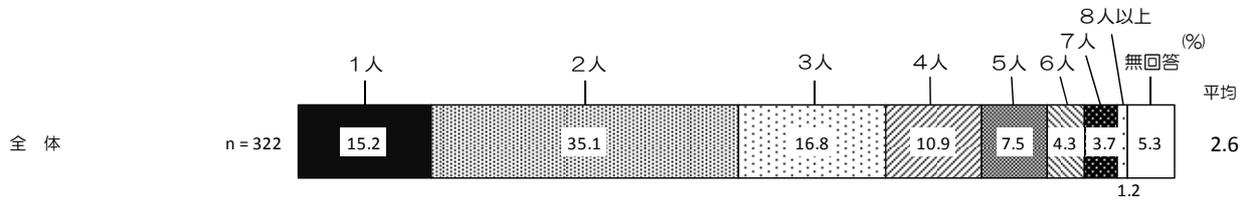
### Ⅲ 調査結果

#### ②現在の世帯人数

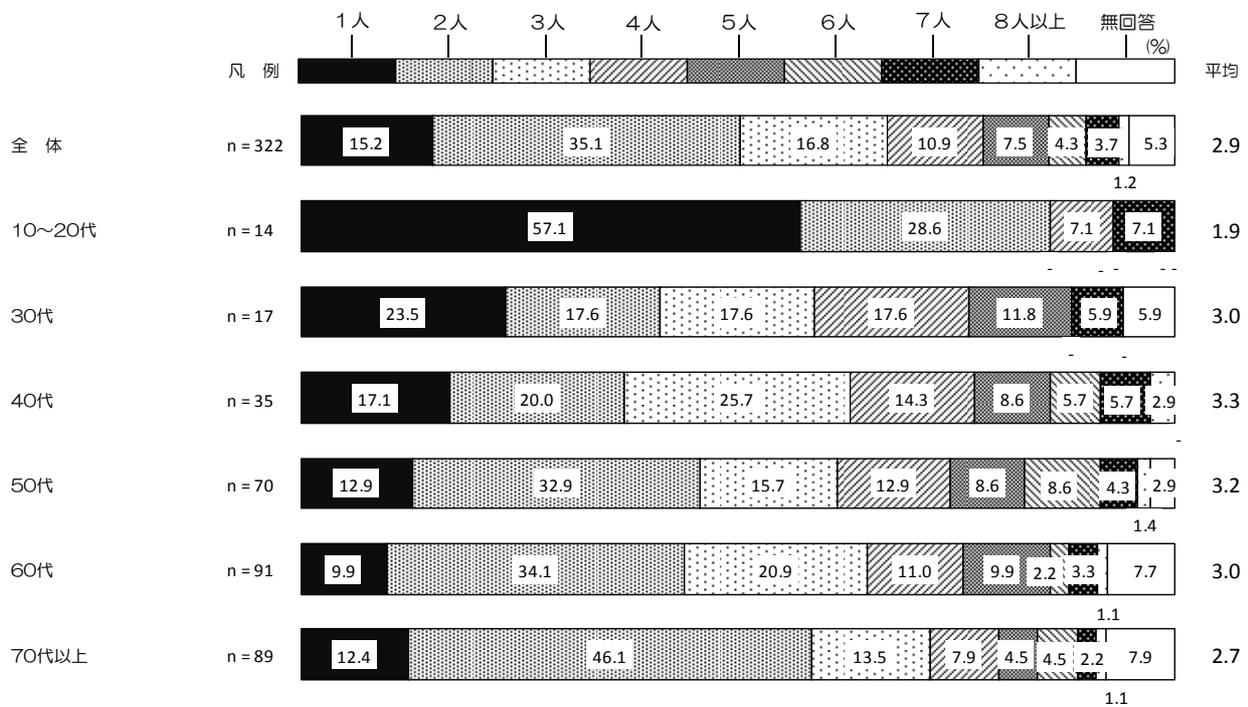
現在の世帯人数については、「2人」が35.1%と最も高く、次いで「3人」が16.8%となり、「1人」が15.2%、平均人数は2.6人となっている。

世帯主の年齢別にみると、10～20代では「1人」が約6割となっており、他の年齢層に比べ割合が高い。また「2人」は概ね年齢層があがるにつれ多くなっており、70代以上（46.1%）で5割弱となっている。

<図表3-1-2-5 現在の世帯人数>



<図表3-1-2-6 現在の世帯人数（世帯主の年齢別）>



(3) 震災および原発事故発生当時の世帯構成・人数

問8 現在と震災および原発事故発生当時の世帯構成についてうかがいます。

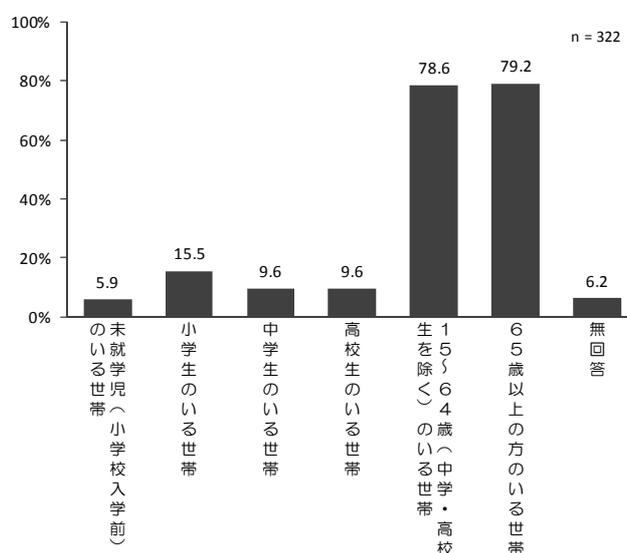
(2) 震災および原発事故発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

①震災および原発事故発生当時の世帯構成

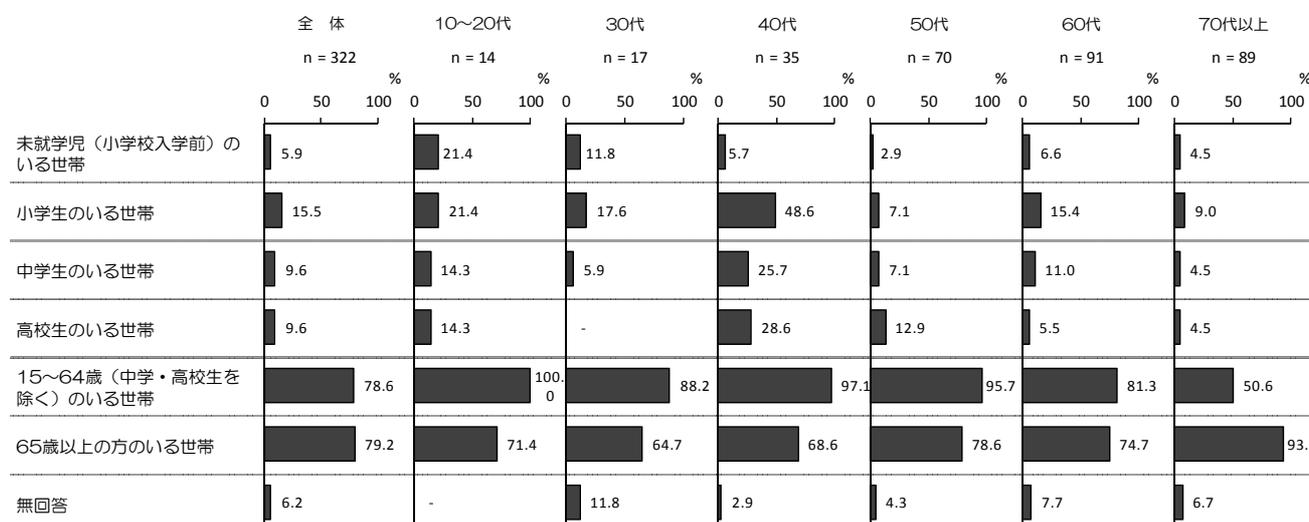
震災および原発事故発生当時の世帯構成については、高校生以下(「未就学児」「小学生」「中学生」「高校生」)が同居する世帯はそれぞれ1割前後、「65歳以上の方のいる世帯」は79.2%となっている。

世帯主の年齢別にみると、いずれの年齢層でも「65歳以上の方のいる世帯」「15～64歳(中学・高校生を除く)のいる世帯」が多く、現在の世帯構成に比べると、40代以下で「65歳以上の方のいる世帯」の割合が高くなっている。

<図表3-1-2-7 震災および原発事故発生当時の世帯構成>



<図表3-1-2-8 震災および原発事故発生当時の世帯構成(世帯主の年齢別)>



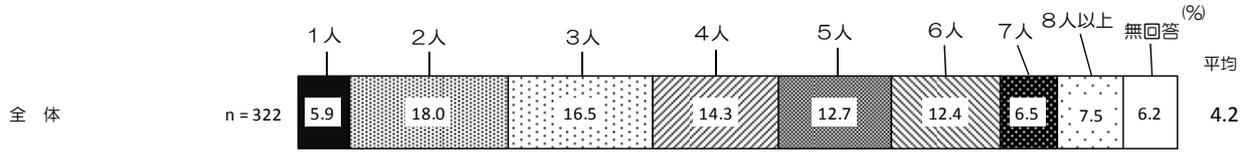
### III 調査結果

#### ②震災および原発事故発生当時の世帯人数

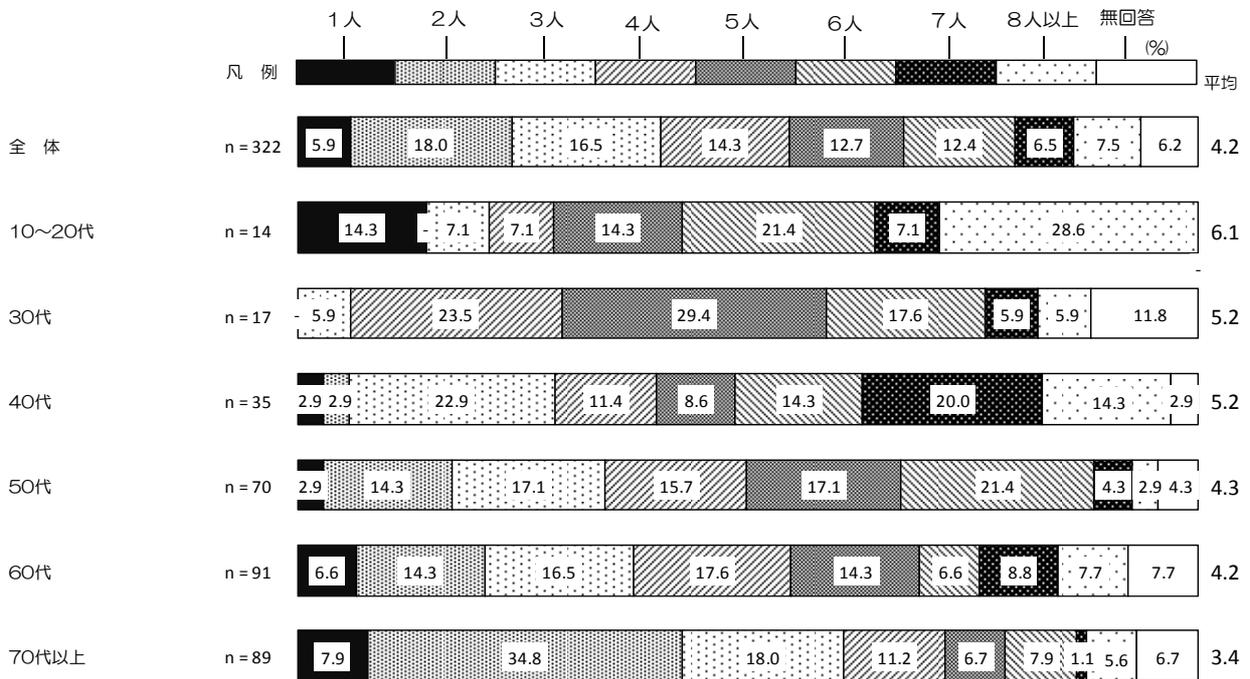
震災および原発事故発生当時の世帯人数について、「2人」が18.0%と最も多く、次いで「3人」が16.5%、「4人」が14.3%となり、平均人数は4.2人となっている。

世帯主の年齢別にみると、30代では「5人」（29.4%）が約3割と、他の年齢層に比べて割合が高い。

＜図表3-1-2-9 震災および原発事故発生当時の世帯人数＞



＜図表3-1-2-10 震災および原発事故発生当時の世帯人数（世帯主の年齢別）＞



(4) 世帯の分散状況

問8 現在の世帯構成についてうかがいます。

(3) 震災および原発事故発生当時ご一緒にお住まいであったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。  
(〇は1つ)

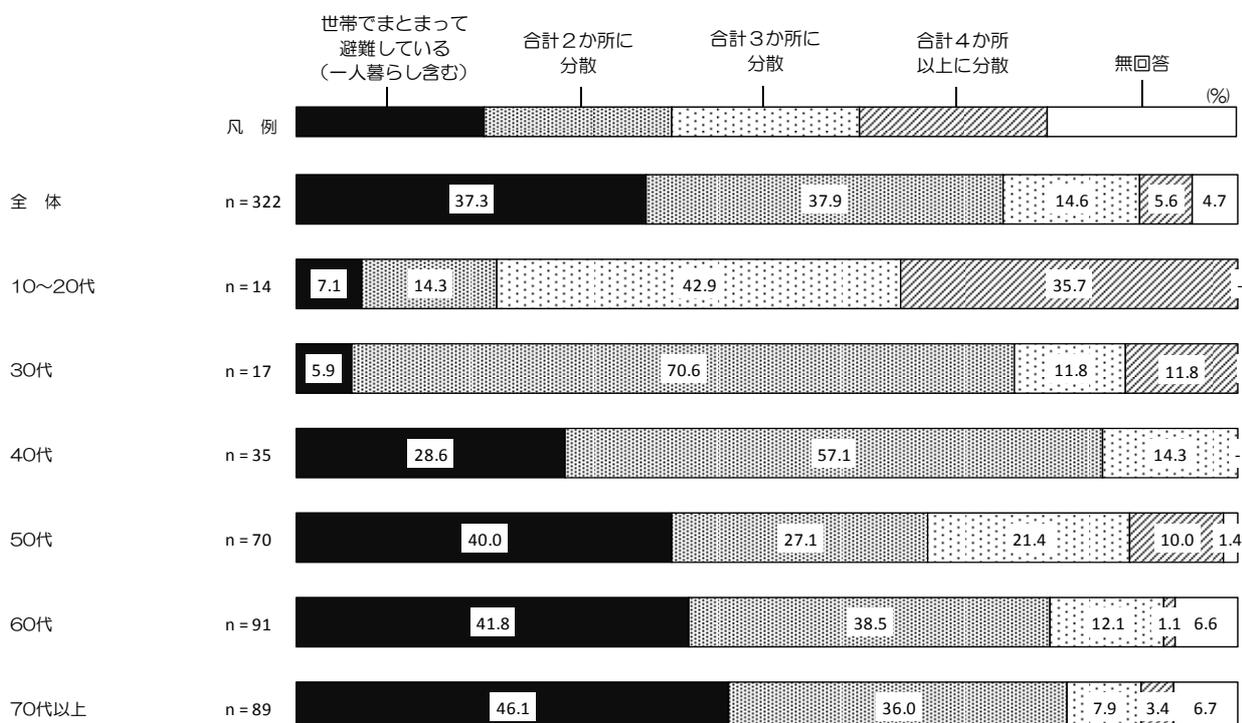
世帯の分散状況について、「合計2か所に分散」(37.9%)が最も多く、次いで「世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む)」(37.3%)、「合計3か所に分散」(14.6%)となっている。

世帯主の年齢別にみると、「世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む)」は、50代以上では4割以上となっている。30代では「合計2か所に分散」(70.6%)が約7割になっており、他の年齢層に比べて割合が高い。

<図表3-1-2-11 世帯の分散状況>



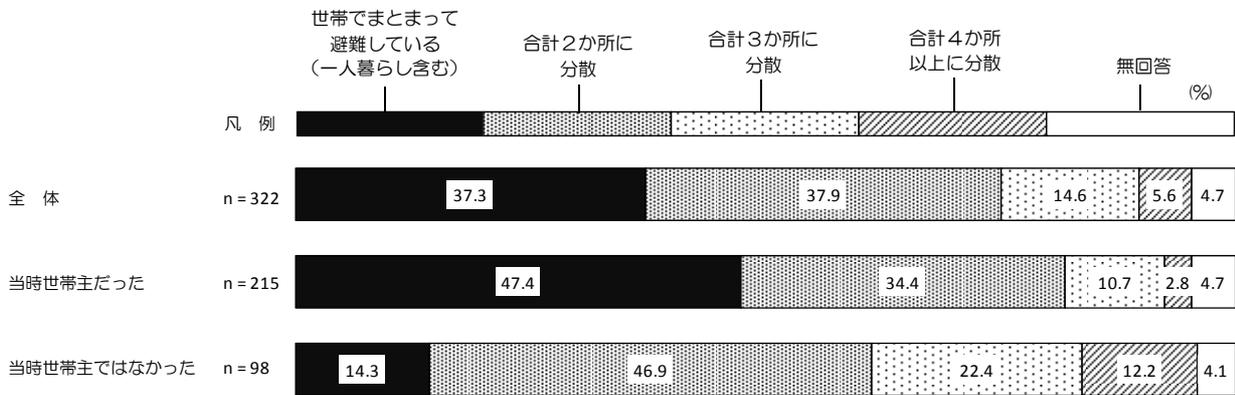
<図表3-1-2-12 世帯の分散状況(世帯主の年齢別)>



### III 調査結果

震災および原発事故発生当時の世帯での立場別にみると、「世帯でまとまって避難している（一人暮らし含む）」は、当時世帯主だったという世帯（47.4%）では半数近くとなる一方、当時世帯主ではなかった世帯（14.3%）では1割強にとどまっている。当時世帯主ではなかった世帯では、「合計2か所に分散」が46.9%と半数弱、「合計3か所に分散」も22.4%となっており、2か所以上に分散している世帯は81.5%と、8割以上を占めている。

<図表3-1-2-13 世帯の分散状況（当時の世帯での立場別）>



### 3-1-3 職業

#### (1) 現在の職業（就業形態）

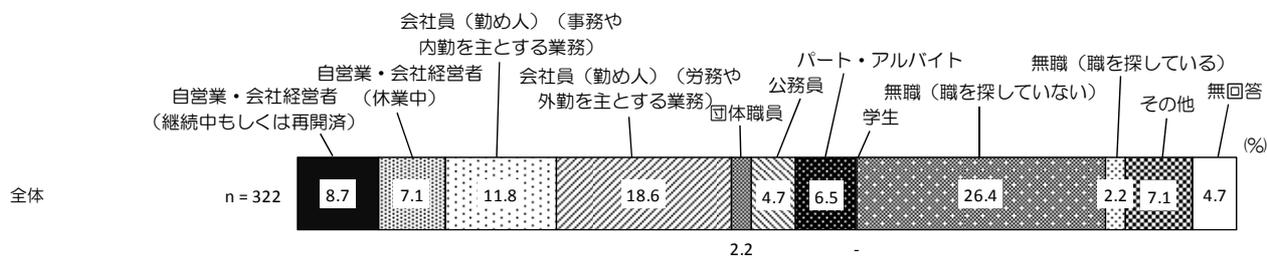
問 2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業（就業形態）(〇は1つ)

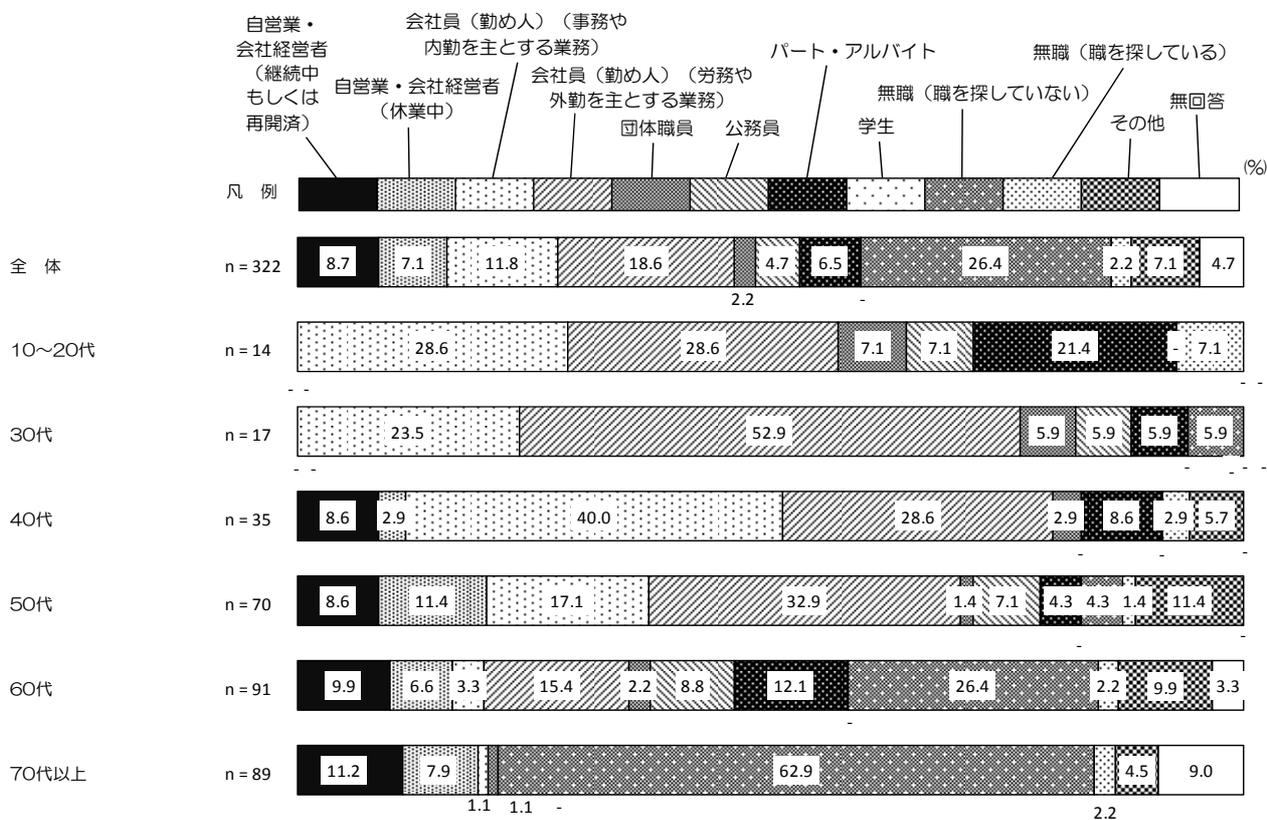
現在の職業について、「無職（職を探していない）」(26.4%) が最も多く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」(18.6%)、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」(11.8%) となっている。

世帯主の年齢別にみると、50代以下では、会社員（勤め人）の割合が高く、過半数となっている。

<図表3-1-3-1 現在の職業>



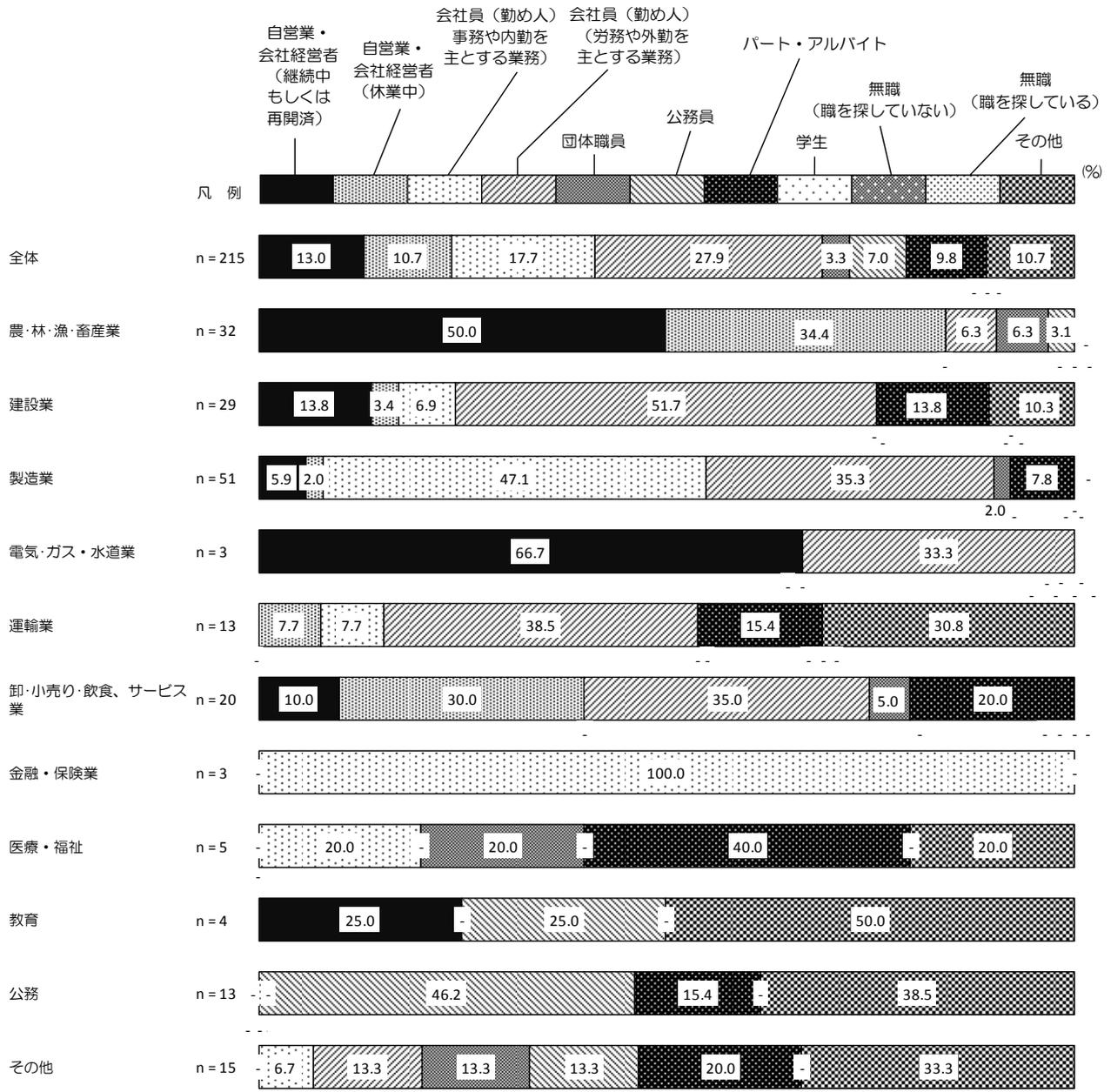
<図表3-1-3-2 現在の職業（世帯主の年齢別）>



### III 調査結果

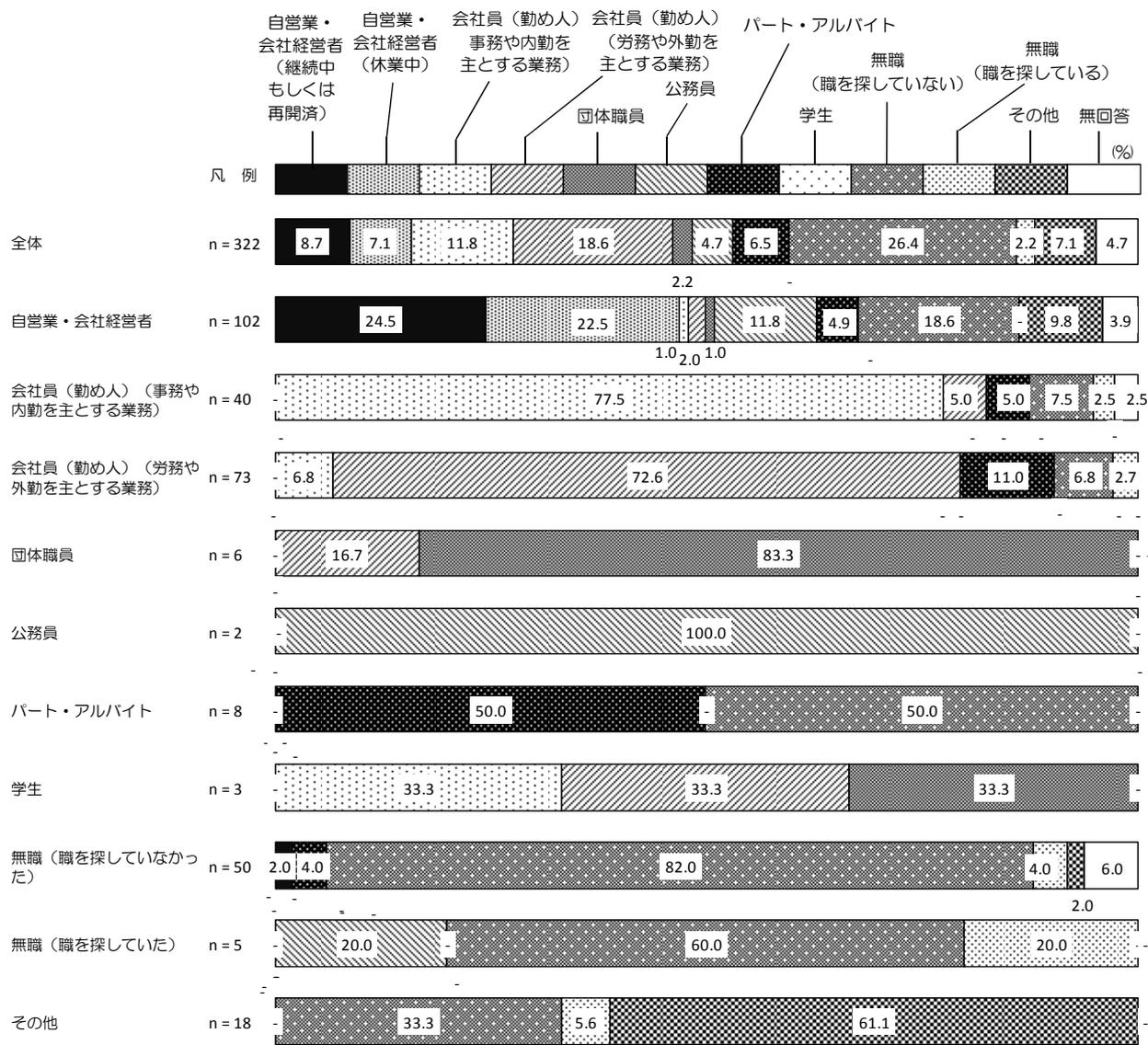
世帯主が就業しているとした世帯について、現在の職業の業種別にみると、農・林・漁・畜産業で「自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）」（50.0%）が過半数と、他の業種に比べて高くなっている。

<図表3-1-3-3 現在の職業（現在の業種別）>



震災および原発事故発生当時の職業別に見ると、概ね現在も同じ職業である割合が高い。一方、パート・アルバイトだった方の5割が「無職（職を探していない）」（50.0%）となり、他の職業に比べてその割合が高い。また「無職（職を探していた）」方の6割が「無職（職を探していない）」に移行している。

<図表3-1-3-4 現在の職業（震災および原発事故発生当時の業種別）>



### III 調査結果

#### (2) 現在の業種

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

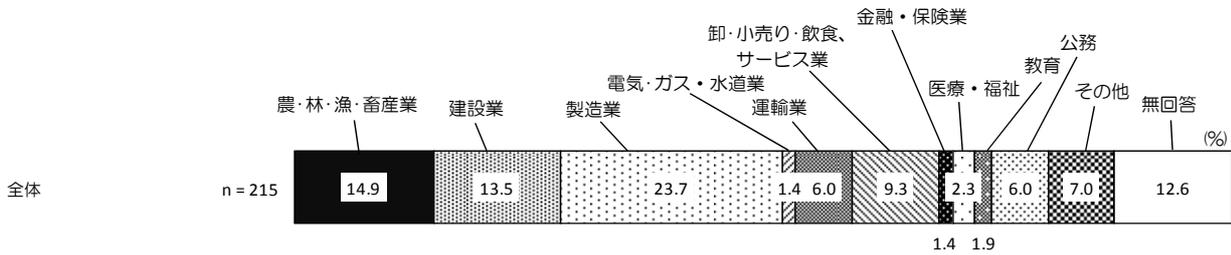
【問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方】にうかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

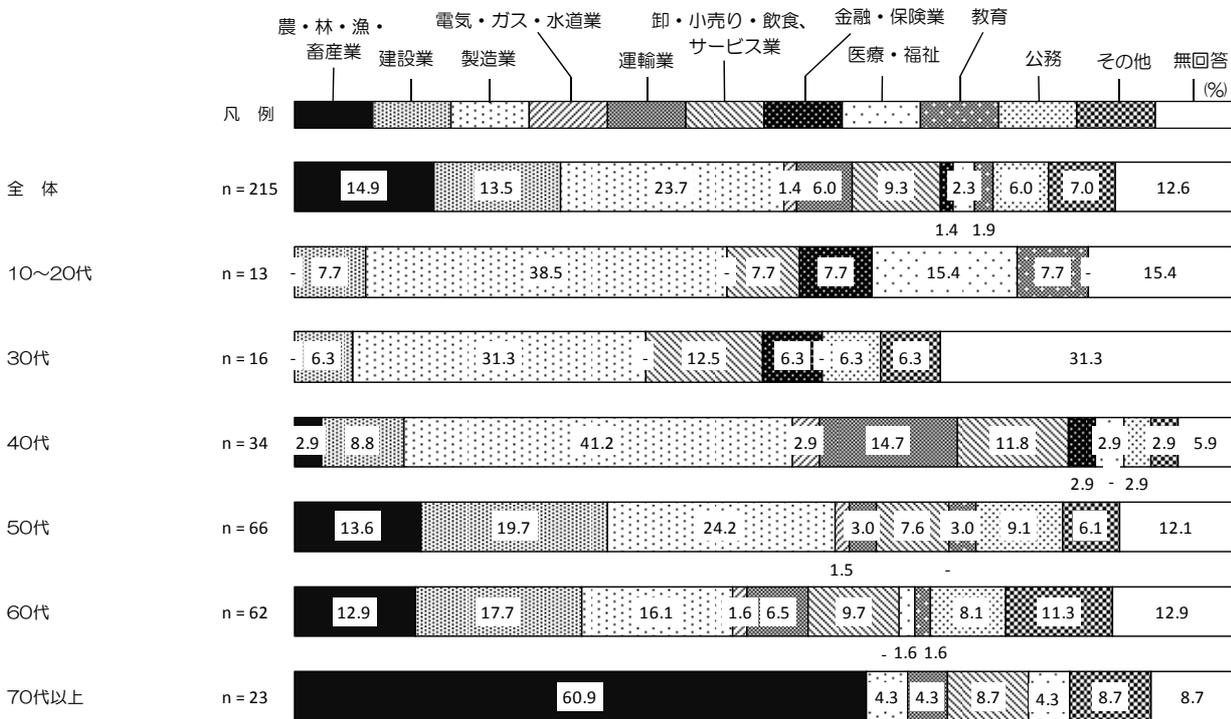
世帯主が就業しているとした世帯の現在の業種について、「製造業」(23.7%)が最も多く、次いで「農・林・漁・畜産業」(14.9%)、「建設業」(13.5%)となっている。

世帯主の年齢別にみると、「製造業」は10～40代で割合が高く、40代で41.2%と最も多くなっている。

<図表3-1-3-5 現在の業種>



<図表3-1-3-6 現在の業種(世帯主の年齢別)>



(3) 現在の就業先

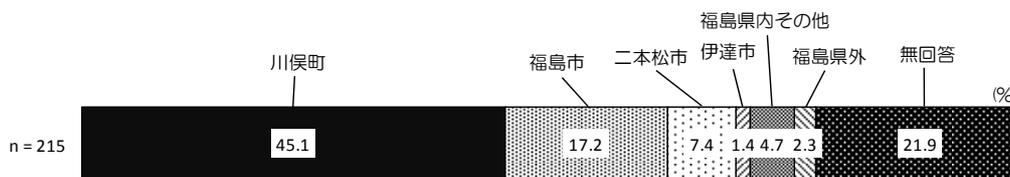
問 2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

【問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 就業先の所在自治体

世帯主が就業しているとした世帯の現在の就業先自治体について、「川俣町」(45.1%)が最も多く、次いで「福島市」(17.2%)、「二本松市」(7.4%)となっている。

<図表3-1-3-7 現在の就業先>



### III 調査結果

#### (4) 震災および原発事故発生当時の職業（就業形態）

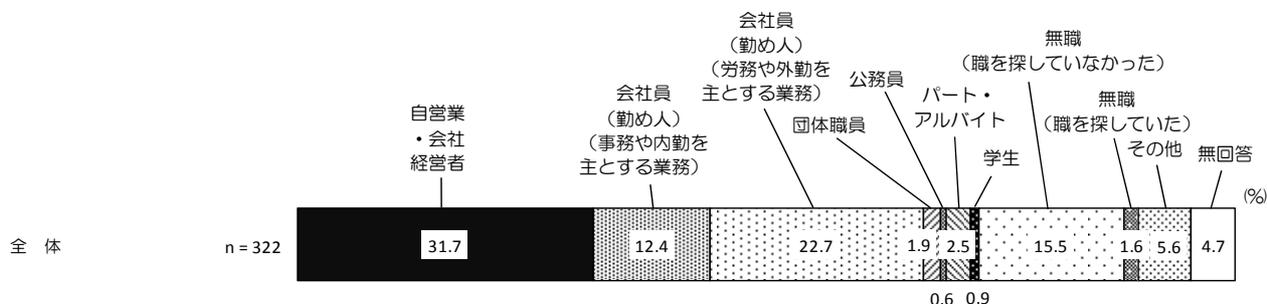
問 5 震災および原発事故発生当時の、あなたの職業を教えてください。当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源になっていた職業を教えてください。

(1) 職業（就業形態）(○は1つ)

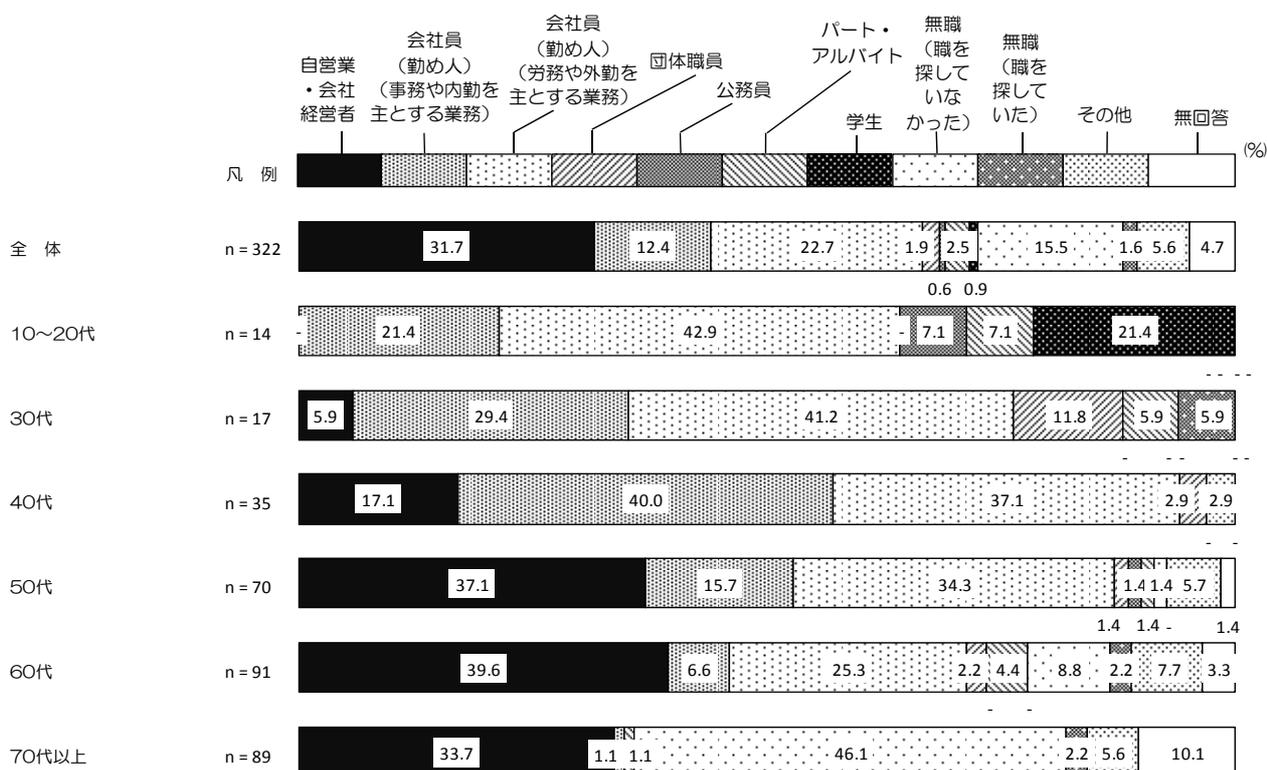
震災および原発事故発生当時の職業について、「自営業・会社経営者」(31.7%)が最も多く、次いで「会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)」(22.7%)、「会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)」(12.4%)となっている。

世帯主の年齢別にみると、「自営業・会社経営者」は概ね年齢層が上がるにつれ、割合が高くなっており、60代で39.6%と最も多い。「無職(職を探していなかった)」は、70代以上(46.1%)で4割を超えている。

<図表3-1-3-8 震災および原発事故発生当時の職業>



<図表3-1-3-9 震災および原発事故発生当時の職業（世帯主の年齢別）>



(5) 震災および原発事故発生当時の業種

問 5 震災および原発事故発生当時の、あなたの職業を教えてください。当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源になっていた職業を教えてください。

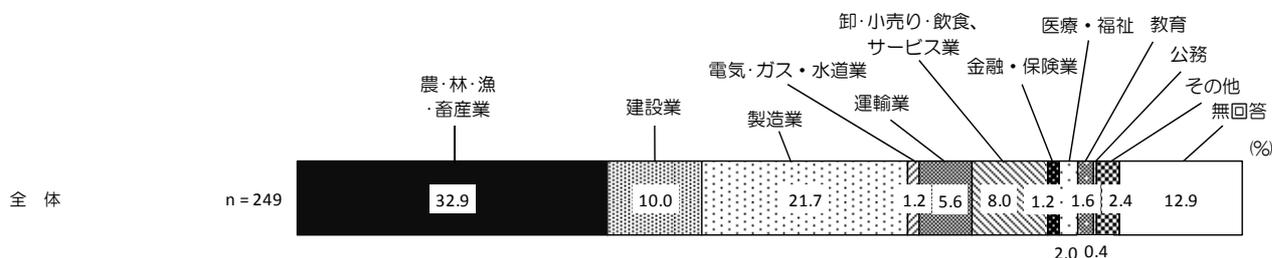
【仕事に就いていた方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

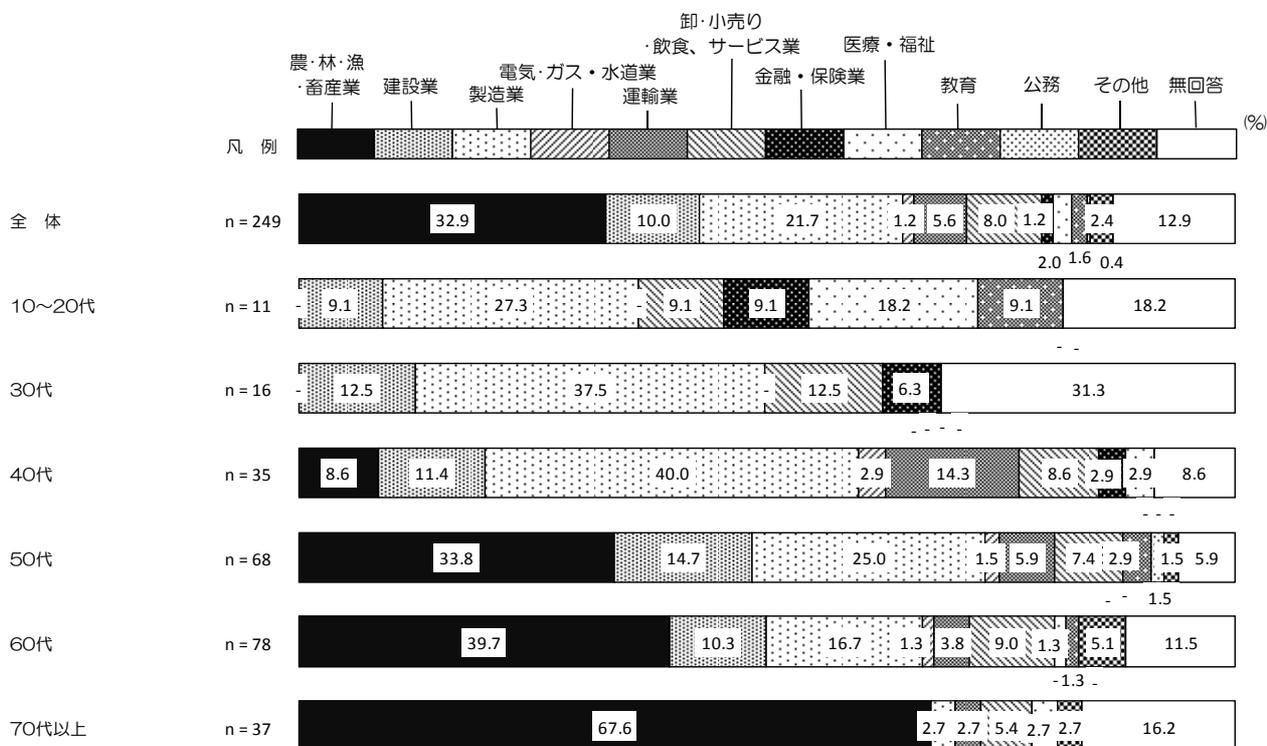
震災および原発事故発生当時の業種について、「農・林・漁・畜産業」(32.9%)が最も多く、次いで「製造業」(21.7%)、「建設業」(10.0%)となっている。

年齢別にみると、「農・林・漁・畜産業」は、年齢が高くなるに従ってその割合も高くなっている。また、「製造業」は、30~40代で4割前後と、他の年齢層に比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-3-10 震災および原発事故発生当時の業種>



<図表3-1-3-11 震災および原発事故発生当時の業種(世帯主の年齢別)>



### III 調査結果

#### (6) 震災および原発事故発生当時の就業先

問 5 震災および原発事故発生当時の、あなたの職業を教えてください。当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源になっていた職業を教えてください。

【仕事に就いていた方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 就業先の所在自治体

震災および原発事故発生当時の就業先については、「川俣町」(48.2%)が最も多く、次いで「福島市」(12.4%)、「二本松市」(7.2%)となっている。

<図表3-1-3-12 震災および原発事故発生当時の就業先>



### 3-1-4 住居形態

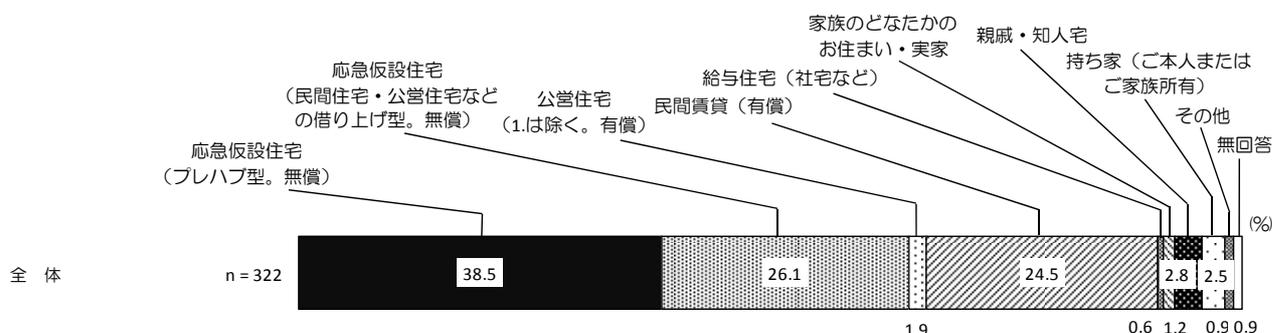
#### (1) 現在の住居形態

問9 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(〇は1つ)

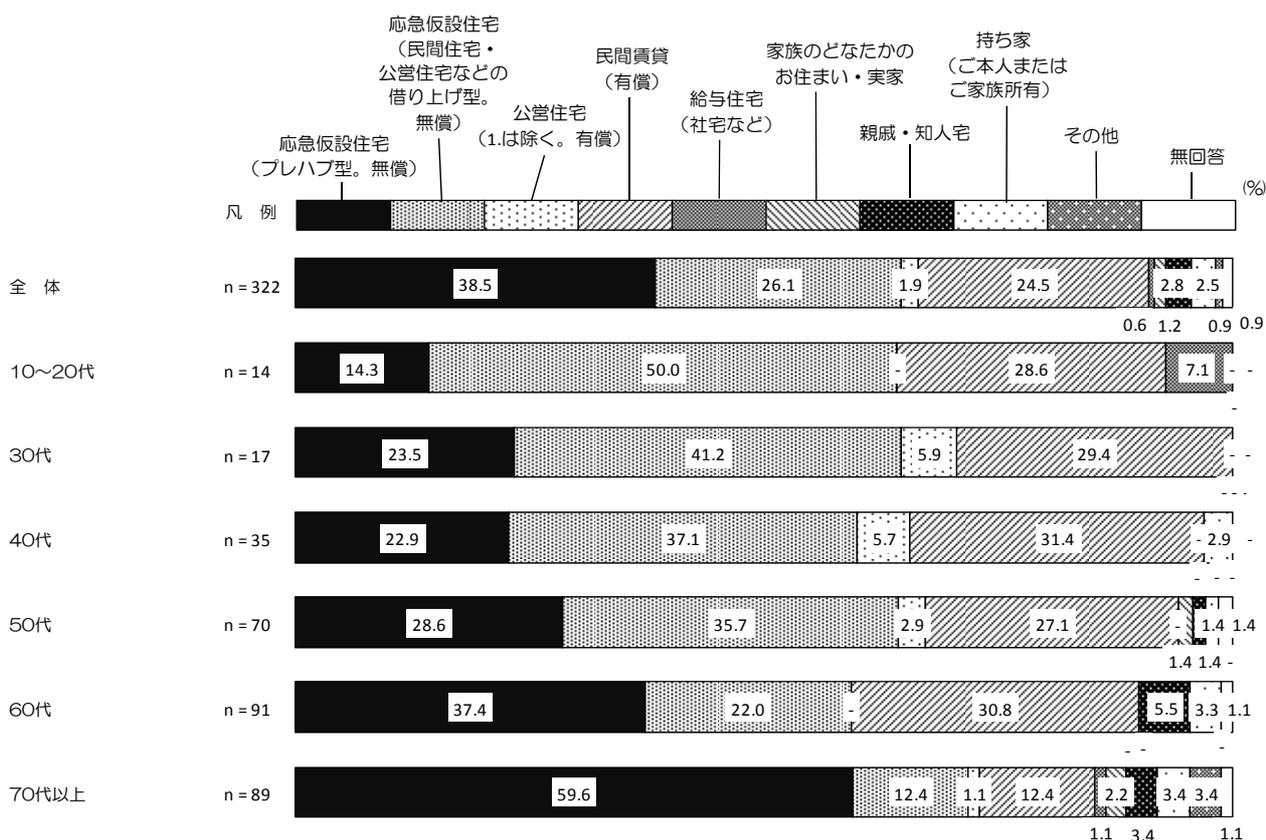
現在の住居形態について、「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」（38.5%）が最も多く、次いで「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」（26.1%）、「民間賃貸（有償）」（24.5%）となっている。「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」と「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」を合わせた応急仮設住宅は、全体の6割以上を占めている。

世帯主の年齢別にみると、「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」は年齢層が上がるにつれ割合が高く、70代以上（59.6%）で過半数を占めているのに対し、「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」は年齢層が下がるほど割合が高く、10~20代（50.0%）で過半数となっている。

<図表3-1-4-1 現在の住居形態>



<図表3-1-4-2 現在の住居形態（世帯主の年齢別）>

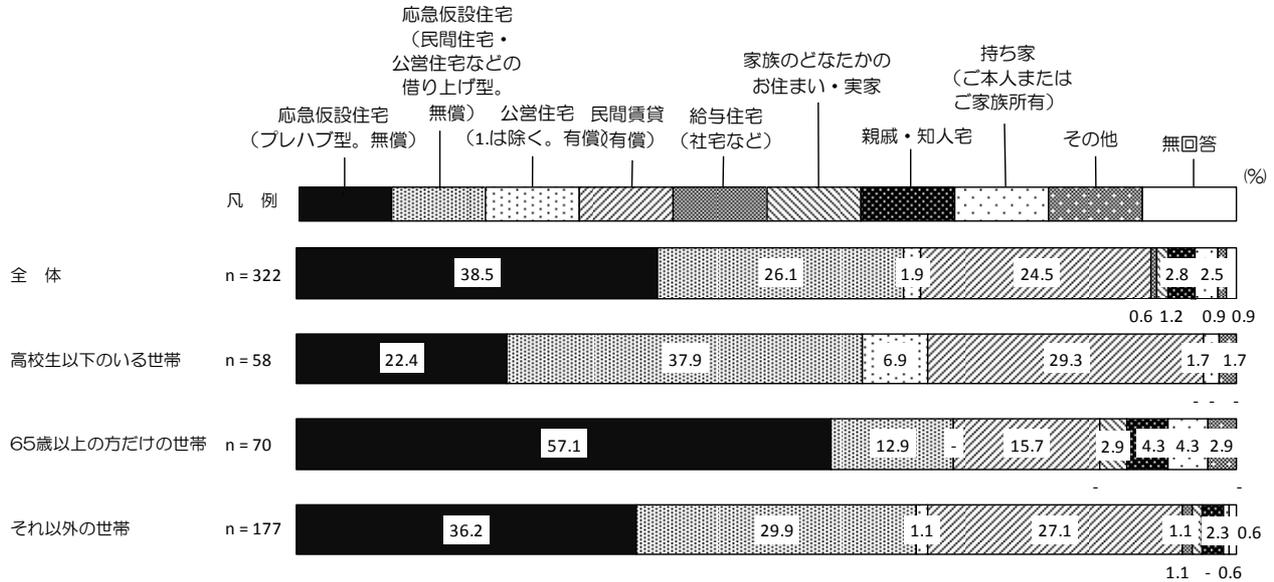


### III 調査結果

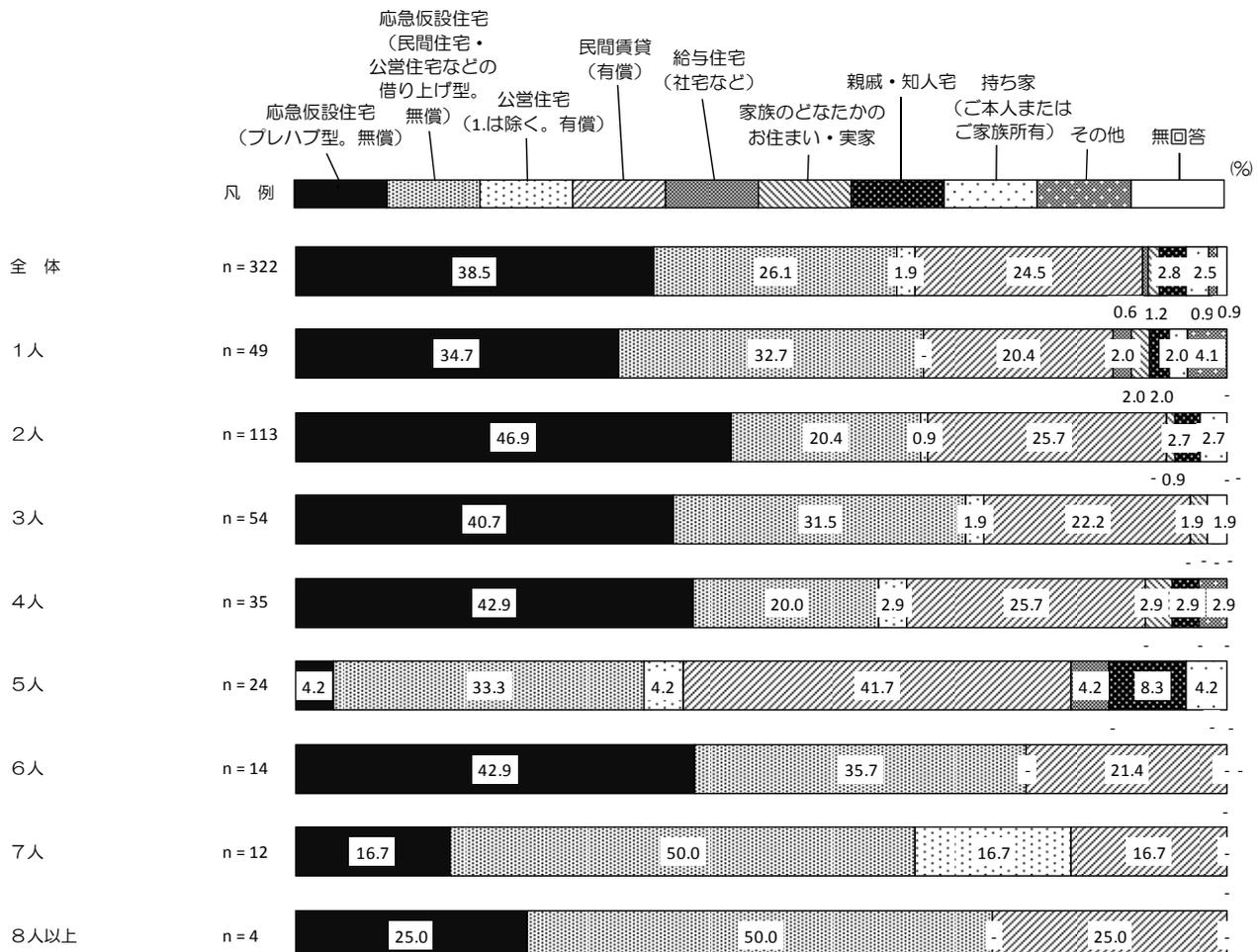
現在の世帯構成別にみると、65歳以上の方だけの世帯では「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」（57.1%）が過半数を占めており、高校生以下のいる世帯では「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」（37.9%）が他の世帯と比べ高くなっている。

現在の世帯人数別にみると、「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」が概ねいずれの世帯人数でも最も多くなっているが、5人以上の世帯では「民間賃貸（有償）」（41.7%）と多くなっている。

<図表3-1-4-3 現在の住居形態（現在の世帯構成別）>



<図表3-1-4-4 現在の住居形態（現在の世帯人数別）>



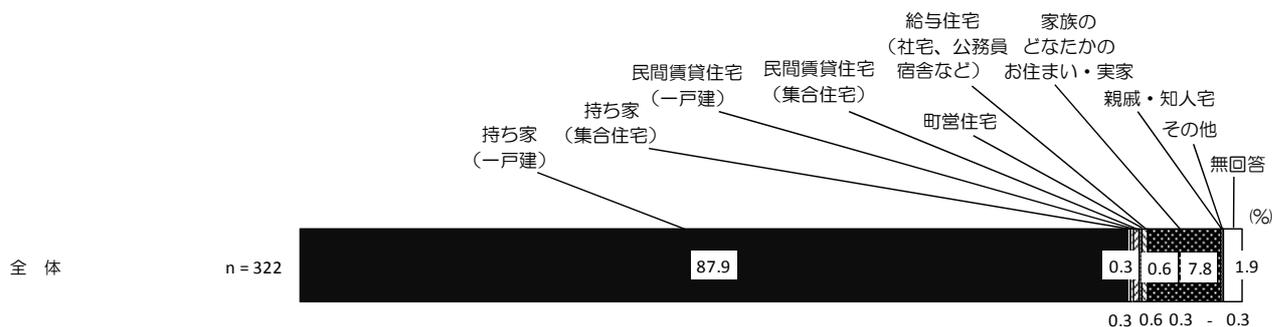
(2) 震災および原発事故発生当時の住居形態

問6 震災および原発事故発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

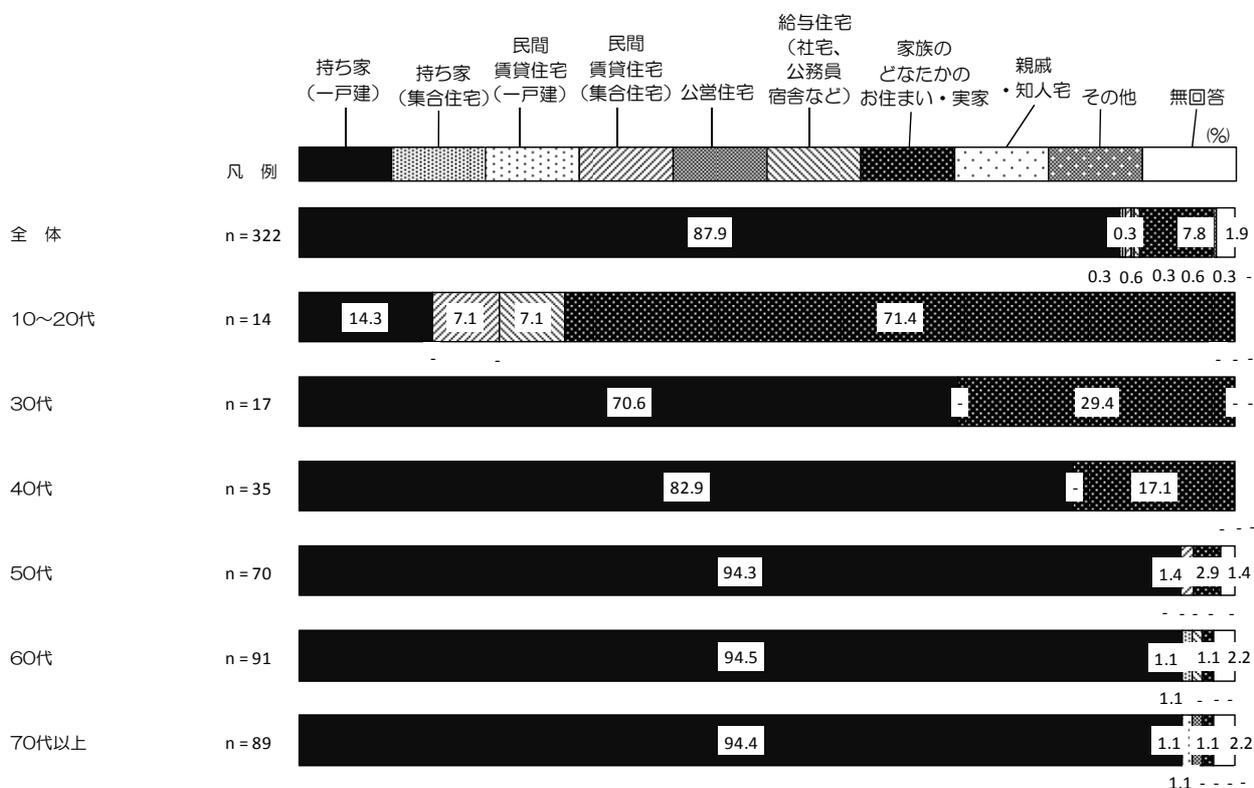
震災および原発事故発生当時の住居形態について、「持ち家（一戸建）」(87.9%) が最も多く、「持ち家（集合住宅）」(0.3%) を合わせた『持ち家』は9割弱を占めている。

世帯主の年齢別にみると、「持ち家（一戸建）」は、10～20代を除くすべての年齢層で7割以上と高く、特に50代以上では9割を超えている。一方、10～20代では「家族のどなたかのお住まい・実家」が71.4%と7割を超えている。

<図表3-1-4-5 震災および原発事故発生当時の住居形態>



<図表3-1-4-6 震災および原発事故発生当時の住居形態（世帯主の年齢別）>



### III 調査結果

#### (3) 震災および原発事故発生当時の住宅の状況

【問6で「1.持ち家（一戸建）」「2.持ち家（集合住宅）」と回答した方にうかがいます。】

問6-1 震災および原発事故発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況ですか。（〇は1つ）

震災および原発事故発生当時の住宅の状況について、「修理すれば住める状況」（66.5%）が最も多く、7割弱を占めており、「特に損傷はない」は16.5%、「解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」は11.3%となっている。

<図表3-1-4-7 震災および原発事故発生当時の住宅の状況>



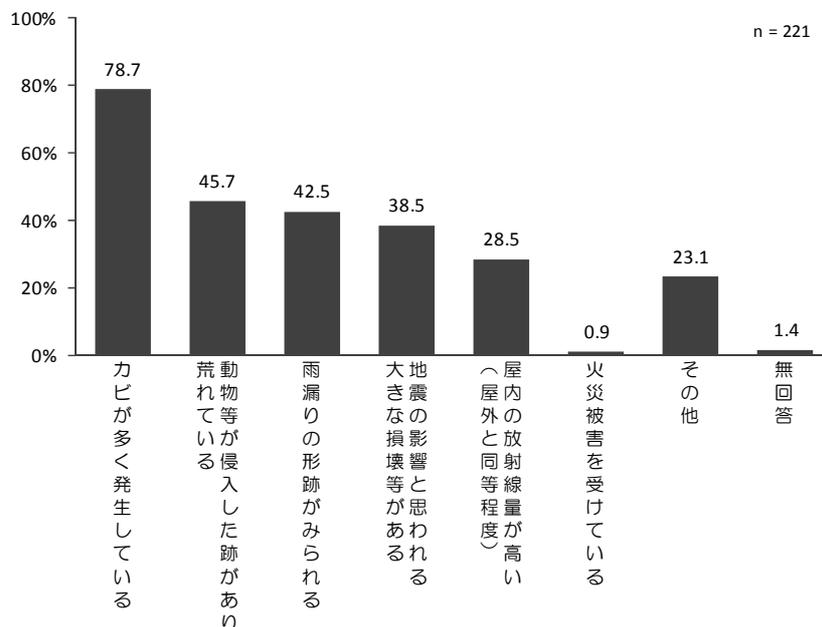
#### (4) 震災および原発事故発生当時の住宅の具体的な被害内容

【問6-1で「1.解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」「2.修理すれば住める状況」と回答した方にうかがいます。】

問6-2 震災および原発事故発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような被害や劣化等がありますか。（〇はいくつでも）

震災および原発事故発生当時の住宅の具体的な被害内容について、「カビが多く発生している」（78.7%）が最も多く、次いで「動物等が侵入した跡があり荒れている」（45.7%）、「雨漏りの形跡がみられる」（42.5%）となっている。

<図表3-1-4-8 震災および原発事故発生当時の住宅の具体的な被害内容>



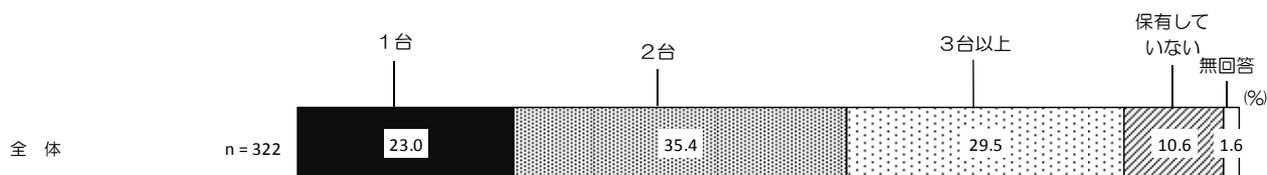
### 3-1-5 自動車保有

問 10 現在、自動車は何台保有していますか。(〇は1つ)

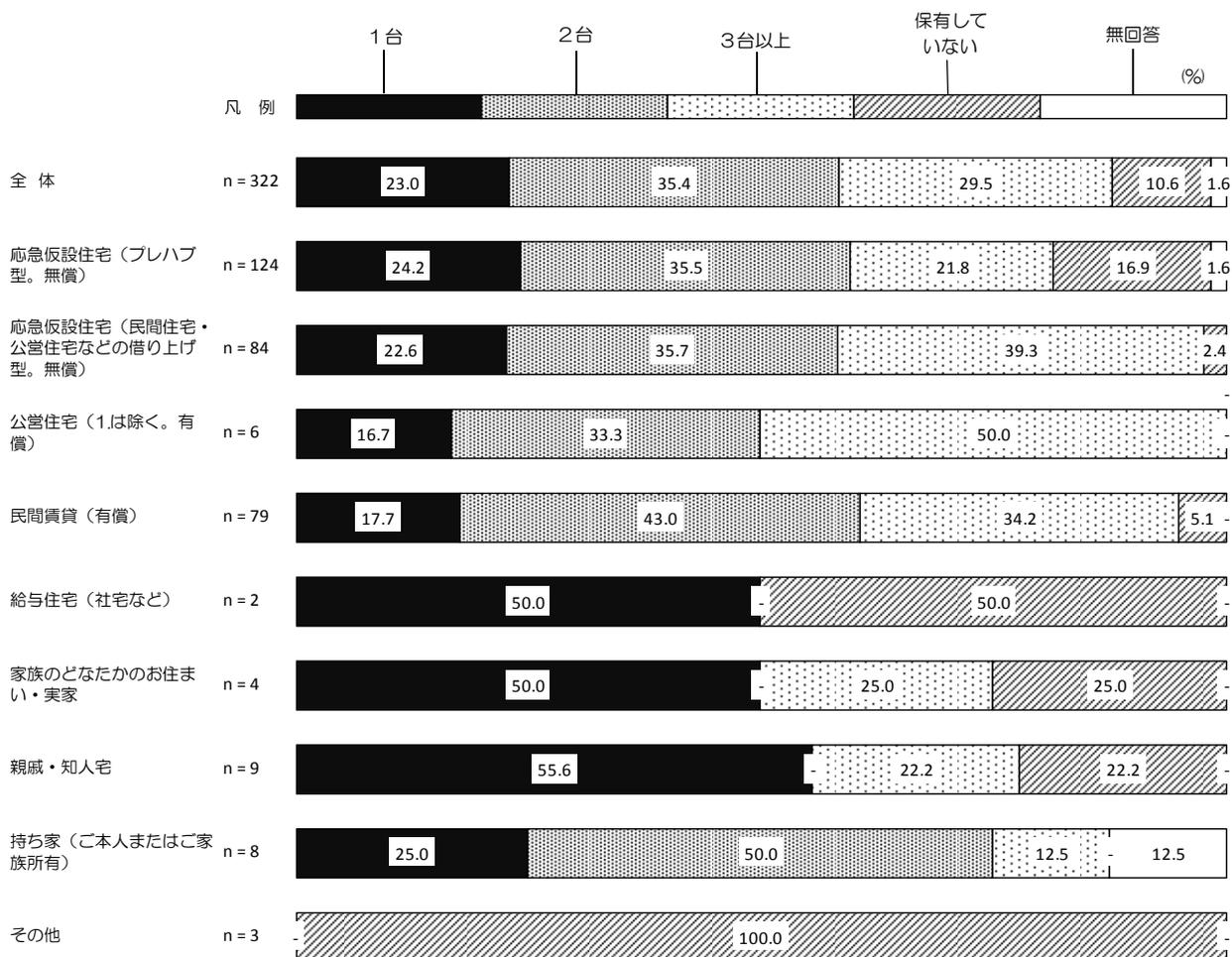
自動車保有について、「2台」(35.4%)が最も多く、次いで「3台以上」(29.5%)となっており、2台以上の保有が6割を超えている。また「保有していない」は(10.6%)となっている。

住居形態別にみると、応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)は「3台以上」(39.3%)の割合が他の住居形態に比べ高くなっている。

<図表3-1-5-1 自動車保有>



<図表3-1-5-2 自動車保有(現在の住居形態別)>



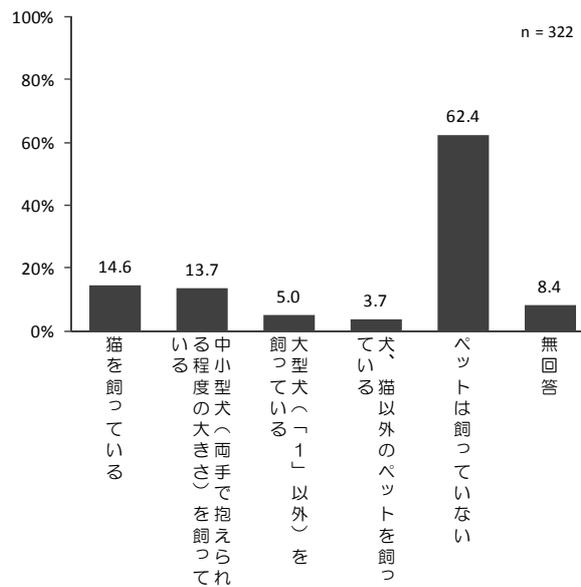
### Ⅲ 調査結果

#### 3-1-6 ペットの有無

問 11 現在、ペットを飼っていますか。(〇はいくつでも)

ペットの有無については、「猫を飼っている」が14.6%、「中小型犬（両手で抱えられる程度の大きさ）を飼っている」が13.7%などとなり、「ペットは飼っていない」（62.4%）は6割を超えている。

<図表3-1-6-1 ペットの有無>



## 3-2 復興公営住宅の入居意向

### 3-2-1 復興公営住宅への入居希望

※復興公営住宅への入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

問 12 現在、福島県、川俣町では上記の通り、復興公営住宅の整備を予定しています。あなたのご家族は、復興公営住宅への入居を希望しますか。（〇は1つ）

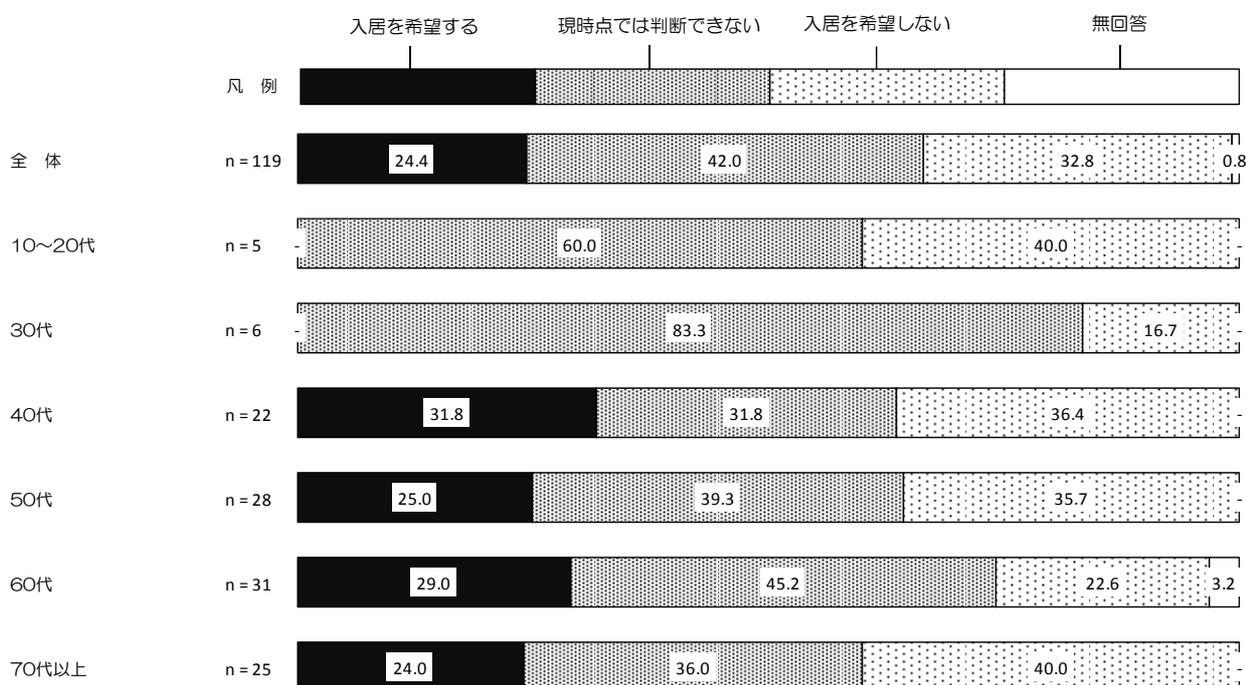
復興公営住宅への入居希望について、「現時点では判断できない」（42.0%）が最も多い。「入居を希望する」と回答した方は24.4%、「入居を希望しない」と回答した方は32.8%である。

年齢別にみると、40代で「入居を希望する」（31.8%）の割合が高くなっている。

<図表3-2-1-1 復興公営住宅への入居希望>



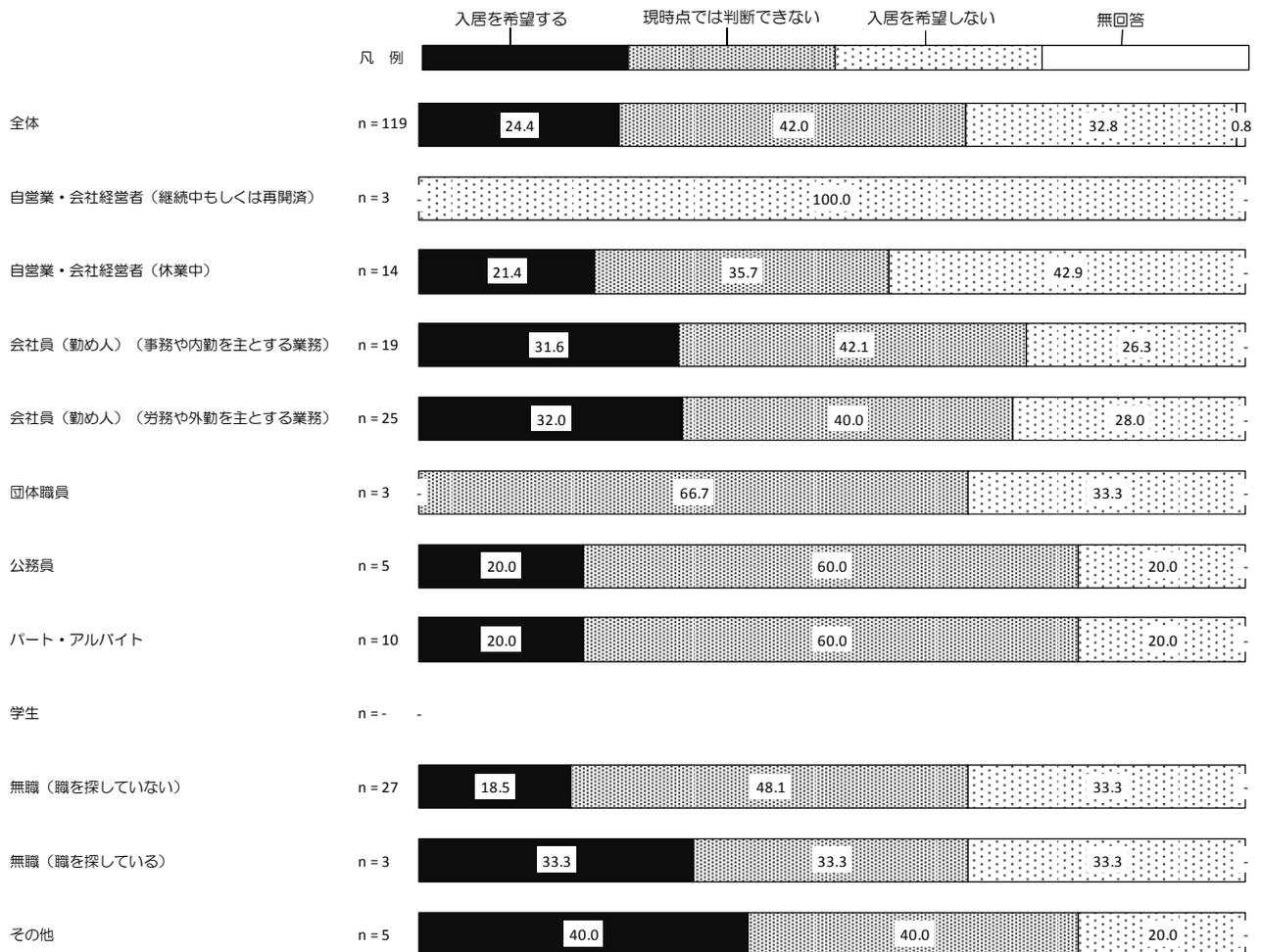
<図表3-2-1-2 復興公営住宅への入居希望（世帯主の年齢別）>



### III 調査結果

現在の職業別にみると、会社員（勤め人）では「入居を希望する」の割合が約3割と高くなっている。

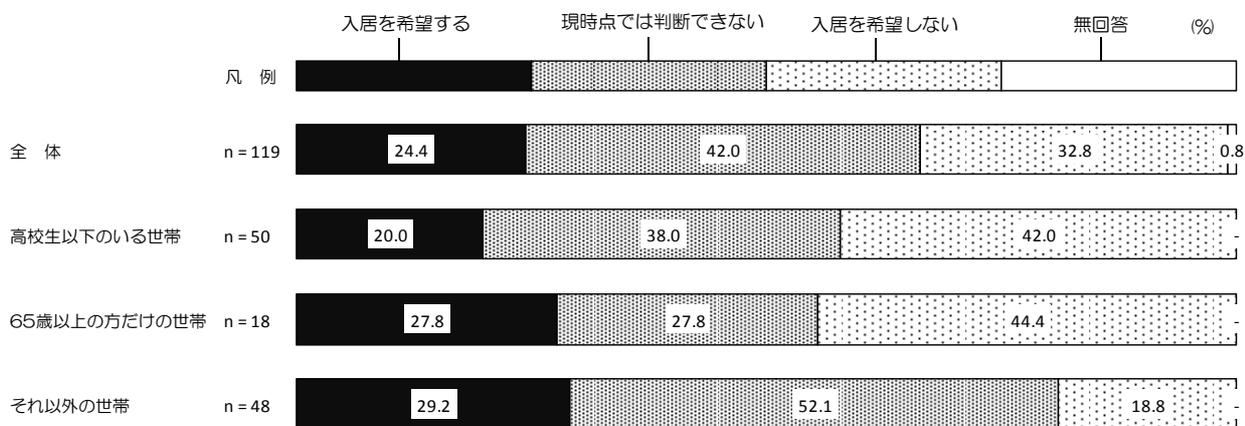
＜図表3-2-1-3 復興公営住宅への入居希望（現在の職業別）＞



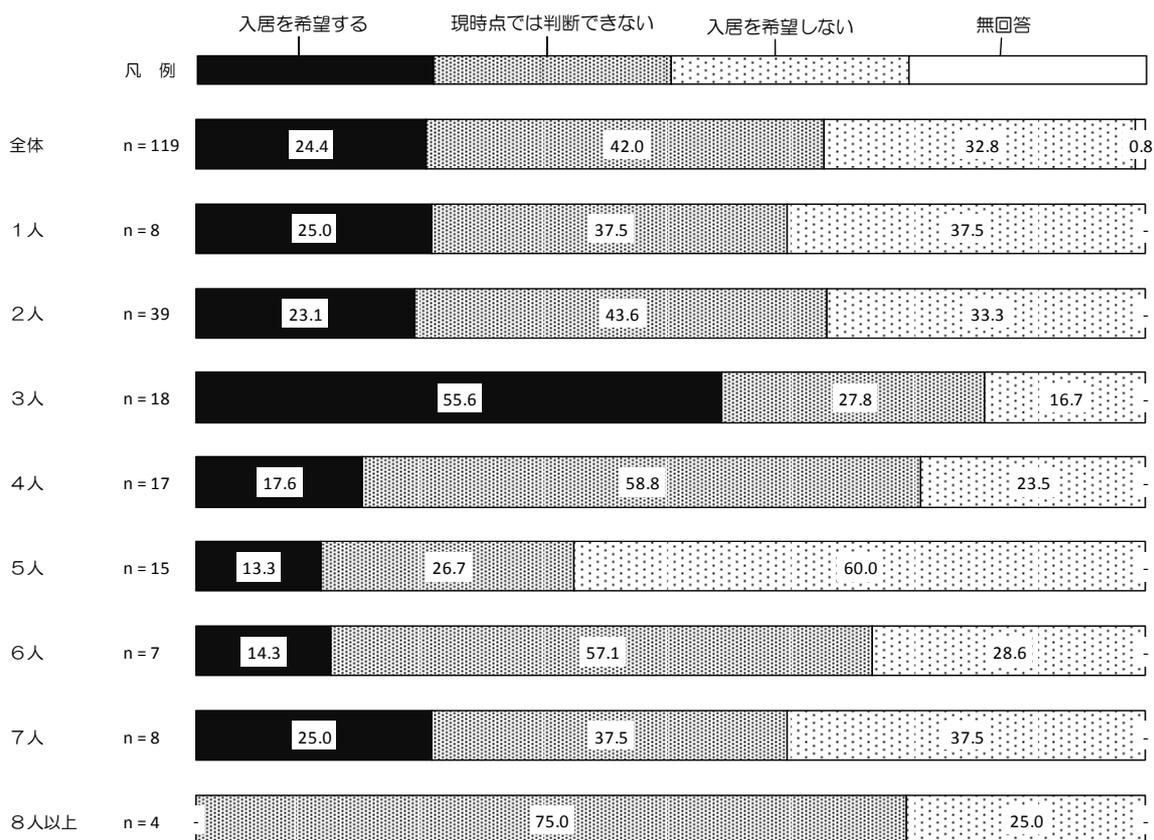
現在の世帯構成別にみると、「入居を希望する」は、高校生以下のいる世帯で 20.0%と、他の世帯構成に比べてやや低くなっている。

現在の世帯人数別にみると、3人の世帯では「入居を希望する」(55.6%) が過半数となっている。

<図表3-2-1-4 復興公営住宅への入居希望（現在の世帯構成別）>



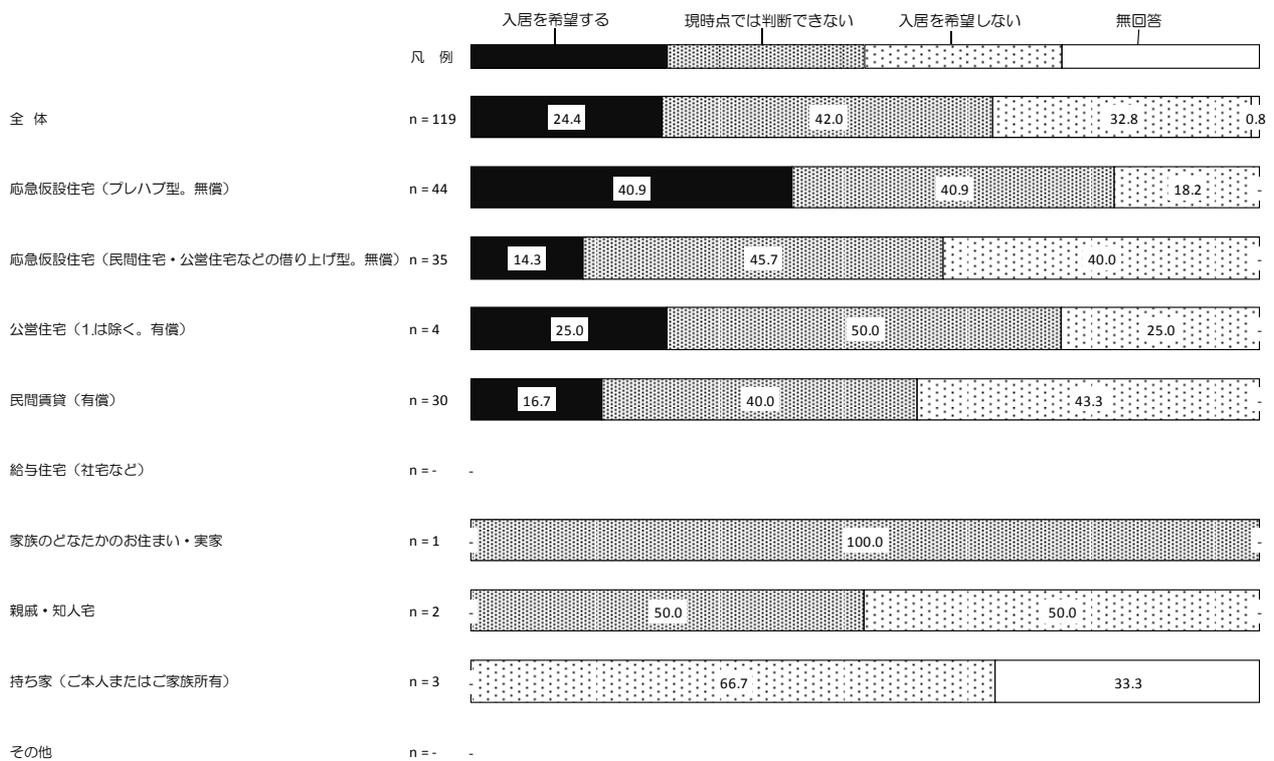
<図表3-2-1-5 復興公営住宅への入居希望（現在の世帯人数別）>



### III 調査結果

現在の住居形態別にみると、「入居を希望する」は、応急仮設住宅（プレハブ型。無償）（40.9%）で、他の住居形態に比べて高くなっている。

<図表3-2-1-6 復興公営住宅への入居希望（現在の住居形態別）>



### 3-2-2 復興公営住宅の入居を現時点で判断できない理由

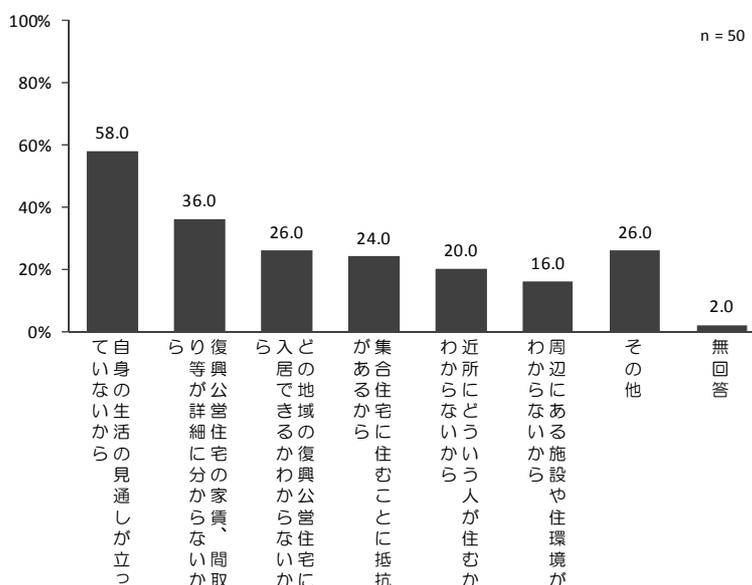
※復興公営住宅への入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

【問12で「2.現時点では判断できない」と回答した方にうかがいます。】

問12-1 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

復興公営住宅の入居を現時点で判断できない理由について、「自身の生活の見通しが立っていないから」（58.0%）が最も多く、次いで「復興公営住宅の家賃、間取り等が詳細にわからないから」（36.0%）、「どの地域の復興公営住宅に入居できるかわからないから」（26.0%）となっている。

<図表3-2-2-1 復興公営住宅の入居を現時点で判断できない理由>



### III 調査結果

#### 3-2-3 入居を希望する地域と家族構成

※復興公営住宅への入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

問12-2 復興公営住宅に入居するに当たって、希望する地域と家族構成をお聞かせください。

※現在の世帯から複数に分かれて入居を希望される場合は、それぞれの世帯についてお答えください。

<1世帯目>

(1) 最も希望する自治体を教えてください。(〇は1つ)

(2) 家族構成をご記入ください。(人数で回答) ※現在ご一緒にお住まいの家族について、ご記入ください。

<2世帯目>

分散して入居を希望しない場合は、(3)で「22」を選び、問12-4へ進んでください。

仕事の都合、家族の人数の都合等により分散して入居を希望する場合は、(3)「1」から「21」の中から、最も希望する自治体を選び、(4)にもご回答ください。

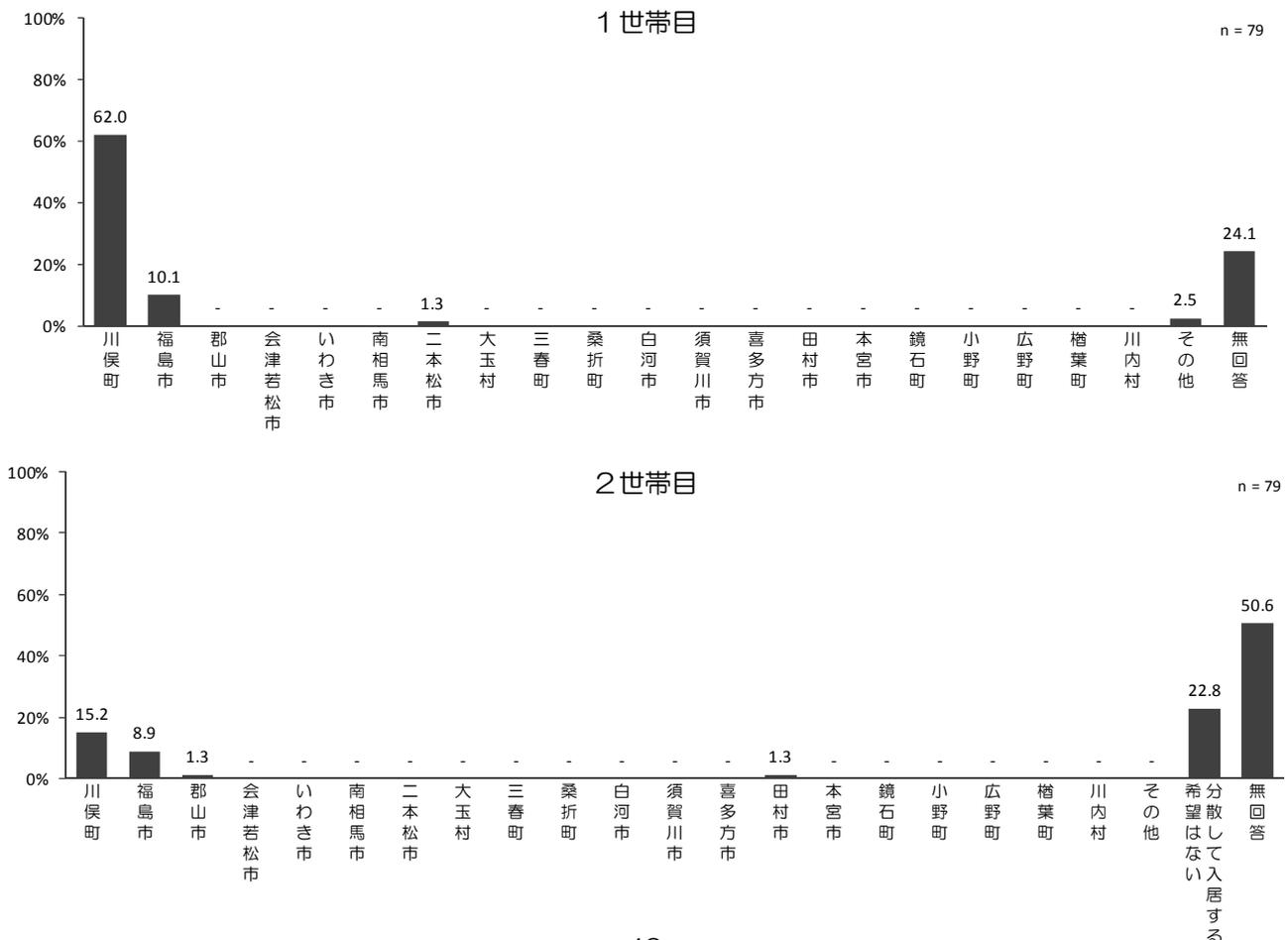
(3) 最も希望する自治体を教えてください。(〇は1つ)

(4) 家族構成をご記入ください。(人数で回答) ※現在ご一緒にお住まいの家族について、ご記入ください。

入居を希望する地域について、最も希望する自治体（1世帯目）では「川俣町」（62.0%）が最も多く、6割以上を占めている。

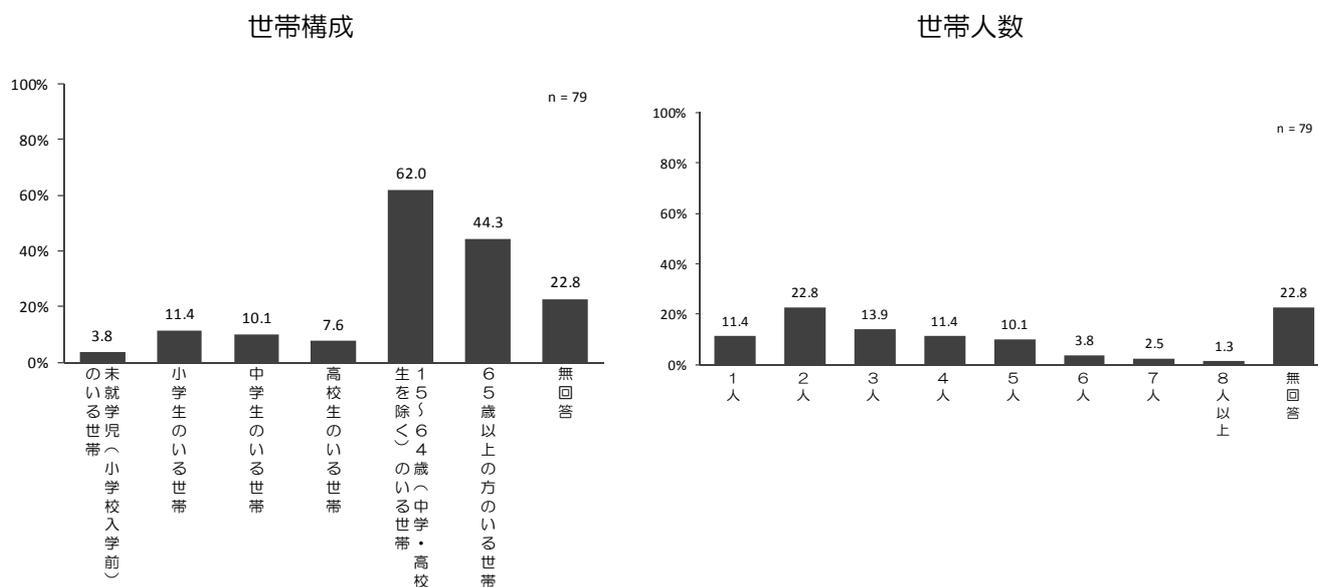
入居を希望する地域について、最も希望する自治体（2世帯目）では「川俣町」（15.2%）が最も多く、次いで「福島市」（8.9%）となっている。

<図表3-2-3-1 入居を希望する地域>



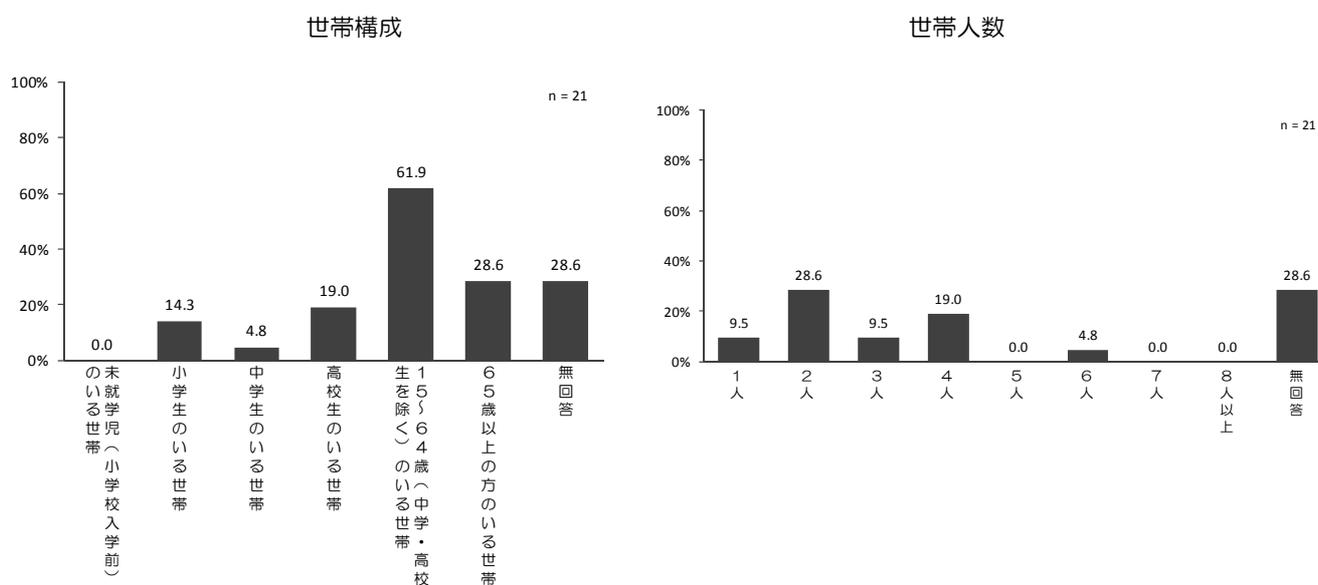
入居を希望する世帯構成（1世帯目）について、高校生以下（「未就学児」「小学生」「中学生」「高校生」）が同居する世帯はそれぞれ1割前後で、「65歳以上の方のいる世帯」は62.0%となっている。家族人数としては、「2人」が22.8%と最も高く、次いで「3人」が13.9%、「4人」が11.4%となっている。

<図表3-2-3-2 入居を希望する世帯構成・人数（1世帯目）>



<2世帯目>の家族構成・人数は、<1世帯目>と概ね同様の傾向にあるが、「4人」家族が19.0%とやや高くなっている。

<図表3-2-3-3 入居を希望する世帯構成・人数（2世帯目）>



### Ⅲ 調査結果

#### 3-2-4 分散して入居する場合の住居形態

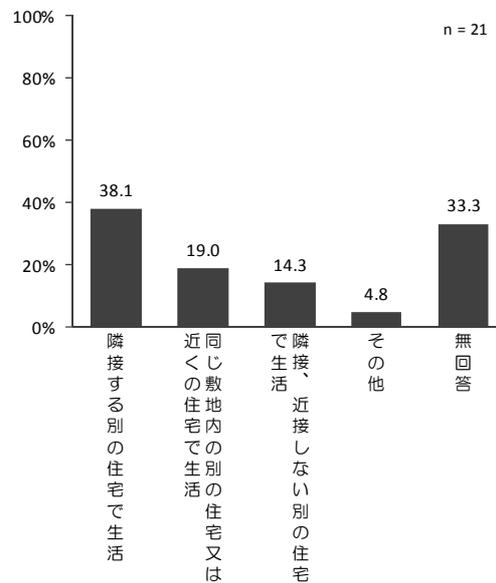
※復興公営住宅への入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

【分散して復興公営住宅へ入居を希望する方（問12-2（3）で「1」から「21」に回答した方）にうかがいます。】

問12-3 復興公営住宅へ2戸以上に分かれて入居する場合、現在ご一緒にお住まいの家族との生活について、どのような形を希望しますか。（〇はいくつでも）

分散して入居する場合の住居形態について、「隣接する別の住宅で生活」（38.1%）が最も多く、次いで「同じ敷地内の別の住宅又は近くの住宅で生活」（19.0%）、「隣接、近接しない別の住宅で生活」（14.3%）となっている。

<図表3-2-4-1 分散して入居する場合の住居形態>



### 3-2-5 分散して避難している家族との同居意向

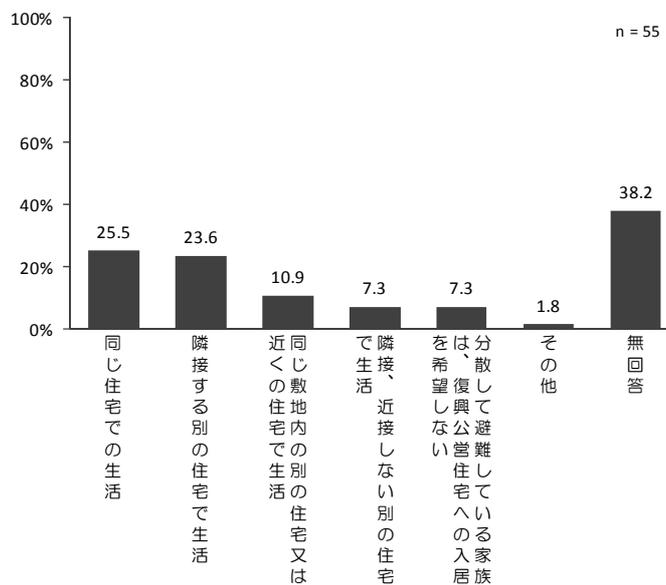
※復興公営住宅への入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

【現在分散して避難されている方（問8（3）で「2」から「4」と回答した方）にうかがいます。】

問12-4 復興公営住宅に入居する場合、分散して避難している家族との同居について、どのような形を希望しますか。（〇はいくつでも）

分散して避難している家族との同居意向について、「同じ住宅での生活」（25.5%）が最も多く、次いで「隣接する別の住宅で生活」（23.6%）、「同じ敷地内の別の住宅又は近くの住宅又は」（10.9%）となっている。

<図表3-2-5-1 分散して避難している家族との同居意向>



### III 調査結果

#### 3-2-6 復興公営住宅に入居を希望する自治体を選んだ理由

※復興公営住宅へ入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

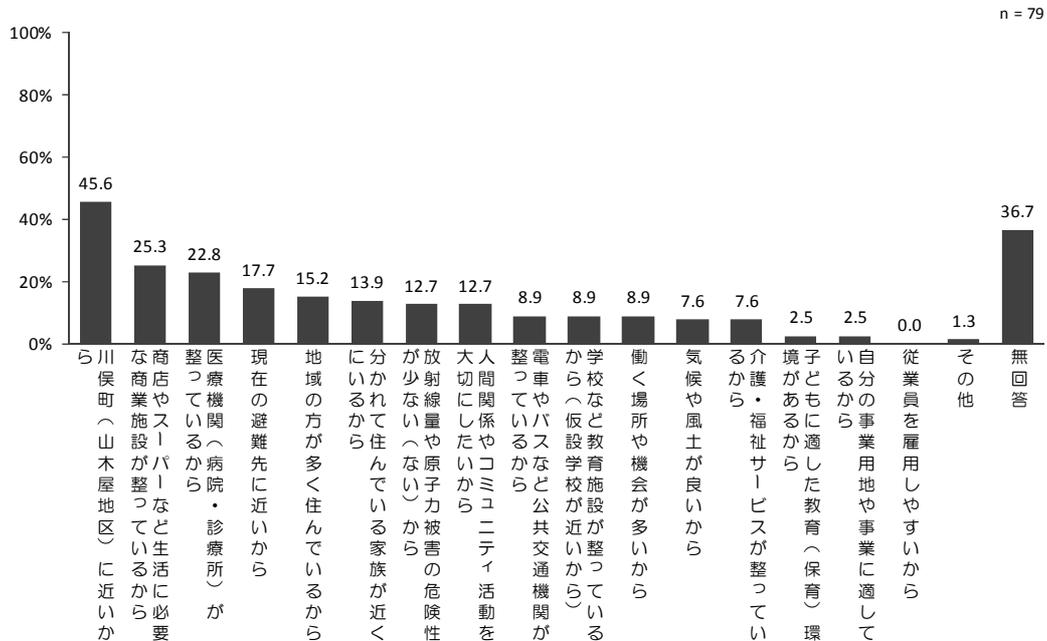
【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

問12-5 あなたが希望する自治体としてご回答になられた理由はどのような理由ですか。

復興公営住宅に入居を希望する自治体を選んだ理由（1世帯目）について、「川俣町（山木屋地区）に近いから」（45.6%）が最も多く、次いで「商店やスーパーなど生活に必要な商業施設が整っているから」（25.3%）、「医療機関（病院・診療所）が整っているから」（22.8%）となっている。

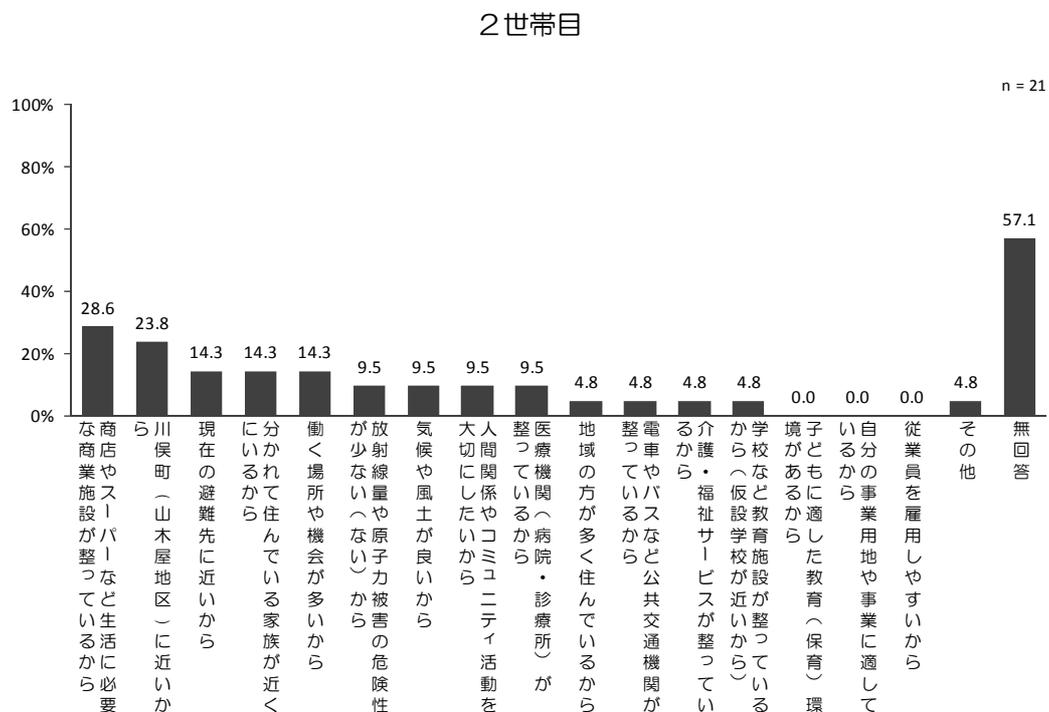
＜図表3-2-6-1 復興公営住宅に入居を希望する自治体を選んだ理由＞

1世帯目



復興公営住宅に入居を希望する自治体を選んだ理由（2世帯目）について、「商店やスーパーなど生活に必要な商業施設が整っているから」（28.6%）が最も多く、次いで「川俣町（山木屋地区）に近いから」（23.8%）、  
「現在の避難所に近いから」（14.3%）となっている。

<図表3-2-6-2 復興公営住宅に入居を希望する自治体を選んだ理由>



### III 調査結果

#### 3-2-7 復興公営住宅の近隣に必要な施設・機能

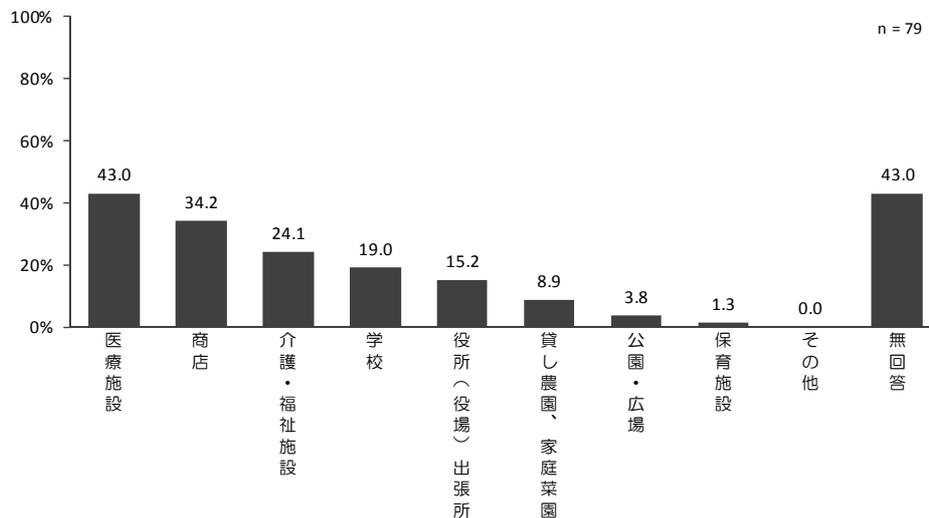
※復興公営住宅への入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

問12-6 復興公営住宅に入居する場合に、その住宅に近接する施設、機能として必要だと思うものは何ですか。  
（〇は3つまで）

復興公営住宅の近隣に必要な施設・機能について、「医療施設」（43.0%）が最も多く、次いで「商店」（34.2%）、「介護・福祉施設」（24.1%）となっている。

<図表3-2-7-1 復興公営住宅の近隣に必要な施設・機能>



### 3-2-8 復興公営住宅に入居する場合に必要なサービス

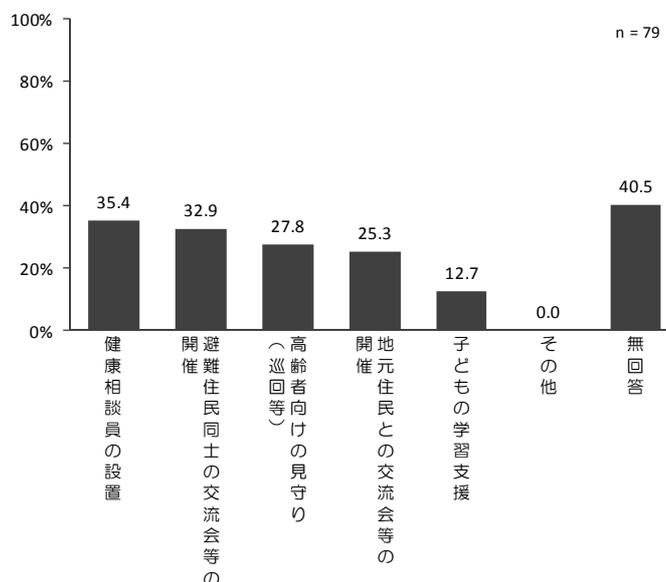
※復興公営住宅への入居意向については、「居住制限区域（乙8区）の全世帯」と「避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯」を対象とした結果により整理している。

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

問12-7 復興公営住宅に入居する場合に、サービスとして必要だと思うものは何ですか。（〇は3つまで）

復興公営住宅に入居する場合に必要なサービスについて、「健康相談員の設置」（35.4%）が最も多く、次いで「避難住民同士の交流会等の開催」（32.9%）、「高齢者向けの見守り（巡回等）」（27.8%）となっている。

<図表3-2-8-1 復興公営住宅に入居する場合に必要なサービス>



### Ⅲ 調査結果

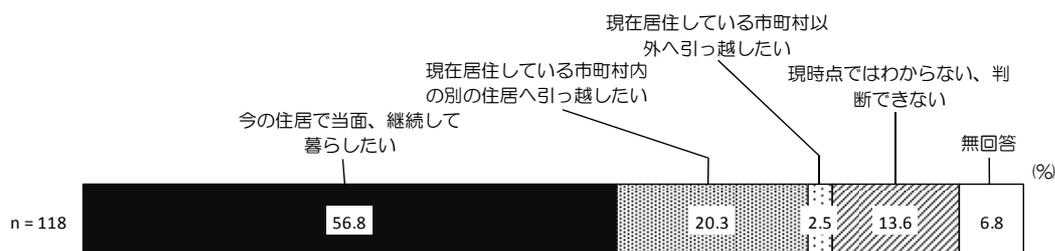
#### 3-2-9 復興公営住宅以外の避難期間中の住居

【問 12 で「3.入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】

問 12-8 あなたは避難指示が解除されるまでの期間の避難所での住居をどのようにお考えですか。(〇は1つ)

復興公営住宅以外の避難期間中の住居について、「今の住居で当面、継続して暮らしたい」(56.8%)が最も多く、次いで「現在居住している市町村内の別の住居へ引っ越したい」(20.3%)、「現在居住している市町村以外へ引っ越したい」(2.5%)となっている。

<図表3-2-9-1 復興公営住宅以外の避難期間中の住居>



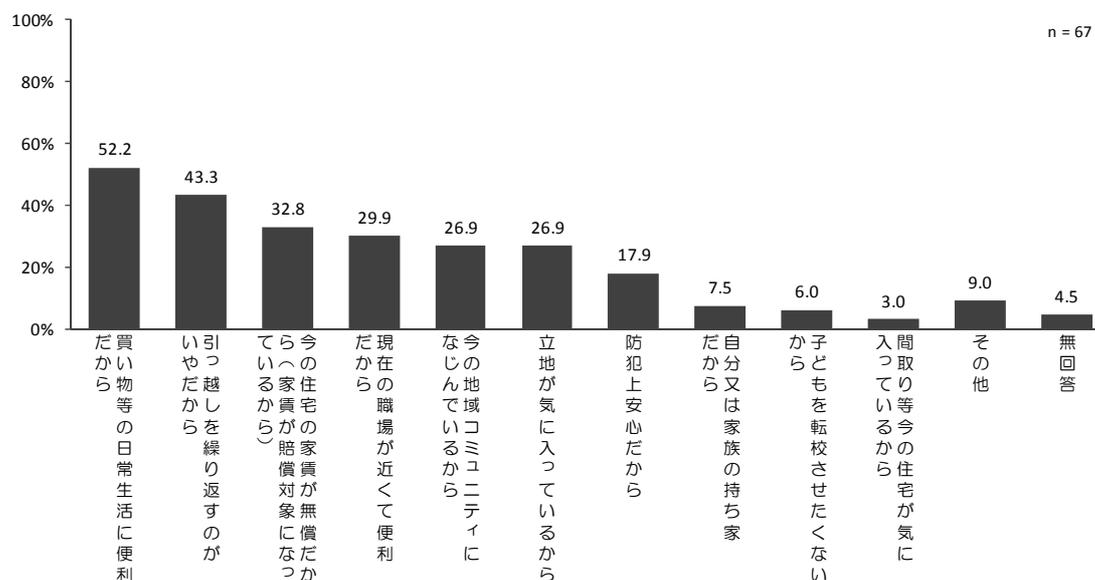
### 3-2-10 現在の住居で継続して暮らしたい理由

【問 12-8 で「1.今の住居で当面、継続して暮らしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-9 今の住居で継続して暮らしたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

現在の住居で継続して暮らしたい理由について、「買い物等の日常生活に便利だから」(52.2%) が最も多く、次いで「引っ越しを繰り返すのがいやだから」(43.3%)、「今の住宅の家賃が無償だから(家賃が賠償対象になっているから)」(32.8%) となっている。

<図表3-2-10-1 現在の住居で継続して暮らしたい理由>



### Ⅲ 調査結果

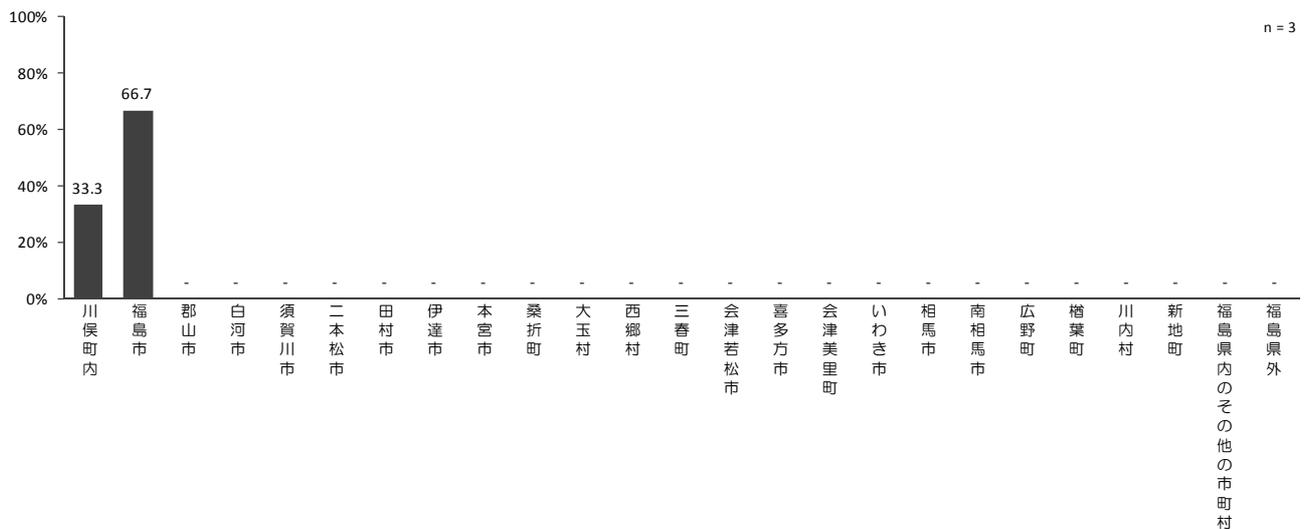
#### 3-2-11 避難期間中、転居を希望する自治体

【問 12-8 で「3.現在居住している市町村以外へ引っ越したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-10 避難期間中に、転居を希望される自治体を教えてください。(〇は1つ)

避難期間中、転居を希望する自治体については、「福島市」(66.7%)、「川俣町内」(33.3%) という結果になっている。

<図表3-2-11-1 避難期間中、転居を希望する自治体>



※本問は n 値が少ないため、参考値程度とする。

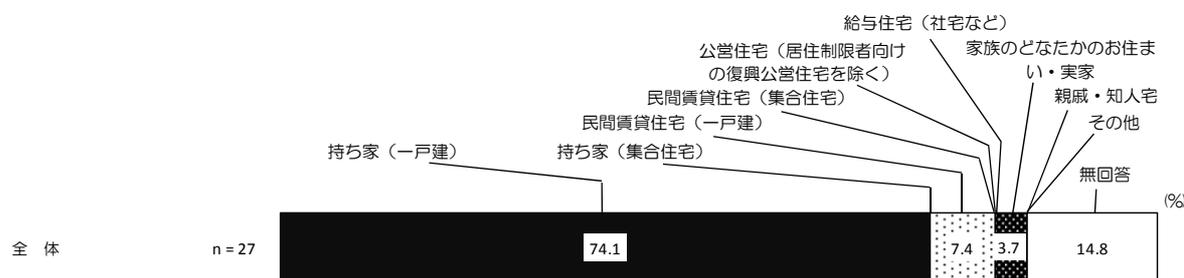
### 3-2-12 避難期間中、転居する場合の住宅形態

【問 12-8 で「2.現在居住している市町村内の別の住居へ引っ越したい」「3.現在居住している市町村以外へ引っ越したい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-11 避難期間中の現在の居住地から他への避難先への移動を希望する場合、希望する住宅はどのような形態ですか。(〇は1つ)

避難期間中、転居する場合の住宅形態について、「持ち家（一戸建）」（74.1%）が最も多く、次いで「民間賃貸住宅（一戸建）」（7.4%）、「家族のどなたかのお住まい・実家」（3.7%）となっている。

<図表3-2-12-1 避難期間中、転居する場合の住宅形態>



### Ⅲ 調査結果

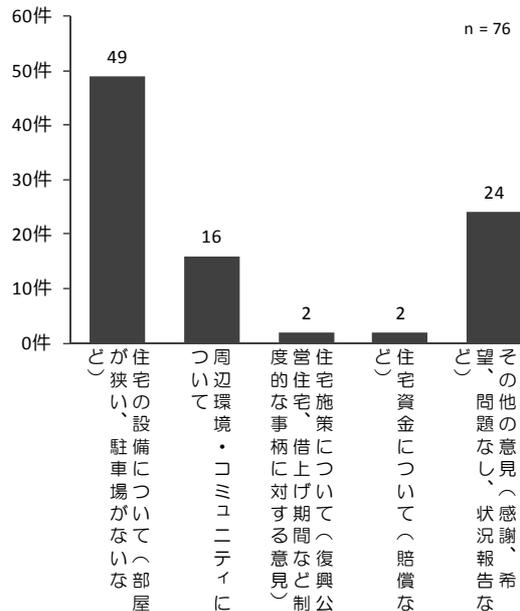
#### 3-2-13 避難期間中の住宅や居住環境についての意見

問 12-12 避難期間中の住宅や居住環境についてご意見があればお書きください。

避難期間中の住居や居住環境についての具体的な意見は、76 件の回答があった。

意見を内容により分類したところ、部屋の狭さなどの「住宅の設備について」が 49 件と最も多く、次いで医療施設や店舗など居住環境などの「周辺環境・コミュニティについて」が 16 件、復興公営住宅や借上期間などの「住宅施策について」、「住宅資金について」が 2 件などとなっている。

〈図表3-2-13-1 避難期間中の住宅や居住環境についての意見〉



主な意見は以下のとおり。

##### 【住宅の設備について】

- 仮設住宅に住んでいますが、隣のいびきやテレビの音が夜通し聞こえ眠れないで困っています。（60代）
- 学生用のアパートで部屋が狭く、布団や衣類などを、保管するのに困っている。家族が来ても、泊ってもらえない。短期間の避難と思い現在のアパートに決めたが、後悔している。だが、引越しを繰り返すのも心身共に疲れるので、我慢している。（50代）
- 仮設住宅なので、隣人に対しての気使いは大変だと思います。家財なども少量にしておこうとは思いますが、結局増えていくように思われます。全体の建物も、いつまでも安全に住めるだろうかと思いつつ、風の強い時や大雨、大雪になった時はとっても不安になってきます。（40代）

##### 【周辺環境・コミュニティについて】

- 山木屋地区の人達の交流の場を年に何回か作ってほしい。（70代以上）
- 隣同士や両向かいとの交流がない為、時々夜になると都会に住んでいる様な感覚に陥ってしまうので、お互いの意見や考えを話し合う機会がほしい。（70代以上）
- 太陽の光が当たらない。国道349号線の道路際なので車の音が夜中でもうるさい。（60代）

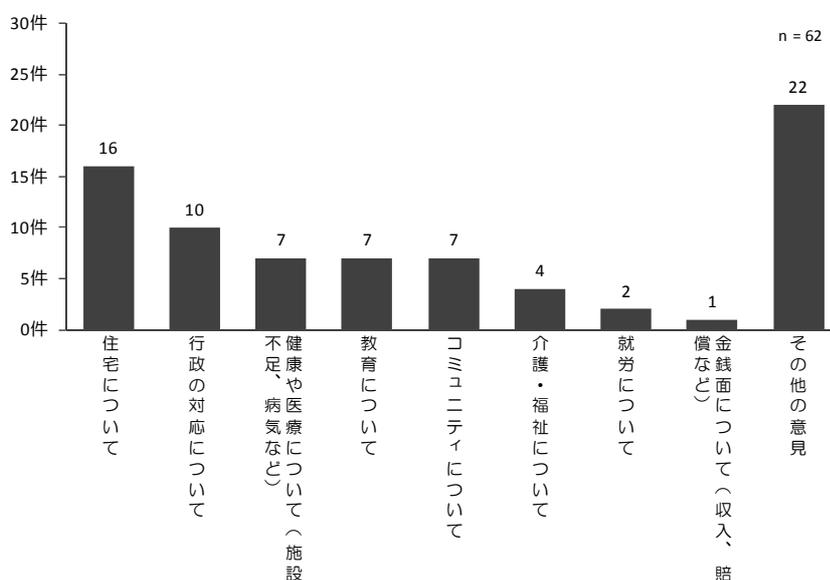
### 3-2-14 避難期間中の生活において、困っていることや改善を求めること

問 12-13 避難期間中の生活において困っていること、改善を求めることがあればお書きください。(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)

避難期間中の生活において、困っていることや改善を求めることについて、62件の回答があった。

意見を内容により分類したところ、部屋の狭さなどの「住宅について」が16件と最も多く、次いで行政サービスや広報などの「行政の対応について」が10件、「健康や医療について」、「教育について」、「コミュニティについて」が7件などとなっている。

<図表3-2-14-1 避難期間中の生活において、困っていることや改善を求めること>



主な意見は以下のとおり。

#### 【住宅について】

- 部屋が狭すぎる。隣近所とのプライバシーが保てない。(60代)
- 嫁いだ子供達の宿泊できる場所が無い。(50代)
- 隣同士の物音に気がつかっている。(70代以上)

#### 【行政の対応について】

- 一日も早く住民コミュニティを保つために町内に住宅用地を造成すべきである。町は国と東電にきちんと物を言うべきである。(50代)
- 情報等の対応が遅い。(40代)
- 避難先で安定して暮らしている様に見えて、当事者は今でも早く帰れることを願っている。これからも帰宅に向けてスピーディーに対応してもらいたい。農家も多く、家庭菜園程度でもいいので土にさわらせてあげたい。(30代)

#### 【健康や医療について (施設不足、病気など)】

- ストレスがたまっている。(50代)

### Ⅲ 調査結果

#### [教育について]

- 小学校入学先を思案してます。みんなバラバラで地元入学を希望していないのが現状なのです。(50代)
- 旧居住地域のみんなとコミュニケーションを取る機会が少なくなっている。教育の面では、学校でしか屋外で活動する事が出来ないため、体力不足が心配である。(50代)

#### [コミュニティについて]

- 地区の集会在全然なく地区の人達と会う機会が少ない。(60代)
- 他人ばかりなので近所の付き合いがない。家の中で毎日生活している。(60代)

### 3-3 将来の意向

#### 3-3-1 今後の職業についての意向

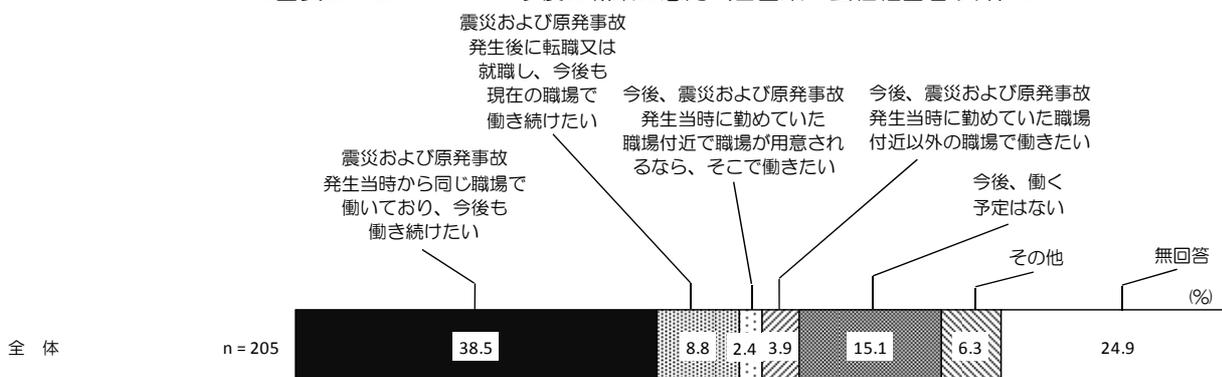
問 13 今後の職業についてどのように考えていますか。(〇は1つ)

##### (1) 震災および原発事故発生当時の職業が自営業・会社経営者以外

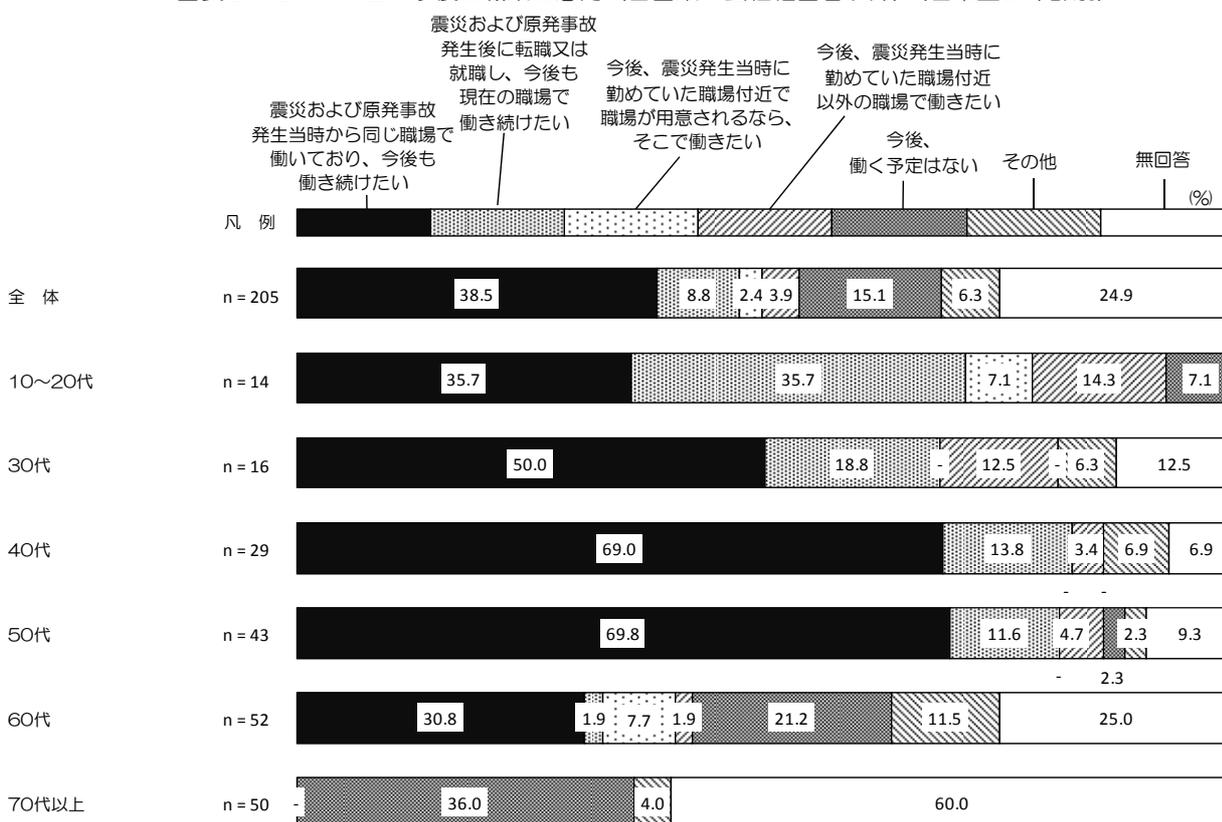
震災および原発事故発生当時の職業が自営業・会社経営者以外の方の今後の職業について、「震災および原発事故発生当時と同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」(38.5%)が最も多く、次いで「今後、働く予定はない」(15.1%)、「震災および原発事故発生後に転職又は就職し、今後も現在の職場で働き続けたい」(8.8%)となっている。

世帯主の年齢別にみると、「震災および原発事故発生当時と同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」は30～50代で過半数となっている。

<図表3-3-1-1 今後の職業の意向(自営業・会社経営者以外)>



<図表3-3-1-2 今後の職業の意向(自営業・会社経営者以外)(世帯主の年齢別)>



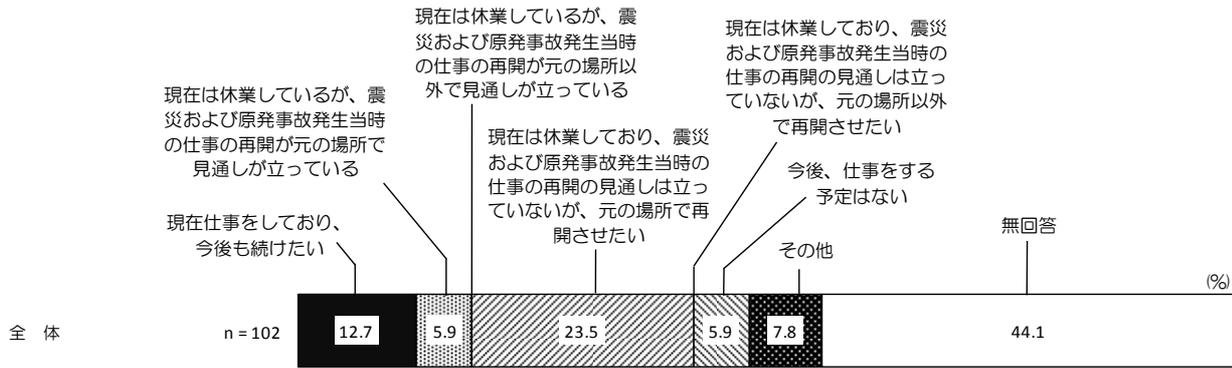
### III 調査結果

#### (2) 震災および原発事故発生当時の職業が自営業・会社経営者

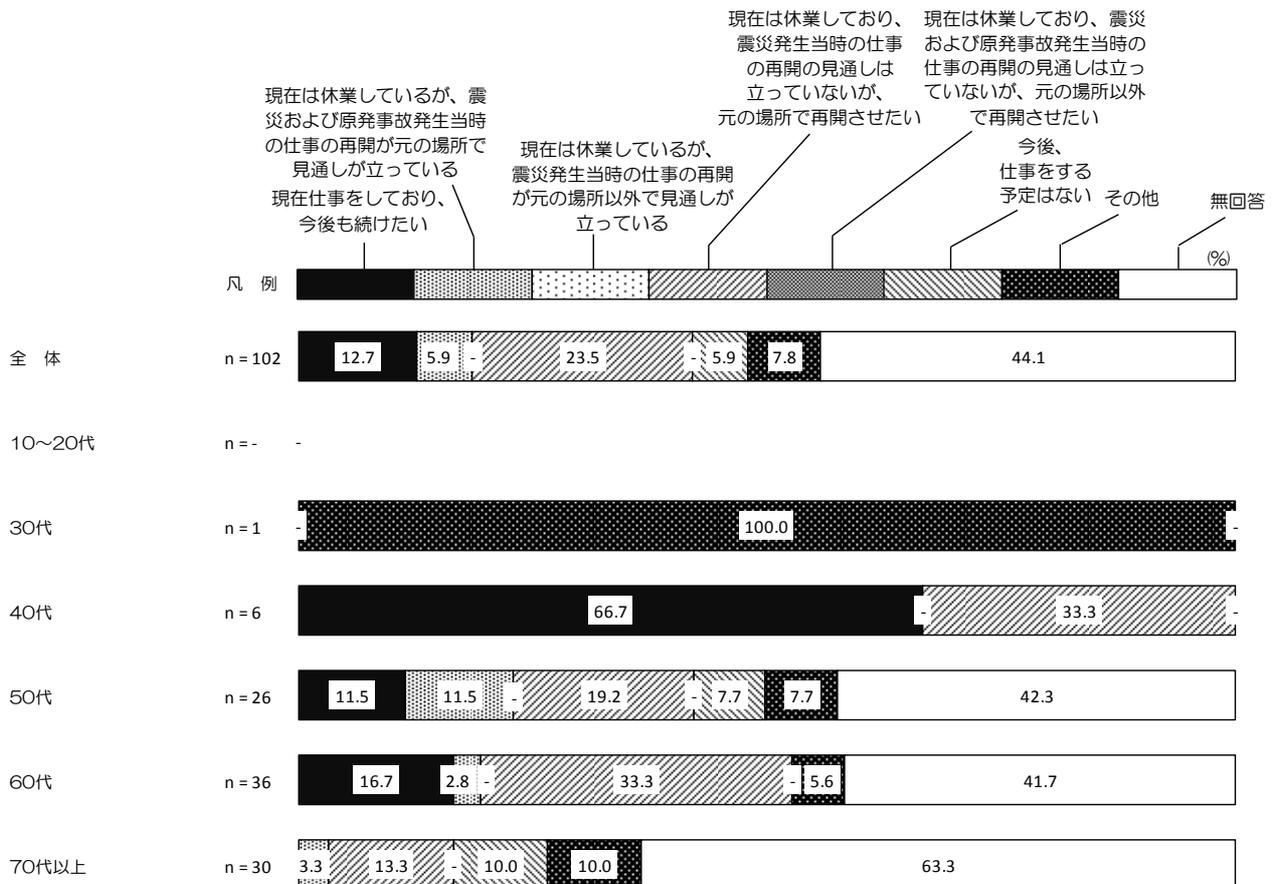
震災および原発事故発生当時の職業が自営業・会社経営者の方の今後の職業について、「現在は休業しており、震災および原発事故発生当時の仕事の再開の見通しは立っていないが、元の場所で再開させたい」(23.5%)が最も多く、次いで「現在仕事をしており、今後も続けたい」(12.7%)となっている。

世帯主の年齢別にみると、40代では「現在仕事をしており、今後も続けたい」が6割以上になっており、他の年齢層に比べて割合が高い。

<図表3-3-1-3 今後の職業の意向(自営業・会社経営者)>



<図表3-3-1-4 今後の職業の意向(自営業・会社経営者)(世帯主の年齢別)>



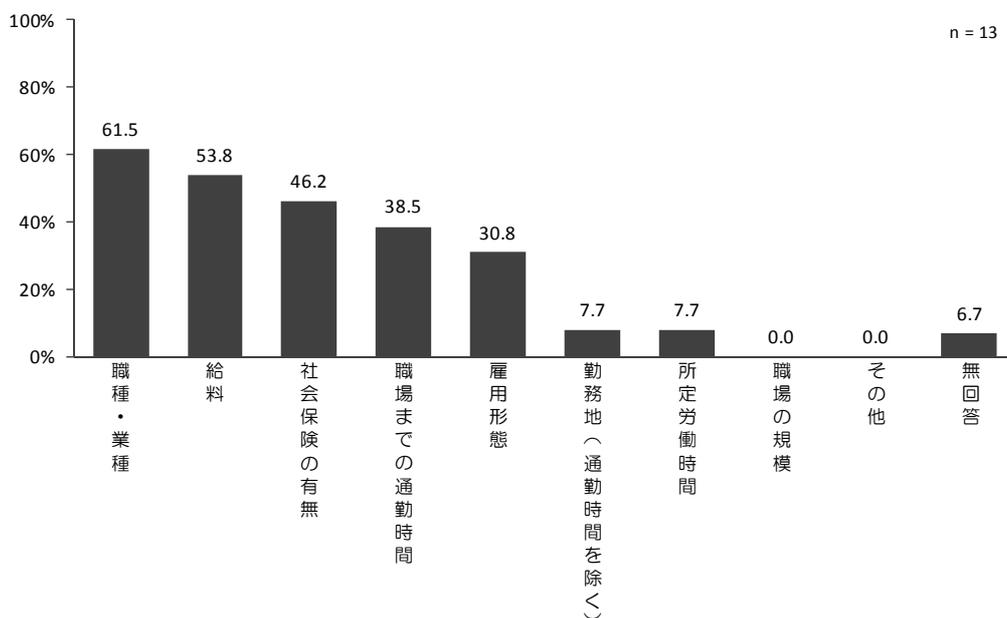
### 3-3-2 職場を選ぶ際に重要視すること

【問 13 で「3.震災および原発事故発生ときに勤めていた職場付近で職場が用意されるなら、そこで働きたい」「4.今後、震災および原発事故発生ときに勤めていた職場付近以外の職場で働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 職場を選ぶ際に、重要視することは何ですか。(〇は3つまで)

職場を選ぶ際に重要視することについて、「職種・業種」(61.5%) が最も多く、次いで「給料」(53.8%)、「社会保険の有無」(46.2%) となっている。

<図表3-3-2-1 職場を選ぶ際に重要視すること>



※本問はn値が少ないため、参考値程度とする。

### III 調査結果

#### 3-3-3 山木屋地区への帰還意向

問 14 将来、山木屋地区の避難指示が解除された後の山木屋地区への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。

(現在一緒にお住まいの家族の一部だけでも戻りたいと考えている場合は「1」を選んでください) (〇は1つ)

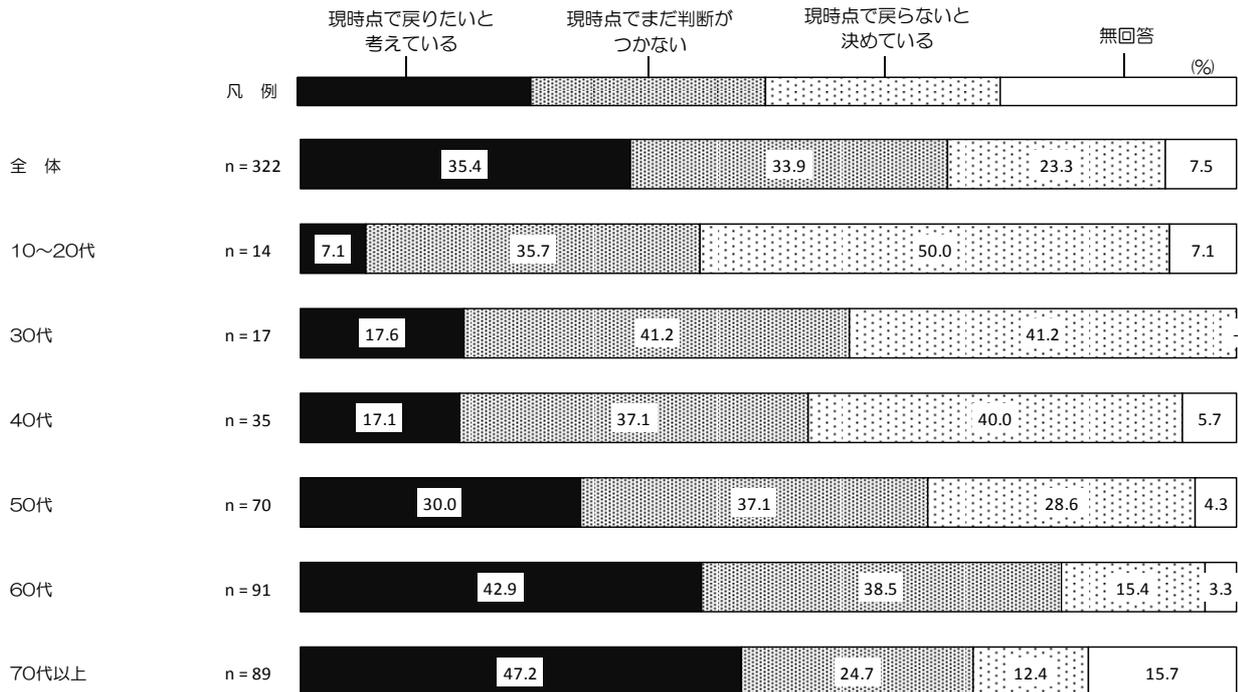
山木屋地区への帰還意向について、「現時点で戻りたいと考えている」(35.4%)が最も多く、次いで「現時点でまだ判断がつかない」(33.9%)、「現時点で戻らないと考えている」(23.3%)となっている。

年齢別にみると、「現時点で戻りたいと考えている」は概ね年齢が高くなるに従い割合が高くなっており、60代以上で4割以上を占める。

<図表3-3-3-1 山木屋地区への帰還意向>

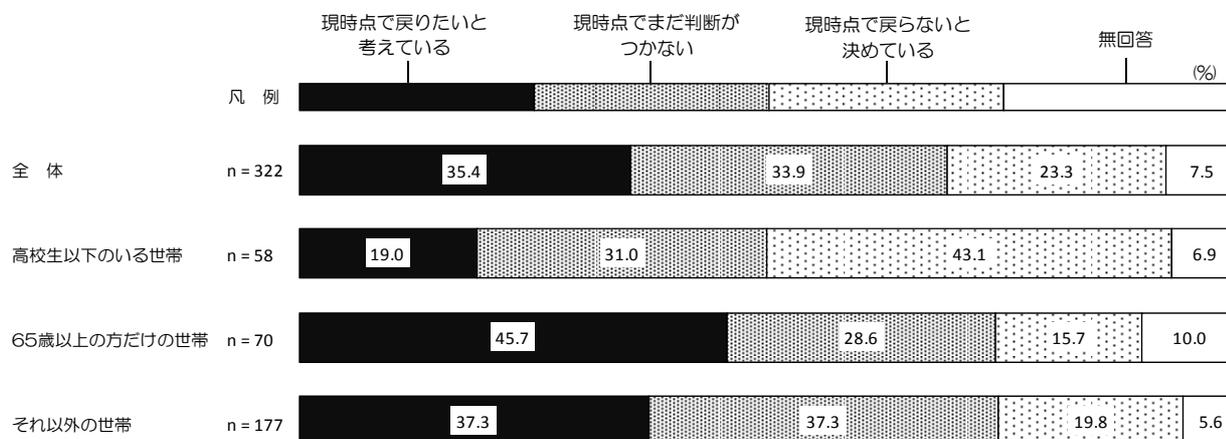


<図表3-3-3-2 山木屋地区への帰還意向(世帯主の年齢別)>



現在の世帯構成別にみると、65歳以上の方だけの世帯では「現時点で戻りたいと考えている」(45.7%)が他の世帯構成に比べ高く、高校生以下のいる世帯では「現時点で戻らないと決めている」(43.1%)が多くなっている。

<図表3-3-3-3 山木屋地区への帰還意向(現在の世帯構成別)>



### III 調査結果

#### 3-3-4 山木屋地区への帰還を判断する上で必要と思う情報

(1) 山木屋地区への帰還を判断する上で必要と思う情報

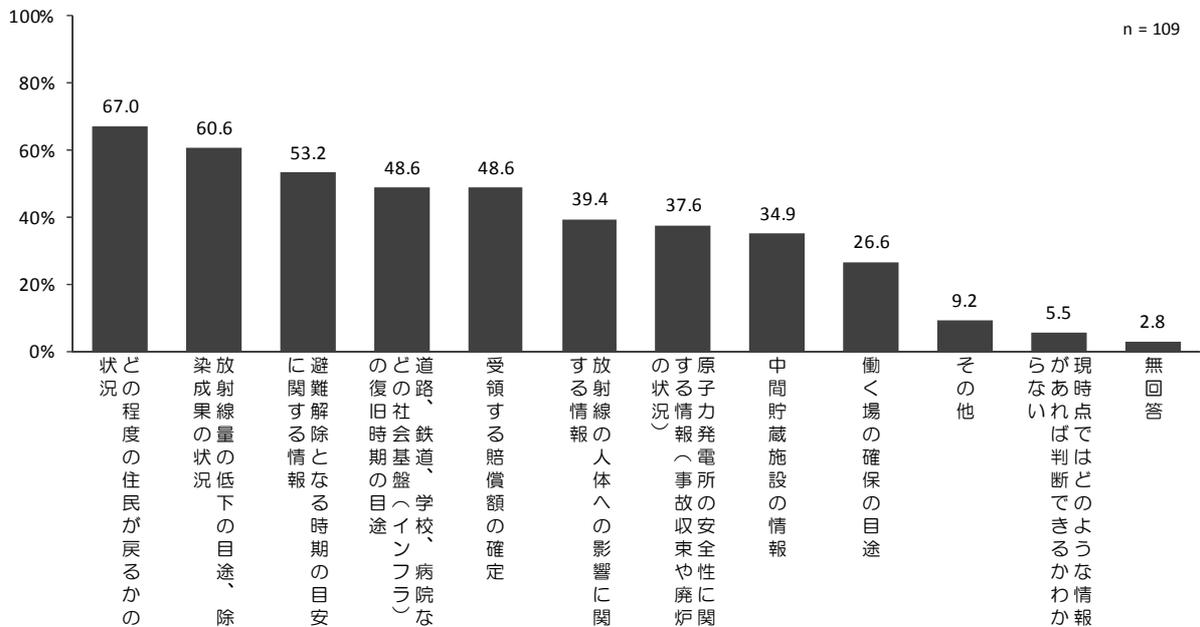
【問 14 で「2.現時点でまだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 山木屋地区へ戻ることを判断する上で必要と思う情報等について、あてはまるものをすべて教えてください。

(〇はいくつでも)

山木屋地区への帰還を判断する上で必要と思う情報について、「どの程度の住民が戻るかの状況」(67.0%)が最も多く、次いで「放射線量の低下の目途、除染成果の状況」(60.6%)、「避難解除となる時期の目安に関する情報」(53.2%)となっている。

<図表3-3-4-1 山木屋地区への帰還を判断する上で必要と思う情報>



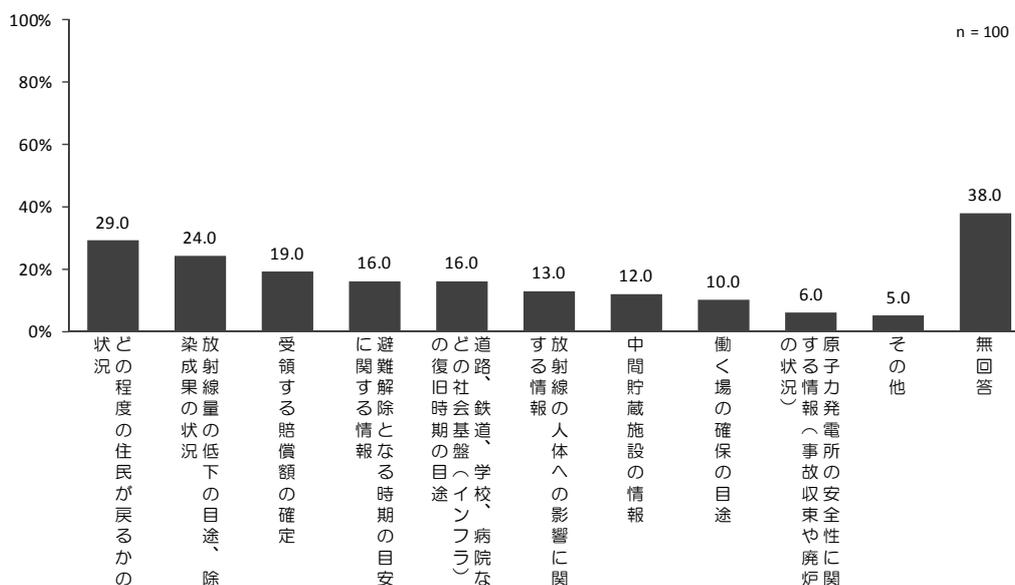
(2) 山木屋地区への帰還を判断する上で必要と思う情報のうち、重視するもの

【問 14-1 で「1」から「10」と回答した方にうかがいます。】

問 14-2 上記(問 14-1) で選んだ情報等のうち、重視したいものを3つまで選んで、選択肢番号の欄にご記入下さい。そして、その情報等について、どのような条件であれば戻りたいと考えますか。具体的な条件の内容をお書きください。

帰還判断に重視する情報等について、「どの程度の住民が戻るかの状況」(29.0%) が最も多く、次いで「放射線量の低下の目途、除染成果の状況」(24.0%)、「受領する賠償額の確定」(19.0%) となっている。

<図表 3-3-4-2 山木屋地区への帰還を判断する上で必要と思う情報(3つまで)>



上位項目の主な意見は以下のとおり。

【どの程度の住民が戻るかの状況】

- 元の人口の80%は住んでないと成りたない(60代)
- どれだけの人が戻ってくるのか。行政区の運営ができるのか。(60代)
- 戻ってくる人口の数と年齢層(10~20代)
- 近所、両隣の住人が戻るのであれば。(50代)

【放射線量の低下の目途、除染成果の状況】

- 山林の除染はどうするのか。宅地から20mではとても帰れる状態ではない。(50代)
- 本当に山木屋に住めるのか。畑に作物を作ることができるのか。(60代)
- 子供が住んでも全く影響が出ない数値(30代)

【受領する賠償額の確定】

- 賠償額の確定があれば(保障額)に寄っては帰らなくてもよいのではないかと(60代)
- 震災前の家や畑に戻せるくらいの金額(10~20代)
- 避難中に傷んだ家屋等を元通りに修理出来る金額(30代)

### III 調査結果

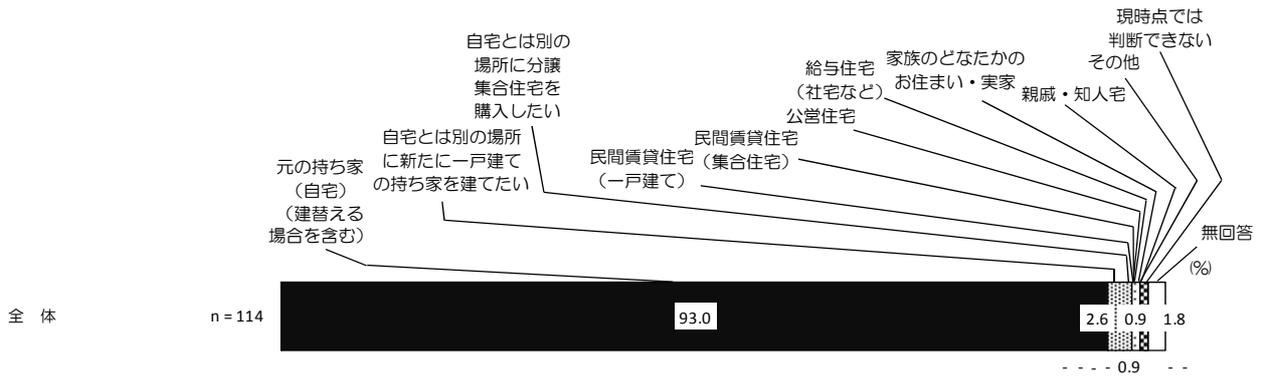
#### 3-3-5 帰還する場合の住居形態

【問 14 で「1.現時点で戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-3 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(〇は1つ)

帰還する場合の住居形態について、「元の持ち家（自宅）（建替える場合を含む）」(93.0%) が最も多い。

<図表3-3-5-1 帰還する場合の住居形態>



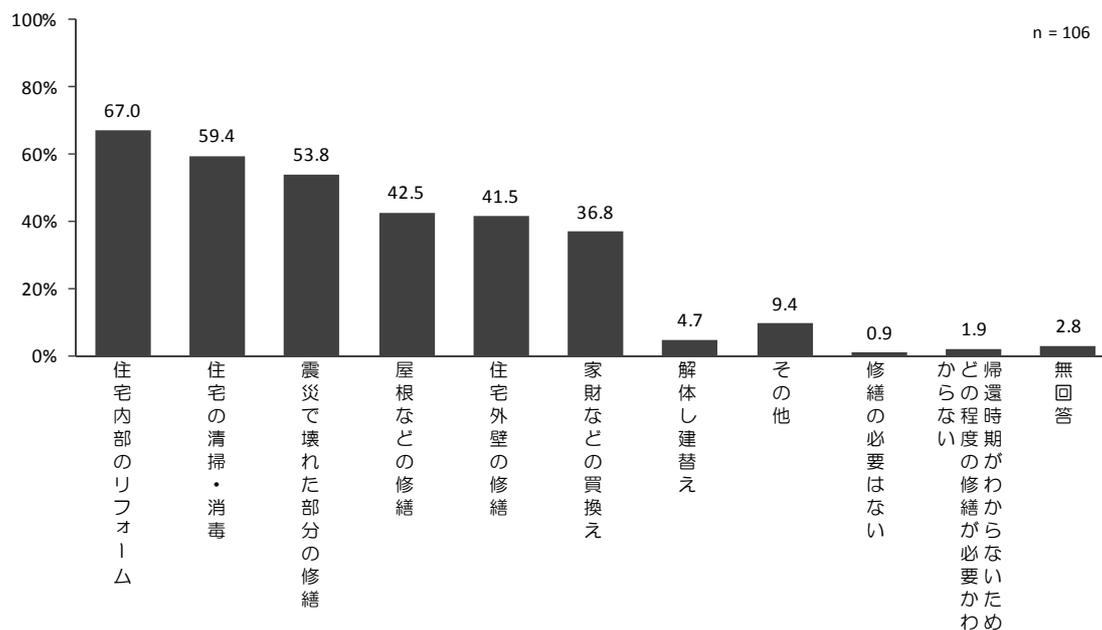
### 3-3-6 元の持ち家に戻る場合に必要な修繕

【問 14-3 で「1.元の持ち家（自宅）（建替える場合を含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 14-4 元の持ち家に戻る場合、ご自宅に対してどのような修繕などが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

元の持ち家に戻る場合に必要な修繕について、「住宅内部のリフォーム」（67.0%）が最も多く、次いで「住宅の清掃・消毒」（59.4%）、「震災で壊れた部分の修繕」（53.8%）となっている。

<図表3-3-6-1 元の持ち家に戻る場合に必要な修繕>



### III 調査結果

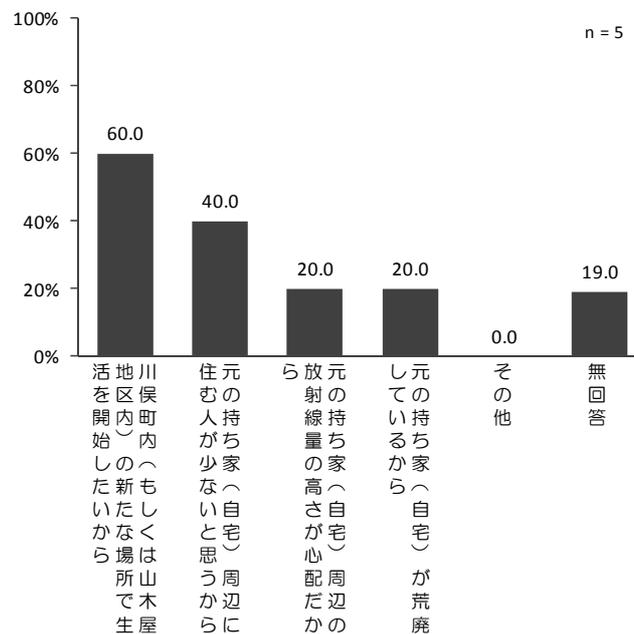
#### 3-3-7 帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問 14-3 で「2」から「10」と回答した方にうかがいます。】

問 14-5 元の持ち家以外を希望される理由は、何ですか。(〇はいくつでも)

帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由について、「川俣町内（もしくは山木屋地区内）の新たな場所で生活を開始したいから」（60.0%）が最も多く、次いで「元の持ち家（自宅）周辺に住む人が少ないと思うから」（40.0%）となっている。

<図表 3-3-7-1 帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由>



※本問はn値が少ないため、参考値程度とする。

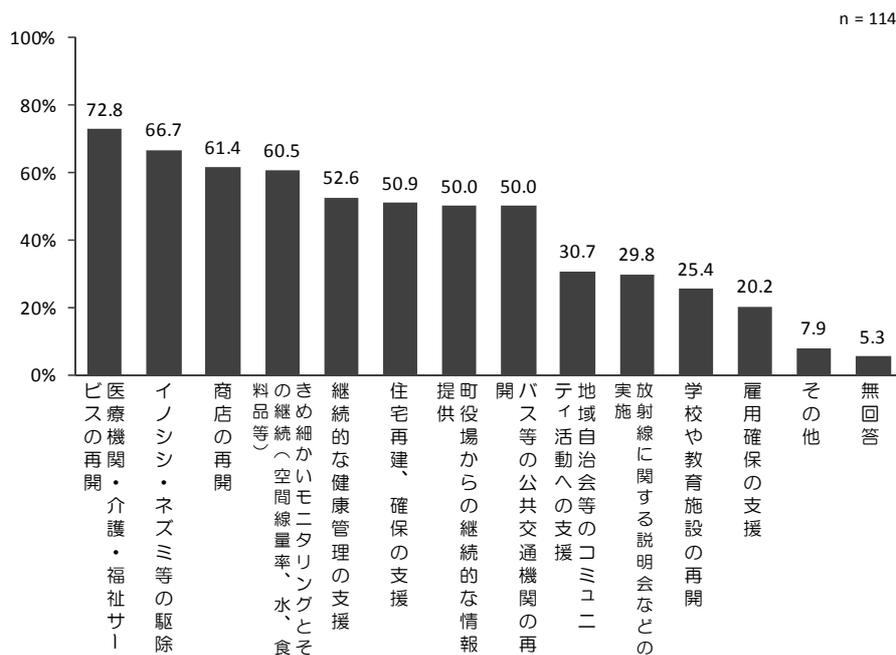
### 3-3-8 川俣町へ帰還する場合に行政に望む支援

【問 14 で「1.現時点で戻りたいと考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-6 戻る場合に行政にどのような支援を望みますか。(〇はいくつでも)

帰還する場合に行政に望む支援について、「医療機関・介護・福祉サービスの再開」(72.8%)が最も多く、次いで「イノシシ・ネズミ等の駆除」(66.7%)、「商店の再開」(61.4%)となっている。

<図表3-3-8-1 川俣町へ帰還する場合に行政に望む支援>



### III 調査結果

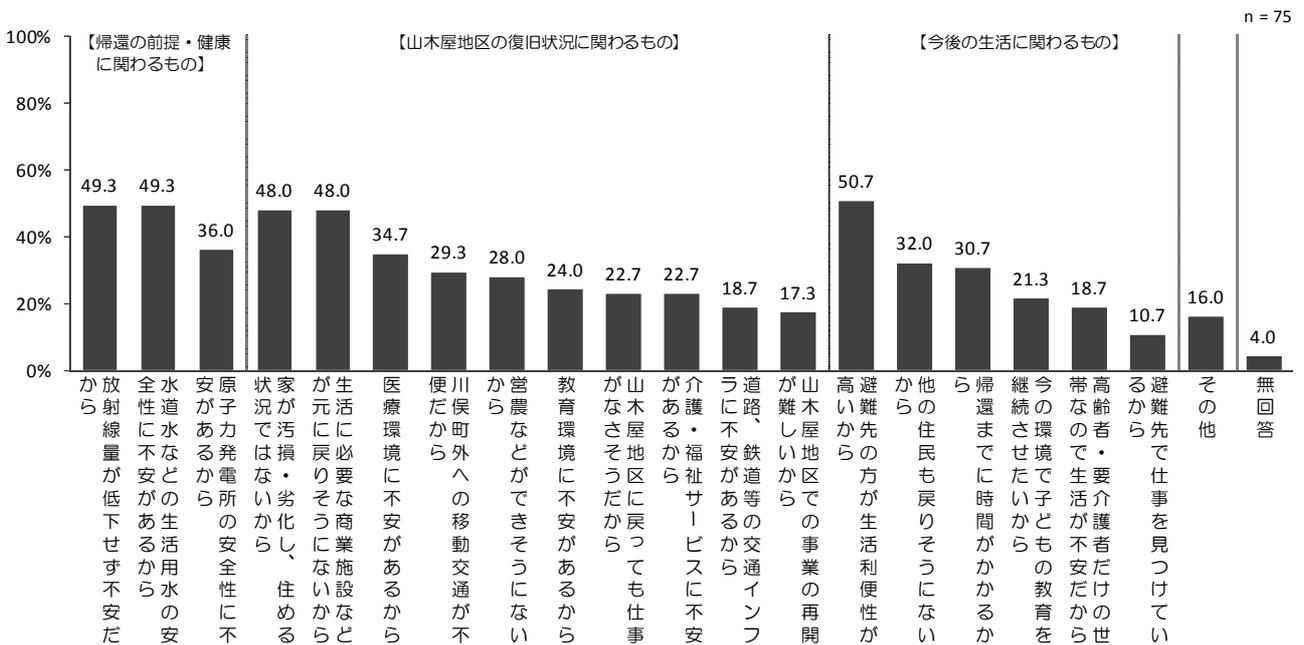
#### 3-3-9 現時点で戻らないと決めている理由

【問 14 で「3.現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-7 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

現時点で戻らないと決めている理由について、「避難先の方が生活利便性が高いから」(50.7%) が最も多く、次いで「放射線量が低下せず不安だから」(49.3%)、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」(49.3%) となっている。

<図表3-3-9-1 現時点で戻らないと決めている理由>





### III 調査結果

#### 3-3-10 帰還しない場合に居住したい自治体

##### (1) 帰還しない場合の居住予定

【問 14 で「3.現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-8 帰還しない場合に、居住を希望する自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。

(1) 現在のお住まいの自治体にそのまま居住されるご予定ですか。(〇は1つ)

帰還しない場合の居住予定について、「現在住んでいる自治体に住むつもり」(46.7%) が最も多くなっている。「現状ではどうするか決まってない」は 33.3%、「別の自治体に転居したい」は 10.7%にとどまっている。

<図表 3-3-10-1 帰還しない場合の居住予定>



##### (2) 転居を希望する自治体

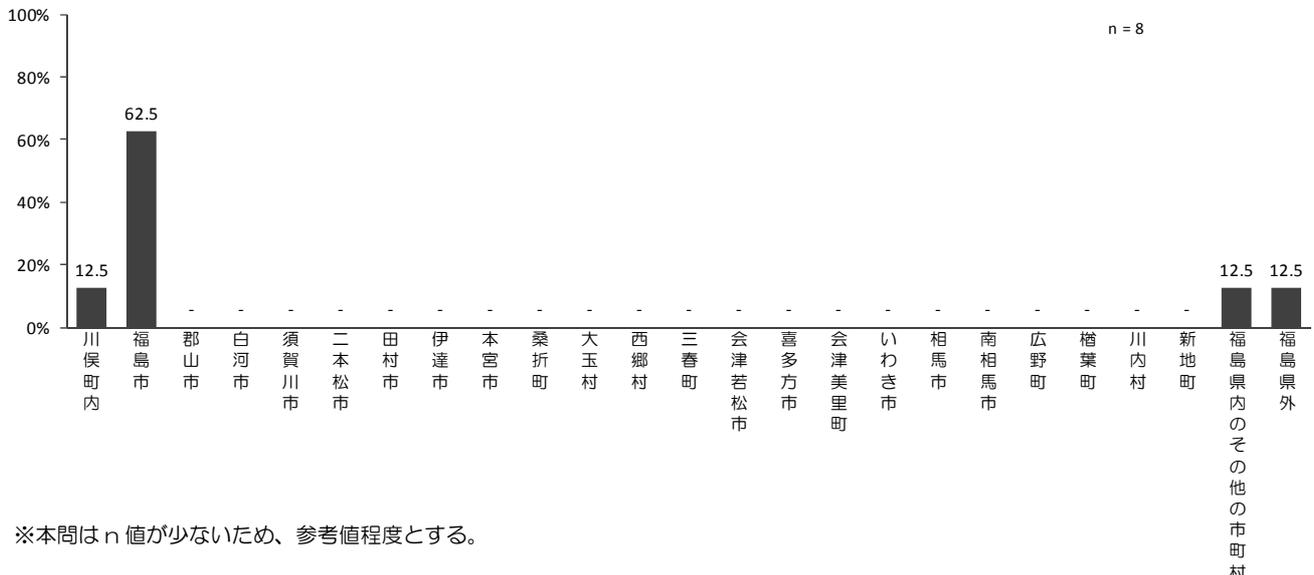
【問 14 で「3.現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-8 帰還しない場合に、居住を希望する自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。

(2) 移転を希望される自治体を教えてください。(〇は1つ)

転居を希望する自治体について、「福島市」(62.5%) が最も多く、次いで「川俣町内」(12.5%)、「福島県内のその他の市町村」(12.5%)、「福島県外」(12.5%) となっている。

<図表 3-3-10-2 移転を希望する自治体>



※本問は n 値が少ないため、参考値程度とする。

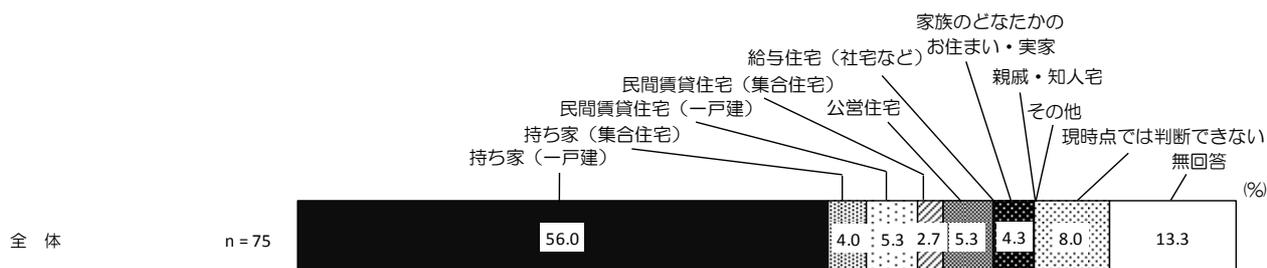
### 3-3-11 帰還しない場合の住居形態

【問 14 で「3.現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-9 転居する場合に、希望する住宅はどのような形態ですか。(〇は1つ)

帰還せず別の自治体に転居する場合の住宅形態について、「持ち家（一戸建）」（56.0%）が最も多く、「民間賃貸住宅（一戸建）」（5.3%）、「公営住宅」（5.3%）となっている。

<図表3-3-11-1 転居する場合の住居形態>



### Ⅲ 調査結果

#### 3-3-12 帰還しない場合に今後の生活において求める支援

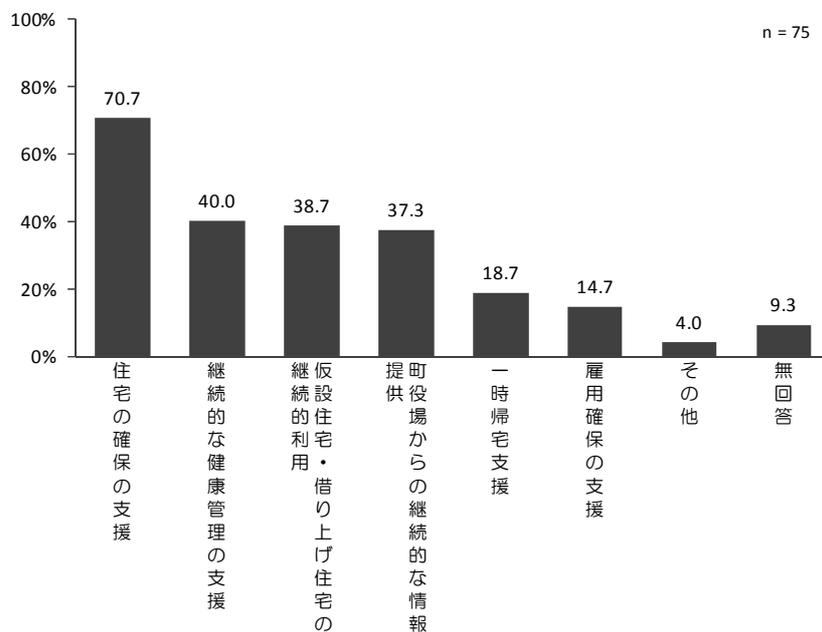
【問 14 で「3.現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-10 震災および原発事故当時に居住されていた山木屋地区に戻らない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。

(〇はいくつでも)

帰還しない場合に今後の生活において求める支援について、「住宅の確保の支援」(70.7%)が最も多く、次いで「継続的な健康管理の支援」(40.0%)、「仮設住宅・借り上げ住宅の継続的利用」(38.7%)となっている。

<図表3-3-12-1 帰還しない場合に今後の生活において求める支援>



### 3-4 意見・要望

問 15 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、150 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活の長期化への不安</li> <li>・元の生活が取り戻せるかどうかの不安</li> <li>・元の生活、安定した生活の回復</li> <li>・元の生活に戻ることにあきらめ</li> <li>・現在の生活の経済的な不安について</li> <li>・現在の生活の健康に関する不安について</li> <li>・現在の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・その他現在の生活の不安について</li> <li>・将来の生活の経済的な不安について</li> <li>・将来の生活の健康に関する不安について</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・その他将来の生活の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の意義について</li> <li>・除染作業にかかる費用の他への活用について</li> <li>・除染作業の効果などについて</li> <li>・除染作業の実施箇所などについて</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> <li>・除染作業スケジュール明確化について</li> <li>・中間貯蔵施設について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還困難区域への立入りについて</li> <li>・帰還困難区域等の設定について</li> <li>・所有する住まい・土地の買取りについて</li> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の遅れ、長期化について</li> <li>・復旧・復興スケジュールについて</li> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・町村合併について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> <li>・早期の原状回復・復興実現について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賠償内容・方法について</li> <li>・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュール明確化について</li> <li>・その他所有する住まい・土地に対する賠償について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉作業の迅速な実施について</li> <li>・その他廃炉作業について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還可能時期の明確化について</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還しない</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・帰還を望まない人への対応について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> <li>・対応の長期化、遅れについて</li> <li>・情報の開示・発信について</li> <li>・中長期的スケジュールについて</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興公営住宅の早期・迅速な建設について</li> <li>・復興公営住宅の建設地・形態等について</li> <li>・復興公営住宅に係る経済的負担について</li> <li>・復興公営住宅入居が可能かどうかの不安</li> <li>・復興公営住宅への入居について</li> <li>・居住場所の確保について</li> <li>・借上げ住宅について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・行政に対する謝意、励まし</li> <li>・その他</li> </ul>

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

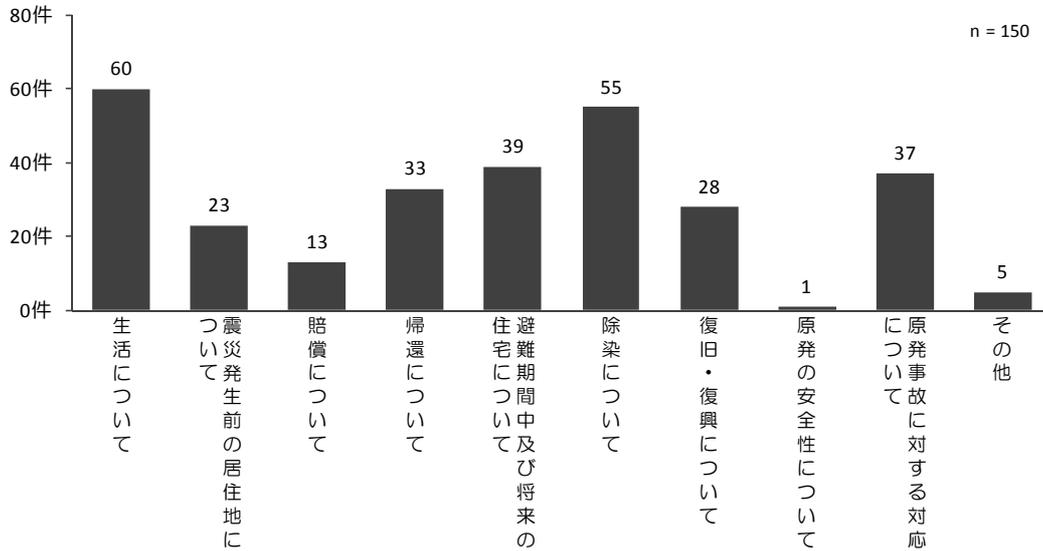
※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

### Ⅲ 調査結果

まず、10の大項目についての、分類結果は下図のとおりとなった。

「生活について」が60件と最も多く、次いで「除染について」が55件、「避難期間中及び将来の住宅について」が39件などとなっている。

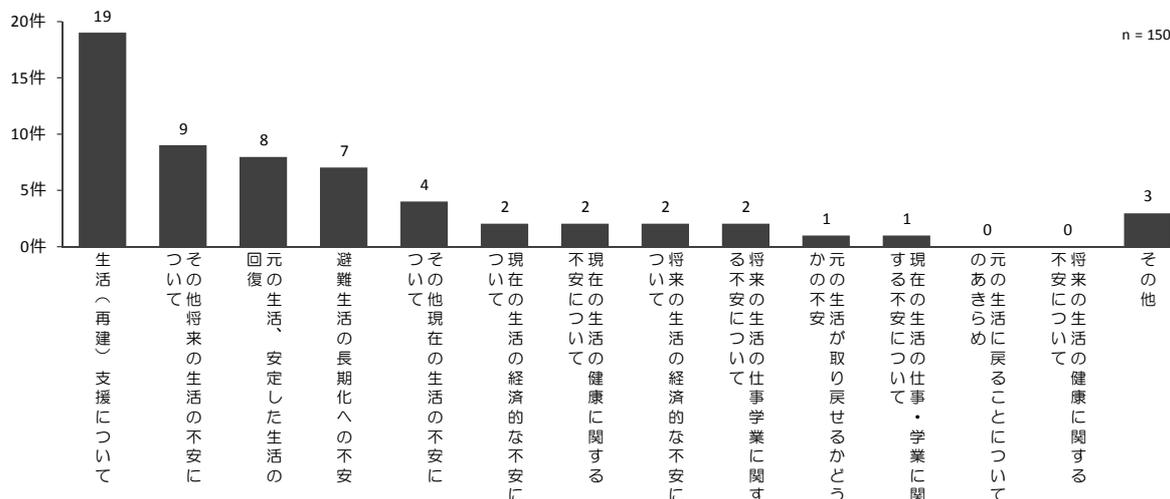
<図表3-4-1 意見に係る記入内容の分類結果>



(1) 生活について

生活についての具体的な意見としては、部屋の狭さなどの「生活（再建）支援について」が 19 件と最も多く、次いで「その他将来の生活の不安について」が 9 件、「元の生活、安定した生活の回復」が 8 件などとなっている。

<図表3-4-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【生活（再建）支援について】**

- 現実的な賠償、再建支援をしてもらいたい。私達はなんにも悪い事はしていない！！（40代）
- 土地があれば家族と一緒に住めるようにと考えてる。山小屋に戻っても何もできない（不便）。今後の生活を考えると国で土地を支援してほしい。（10代～20代）

**【その他将来の生活の不安について】**

- 自分は戻っても良いが母が84才になるので、一人にして置いて働きに（会社）通うようになるので、その際、（戻る時になって）どのような状態での帰還になるのかが不安で、戻る事が出来ない可能性もある。（50代）
- 自営業で中高年層で新しく仕事を始めようにも仕事にもつせず、事実上無職や低所得者への補償をしっかり対策を考えてほしい。本心はもとの状態に戻してほしい。今後の生活が不安です。高齢者をかかえながら今後何をしていけば良いのか悩みます。そういった不安を払拭してくれる事を望みます。（50代）

**【元の生活、安定した生活の回復】**

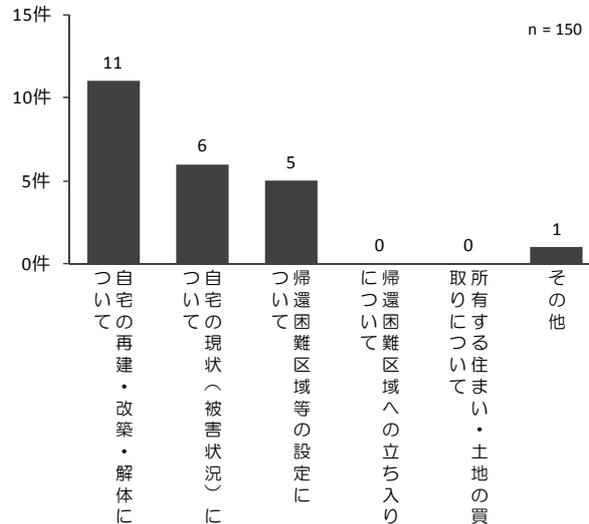
- 元の生活に戻って欲しい。復興の為に使っている様々な費用を、お金の使い方をもっと考えて欲しい（40代）
- 先がまったく見えない。時間が経てばさらにわからなくなるし、あと2、3年もすぎれば川俣に居る必要もなくなると思う。早くなんとかしてほしいと思う。震災前とかわらない生活がしたい。（40代）

### III 調査結果

#### (2) 震災発生前の居住地について

震災発生前の居住地についての具体的な意見としては、「自宅の再建・改築・解体について」が11件と最も多く、次いで「自宅の現状（被害状況）について」が6件、「帰還困難区域等の設定について」が5件となっている。

＜図表3-4-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### [自宅の再建・改築・解体について]

- 子供達は帰りたくても帰れないので、福島市に一戸建を計画しております。住宅を建てた場合の支援をお願いいたします。(60代)
- 帰還を促すのなら、家の立て替え、リフォームなどの費用を全額国でもってもらいたい。私の思いは、今の家の感じでは住める状態ではないです。自家野菜を作れる位の畑がほしい。(年齢不詳)
- 私がここに要望を書いた事が、どれだけ届くか分かりませんが、地震で家が壊れたまま避難しました。保険に入っていましたが、どこも直せる金額ではありませんでした。あれから3年、ベランダは崩れ家の中は腐り、カビだらけです。こんな状態で除染しても無駄の様な気がしてなりません。多額の費用がかかると聞きました。その費用をリフォームや建て替えにまわして頂けるならありがたいです。(50代)

#### [自宅の現状（被害状況）について]

- まだ戻る戻らない決めるのは早いと思う。除染始まったがいつ除染終わかわからない。又飲み水（井戸）がつかえないので、水道（飲み水）の方、早く飲めるよう。帰っても水がのめないので飲み水の確保。家の中にねずみが多いため、くいあらされている。又フン、オシッコ等で家の中がくさい。大変な事で生活できない。又、野生のイノシシで家の囲りまできてあらしている。早く駆除お願いしていたが、町では中々駆除出してもらえなかった。9月から出してもらった。おそすぎる。元の3. 11前のように生活できるよう、お願い致します。(60代)
- 東電の原発が爆破して放射能が散乱して私達の住んでいる山木屋にまで汚染され余儀なく避難を命ぜられ現在に至ってる訳です。間もなく事故から3年が過ぎようとして汚染された除染作業が大幅に遅れてる状態だ。私も時々、自宅に帰って住宅やその他の建物の状況を見てますが建物は年々風化し、農地は原野に戻りつつある、家財などはネズミの被害、更には放射能で汚染されてるこのような状態で新たに生活を迎える事になれば1から出直しの生活になる。(70代以上)

【帰還困難区域等の設定について】

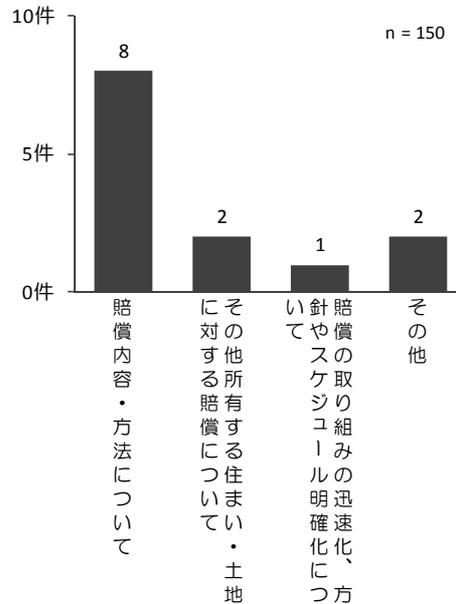
- 放射線量が同じぐらいなのに、町の違いによって浪江町は5年の帰還困難地区なのに、私の山木屋の28区の水境地区は居住制限区域ということは納得いかない！（50代）

### Ⅲ 調査結果

#### (3) 賠償について

賠償についての具体的な意見としては、「賠償内容・方法について」が8件と最も多く、次いで「その他所有する住まい・土地に対する賠償について」が2件、「賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュール明確化について」が1件などとなっている。

<図表3-4-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【賠償内容・方法について】

- 単身赴任者にも保障救済して欲しい。(60代)
- 避難してすでに3年が過ぎようとしている現在では、家族構成や放射線に対する考え方等も様々です。個人個人の希望に沿った支援や賠償をして欲しいと思っています。(50代)
- 3年以上手つかずで痛んでしまった家屋を修理、改善する費用はどこから出てくるのか、はっきり言って、賠償された金額ではとても足りず心配です。補助されてもらわないと不安です。復興と言っても生活基盤ができてなくては、何もできてなくては困りものです。(40代)

#### 【その他所有する住まい・土地に対する賠償について】

- 山木屋は避難解除準備区域のため住宅について補修費用しか出ない。山木屋での住まいのように新しく土地や住宅を購入するとなるとまるで費用が足りない。土地や住宅の購入について資金援助を検討していただければありがたい。元の住んでいた場所に戻るかどうかは、“除染”だけの単純な影響だけではないので、各人の人生の“やり直し”にしっかりした後押しが必要と思います。(40代)

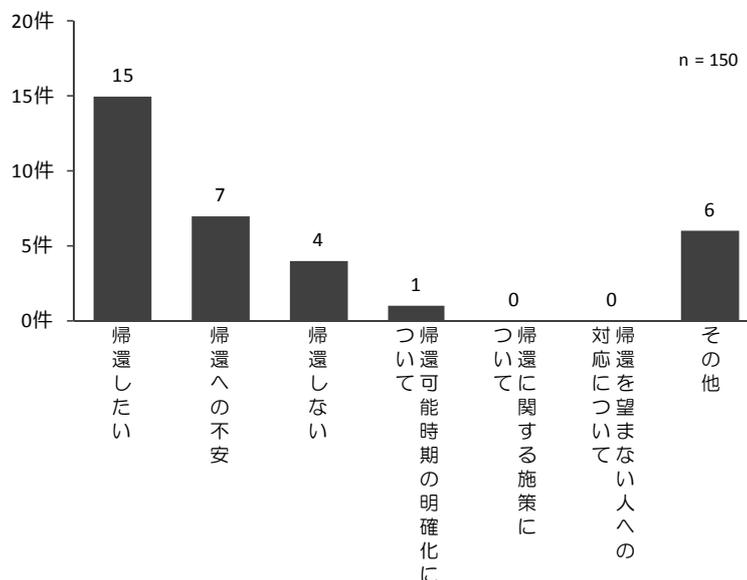
#### 【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュール明確化の要望】

- 生活再建を行なうために、早急に賠償額を確定し全額を支払う制度を確立すること。(60代)

(4) 帰還について

帰還についての具体的な意見としては、「帰還したい」が15件と最も多く、「帰還への不安」が7件、次いで「帰還しない」が4件などとなっている。

<図表3-4-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還したい】

- できるだけ早く帰還したいです。(70代以上)
- 国や県では復興、復興と言って居りますが、我家の方は3年過ぎてもまだ手もつきません。家に帰っても雑草ばかり背丈になって、喜んで走り回ってるのは、イノシシばかり。今後家に帰っても老人ばかりでどうして暮らしてよいか先の事を考えると心配です。3年前までは夢も希望もあったはず。今は何もありません。町にできれば、山木屋の人達はお金がもらえると変な目で見られるのが悲しい。我々の毎日くるしい生活を送ってるのはわからないようだ。1日も早く山木屋にもどって家族で暮したい。(70代以上)

【帰還への不安】

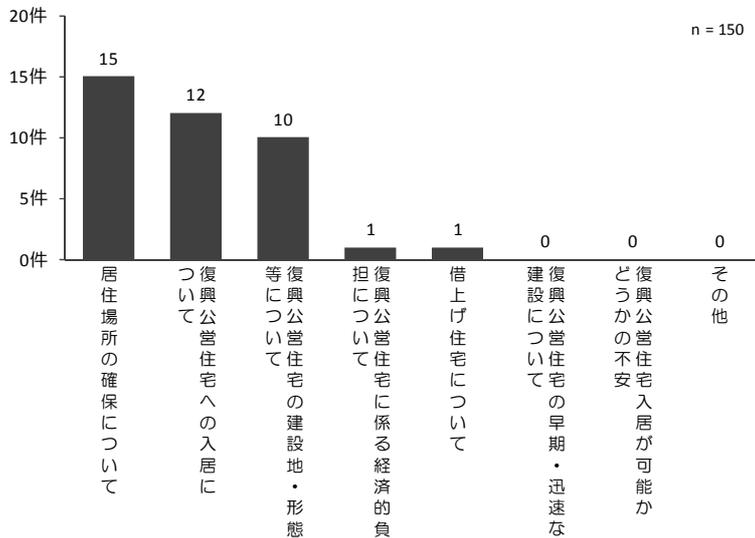
- 永年住み慣れた自宅に、元気なうちに戻れるか不安。(70代以上)
- 除染しても線量が下がらなければ戻れない。(60代)

### III 調査結果

#### (5) 避難期間中及び将来の住宅について

避難期間中及び将来の住宅についての具体的な意見としては、「居住場所の確保について」が15件と最も多く、次いで「復興公営住宅への入居について」が12件、「復興公営住宅の建設地・形態等について」が10件などとなっている。

<図表3-4-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【居住場所の確保について】

- 子育て世代も大切だが、これから結婚する若者の為に町内に住宅を確保する土地がほしい。分散している三世代が住める家を山木屋以外で考えている。(50代)
- 個人が要望すれば不動産とか中古住宅の紹介する場所があれば良いのではと思う。川俣町にはないと思うので。(60代)
- 除染の計画が遅れているので、仮設にいつまでいるか分からない。二年で仮設を使う話だったのだから、次の移転先を確保してほしい。一人とはいえ、荷物もあるのでいい加減せまい!!(10代~20代)

#### 【復興公営住宅への入居について】

- プライベートが守られる住宅なら入居したい。現在仮設に住んでいて嫌な思いをたくさんしているので、住宅をつくる場合はある程度距離をとってつくってほしい。(40代)
- 帰還したいが線量が下がらず、戻れない場合は入居を希望する。(60代)

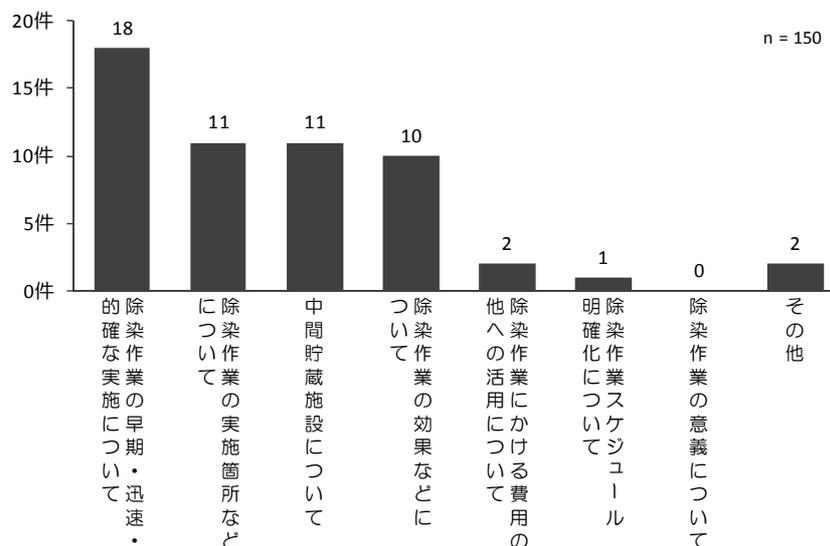
#### 【復興公営住宅の建設地・形態等について】

- 復興住宅を川俣町内でなく山木屋近くに作らなければ、解除しても復興住宅に住んだ人は山木屋にはもどらなくなるのでは。若い人は町内、老人たちも戻っても発展しないと思います。(60代)
- 復興住宅を川俣町内につくれば山木屋に住む子供はいなくなる。学校がなくなってしまう事があるかもしれない。山木屋の安全をアピールして、逆に山木屋に復興住宅を作り、安心して住める事をアピールした方がいい。山木屋のように人数の少なく年よりの多い所は、若い人が住まなければ消えてしまうかもしれないから、若い子供達のいる人達が住めるようにしてほしい。(30代)
- 仮住まいのままでは、いつまでたっても復興にならないと思う。安心して住める環境を整えてほしい。公営住宅も170戸で本当に足りるのか?(10代~20代)

(6) 除染について

除染についての具体的な意見としては、「除染作業の早期・迅速・的確な実施について」が18件と最も多く、次いで「除染作業の実施箇所などについて」、「中間貯蔵施設について」がともに11件などとなっている。

<図表3-4-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】**

- 早く除染をして、若い家族と共に安心して暮らせるようにしてほしい。(50代)
- 除染の完全な実施を希望します。(70代以上)
- 早く除染をやっていただいて、インフラの整備もやっていただいて、田や畑もつくられるようにして下さい。安心してつくった物が食べられるようにしてほしいです。おねがい申し上げます。(60代)

**【除染作業の実施箇所などについて】**

- このアンケートを踏まえて、家の劣化で住めない先(戻らないと決めている方)などには家の除染はしなくていいので、その分お金で対応してほしいと思う。(40代)
- 除染の終わった川内村、都路など、除染したところが高いので国に再除染を要望したが、何の返答もないと新聞に出ていました。国では再除染すると言っていないので、山木屋地区は26年、27年、2年でできずとも受とめていますが、私の思うことでは2年で出来ないと思います。無理に2年で終わるとすると手抜き除染になる。国では再除染する気がないとすれば、時間がかかっても完全な除染を。手抜き除染などやる気であれば簡単に出来ますので、しっかりと監督を要望します。最後に、除染が出来ないのだから帰還について現時点判断がつかない。除染により結果になった場合は帰還したいと思っています。(70代以上)
- 山木屋の除染は住宅の周りや農地に等限定された部分のみ。山林は除染されないため山木屋地域のように山からの沢水で暮している人達は生活再建は全く見通しがたたない。(70代以上)
- 今、除染がおこなわれていますが、見ていると各地域での除染がいろいろ有るようです。我々が納得のいく除染が必要かと思われまます。私達地区民が帰れば当然、米、野菜、山菜などを食べるようになると思ひます。その辺が解消しないと家に帰ってもしょうがないと思ひてます。(60代)

### Ⅲ 調査結果

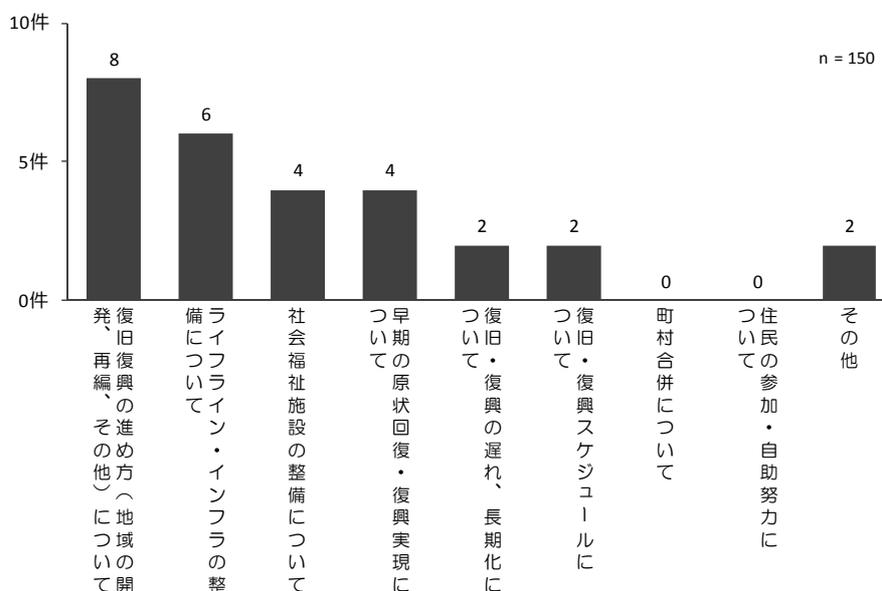
#### 【中間貯蔵施設について】

- 現在私の所では、仮置場が用水池のまわりになっているので帰って農業は出来ないと思っています。なぜ用水池のまわりに仮置場なのか環境省の考えは、わかりません。国は、除染をやればそれでいいと思っているのでしょうか？（60代）
- 山木屋の各地区に仮置場が設けられていますが、予定は3年間と言うことですが、無理だと思っています。10年以上はかかるのではないのでしょうか？家の前に汚染物が山積みになったまま、帰れるとは思えなく、確実な仮置場の撤去を明確にして頂いたく思います。又、その計画日時を説明して頂きたいと思います。（40代）
- 中間貯蔵の問題だけでなく、最終処分場を県外に押し付けている印象が強い。自分達で誘致したなら最後まで責任を持つべき。（10代～20代）
- 帰還できるようになった時、自宅の周りに見える仮置時に山積みになっている物が中間貯蔵する場所が決まり撤去されているのでしょうか。何事をするにも決まってからの報告で私達の意見が通る事はほとんどない。きちんと説明してから事を進めてほしい。（60代）

(7) 復旧・復興について

復旧・復興についての具体的な意見としては、「復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）」についてが8件と最も多く、次いで「ライフライン・インフラの整備について」が6件、「社会福祉施設の整備について」、「早期の原状回復・復興実現について」がともに4件などとなっている。

＜図表3-4-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】**

- 自分の今後に迷いがある人が多いと思う。アンケートをもとにインフラ、住宅や土地、仕事など明確にわかるように計画を立ててほしい。スマートコミュニティ構想に興味をもつ人が多くいます。実行してほしい。自分は、山木屋に帰り仕事をしたい。（60代）
- これからも農業をしたいと思っている。まずは、食料生産よりもバイオ燃料や飼料作物で農地管理をし様子を見る。そのために、農地の集約・規模拡大・農地借貸の制度・バイオ燃料工場の建設予定・採算に対するバックアップなどが必要と考える。（40代）
- 現状、展望から要望として子育て世代（40才代まで）の帰還は望めそうにない現実と、帰還人員の半減から安全と安心を確保する為、コア集落の実現に向けた意見集約（アイデア希望等）を進める時期になった。コア集落の理念には子育て世代の方々も、いずれ自分たちもここに戻りたいと思わせる施策が盛り込まれることが必要。これら目に見える形で示して欲しい。（60代）

**【ライフライン・インフラの整備について】**

- 国道114号線の延長を希望。小網木トンネルが開通してから、山木屋から川俣までの時間が短縮したので、その先も新しく道路をつくって、川俣で山木屋の孤立をなくしてほしい。（60代）
- 飲料水の安全性。山林からの湧水を飲んでいたので大雨のときなど飲み水が濁ることがあったのでボーリングしてもらいたい。国道114号バイパス整備してもらいたい。（特に小網木地内小網木トンネルから仁井町バイパスまで）（60代）

**【社会福祉施設の整備について】**

- 地区内は高齢者が多いので病院、介護施設を充実させてほしい。（60代）
- 避災者特別養護老人ホームの設置を希望します。（70代以上）

### Ⅲ 調査結果

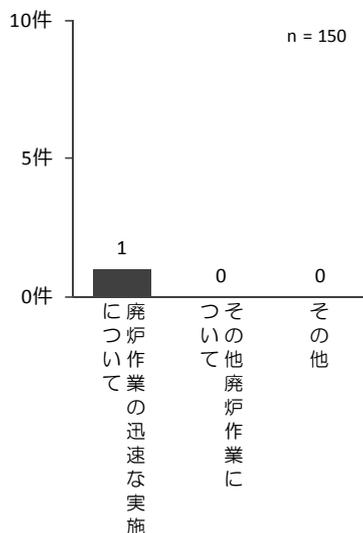
#### 【早期の原状回復・復興実現について】

- 私は早く復興して明るい気分で、1日も早く願います。(70代以上)
- 3年も過ぎたので早々に復興して気持ちのもてる、明日のある地区にして下さい。(70代以上)

(8) 原発の安全性について

原発の安全性についての具体的な意見としては、「廃炉作業の迅速な実施について」が1件となっている。

<図表3-4-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[廃炉作業の迅速な実施への要望]

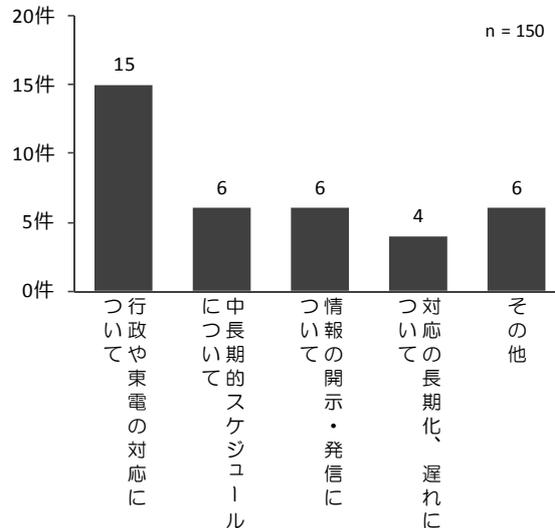
- 復興スケジュールでは3年後までに帰還出来るとなっていますが、仮置場が全部なくならないかぎり帰れないと皆思っています。仮置場の早期撤去。風評被害の減少。原発事故の終末。絵に書いた「もち」にならないようにお願いします。(70代以上)

### III 調査結果

#### (9) 原発事故に対する対応について

原発事故に対する対応についての具体的な意見としては、「行政や東電の対応について」が15件と最も多く、次いで「中長期的スケジュールについて」、「情報の開示・発信について」がともに6件となっている。

〈図表3-4-10 原発事故に対する対応についての意見〉



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政や東電の対応について】

- 奥歯にものごはさまった言い方をやめて、本音で話し合いがしたい。年月や時間かせぎとしか思えない（60代）
- とにかく原発に対する安心、安全がない。東電そのものが無責任（国も）。福島県人は人と思っていない、他人事と考えている。（60代）
- 情報がとぼしく決定が非常におそい。決定したものが一般に届かない。そしてまた変更する。信頼できなくなってしまう。（60代）

#### 【中長期的スケジュールについて】

- 震災の時までは、家族4人で生活していました。今では2カ所に分かれています。親と息子の間で、これから先どうするか決めかねています。決められない状況です。国や行政には今後の指針を早く示してほしいと思っています。（40代）

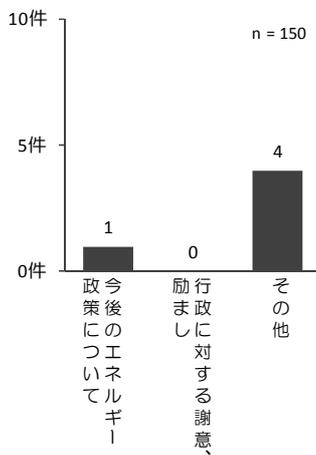
#### 【情報の開示・発信について】

- 今なお避難生活を続けている方々があります。住民とあらそうのが国や自治体の役割ではなく潤滑油となることを望みます。都度の情報発信で住民の不安をやわらげ少しでも納得した形で帰還できるよう御尽力下さい。また、帰れたから終わりではなく、帰ってからがスタートだと思いますのでその後の展望も示してもらえよう早期に対応して頂きたい。（30代）
- 早く先が見えるような情報がほしい。（70代以上）

(10) その他

その他については、「今後のエネルギー政策について」が1件などとなっている。

<図表3-4-11 その他についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[今後のエネルギー政策について]

- 再生エネルギー（田畑利用）への転換。（50代）



## **IV 參考資料**



## 4-1 使用調査票

## 川俣町山木屋地区 住民意向調査

## 記入上の注意

## ● 調査をお願いする方

ご回答は、**世帯の代表者の方**をお願いいたします。  
 現在世帯が何か所かに分かれて避難されている場合は、**それぞれの場所にお住まいの代表者の方**に、ご回答をお願いいたします。

## ● 実施主体 復興庁・福島県・川俣町

## ● ご回答方法

ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。  
 「その他」に○をされた場合は、( ) 内に具体的な内容もご記入ください。  
 の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。

## ➤ 個人情報について

- ・調査票は記名式でお願いしております。（最後のページに「住所」、「氏名」、「連絡先」のご記入をお願いします）。
- ・調査票に記載いただいた個人情報は、復興庁、福島県及び川俣町において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用致しません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行い、個別内容が公表されることはありません。

## ● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、**1月29日（水）まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

## 【お問い合わせ先】

復興庁「住民意向調査」問い合わせセンター

フリーダイヤル 0120-955-894

[設置期間：1月16日（木）～1月29日（水）平日午前10時～午後5時]

（土・日・祝を除く）

## IV 参考資料

【すべての方にかがいます。】

**問 1** あなたの現在の年齢(○は1つ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳   | 8. 50~54歳  |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳  |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上  |

【すべての方にかがいます。】

**問 2** 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)  | 7. パート・アルバイト           |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中)         | 8. 学生 ⇒問 3 へ           |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) ⇒問 3 へ |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) ⇒問 3 へ |
| 5. 団体職員                   | 11. その他 (具体的に          |
| 6. 公務員                    | )                      |

【問 2 (1) で「1」から「7」、「11」と回答した方にかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業      | 7. 金融・保険業     |
| 2. 建設業            | 8. 医療・福祉      |
| 3. 製造業            | 9. 教育         |
| 4. 電気・ガス・水道業      | 10. 公務        |
| 5. 運輸業            | 11. その他 (具体的に |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 | )             |

【問 2 (1) で「1」から「7」、「11」と回答した方にかがいます。】

(3) 就業先の所在自治体

(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

震災・原発事故発生当時および発生前の、あなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 3** 震災および原発事故発生当時にお住まいだった行政区を、以下から教えてください。(○は1つ)

- |        |       |         |
|--------|-------|---------|
| 1. 1区  | 5. 4区 | 9. 甲8区  |
| 2. 甲2区 | 6. 5区 | 10. 乙8区 |
| 3. 乙2区 | 7. 6区 | 11. 9区  |
| 4. 3区  | 8. 7区 |         |

【すべての方にうかがいます。】

**問 4** あなたは、震災および原発事故発生当時、世帯主でしたか。(○は1つ)

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1. 当時世帯主だった | 2. 当時世帯主ではなかった |
|-------------|----------------|

【すべての方にうかがいます。】

**問 5** 震災および原発事故発生当時の、あなたの職業を教えてください。

当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源になっていた職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者              | 7. 学生 ⇒問 6 へ             |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 8. 無職(職を探していなかった) ⇒問 6 へ |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していた) ⇒問 6 へ    |
| 4. 団体職員                   | 10. その他 [具体的に            |
| 5. 公務員                    |                          |
| 6. パート・アルバイト              | ]                        |

【仕事に就いていた方(問 5 (1) で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業      | 7. 金融・保険業     |
| 2. 建設業            | 8. 医療・福祉      |
| 3. 製造業            | 9. 教育         |
| 4. 電気・ガス・水道業      | 10. 公務        |
| 5. 運輸業            | 11. その他 [具体的に |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 |               |
|                   | ]             |

【仕事に就いていた方(問 5 (1) で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 就業先の所在自治体

(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

#### IV 参考資料

【すべての方にかがいます。】

**問 6** 震災および原発事故発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 持ち家(一戸建)     | 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |
| 2. 持ち家(集合住宅)    | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家  |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建)  | 8. 親戚・知人宅           |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 9. その他〔具体的に〕        |
| 5. 町営住宅         |                     |

▼【問 6 で「1. 持ち家(一戸建)」「2. 持ち家(集合住宅)」と回答した方にかがいます。】

**問 6-1** 震災および原発事故発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況ですか。(○は1つ)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる |
| 2. 修理すれば住める状況            |
| 3. 特に損傷はない ⇒問 7 へ        |
| 4. わからない ⇒問 7 へ          |

▼【問 6-1 で「1. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」「2. 修理すれば住める状況」と回答した方にかがいます。】

**問 6-2** 震災および原発事故発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような被害や劣化等がありますか。(○はいくつでも)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 地震の影響と思われる大きな損壊等がある | 5. カビが多く発生している         |
| 2. 火災被害を受けている          | 6. 屋内の放射線量が高い(屋外と同等程度) |
| 3. 動物等が侵入した跡があり荒れている   | 7. その他〔具体的に〕           |
| 4. 雨漏りの形跡がみられる         |                        |

**避難状況について教えてください。**

【すべての方にかがいます。】

**問 7** あなたが現在避難されている先の自治体を教えてください。(○は1つ)

- |           |   |
|-----------|---|
| 1. 川俣町内   | 【 浜 通 り 】   |
|           | 17. いわき市  |
| 【 中 通 り 】 | 18. 相馬市   |
| 2. 福島市    | 19. 南相馬市  |
| 3. 郡山市    | 20. 新地町   |
| 4. 白河市    |   |
| 5. 須賀川市   | 21. 福島県内のその他の市町村(具体的にご記入ください。)                                  |
| 6. 二本松市   | → <input type="text"/> (市・町・村)                                  |
| 7. 田村市    |   |
| 8. 伊達市    | 22. 福島県外(具体的にご記入ください。)  |
| 9. 本宮市    | → <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) |
| 10. 桑折町   |   |
| 11. 大玉村   |   |
| 12. 西郷村   |   |
| 13. 三春町   |   |
| 【 会 津 】   |   |
| 14. 会津若松市 |   |
| 15. 喜多方市  |   |
| 16. 会津美里町 |   |

【すべての方にうかがいます。】

**問 8** 現在と、震災および原発事故発生当時の世帯構成についてうかがいます。

(1) 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上 18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上 65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

(2) 震災および原発事故発生当時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上 18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上 65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

(3) 震災および原発事故発生当時ご一緒にお住まいであったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。

(○は1つ)

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1. 世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む) | 3. 合計3か所に分散   |
| 2. 合計2か所に分散                | 4. 合計4か所以上に分散 |

【すべての方にうかがいます。】

**問 9** 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

- |                                |                     |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)            | 6. 家族のどなたかのお住まい・実家  |
| 2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借上げ型。無償) | 7. 親戚・知人宅           |
| 3. 公営住宅(1.は除く。有償)              | 8. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| 4. 民間賃貸(有償)                    | 9. その他 (具体的に        |
| 5. 給与住宅(社宅など)                  | )                   |

【すべての方にうかがいます。】

**問 10** 現在、自動車は何台保有していますか。(○は1つ)

- |            |
|------------|
| 1. 1台      |
| 2. 2台      |
| 3. 3台以上    |
| 4. 保有していない |

【すべての方にうかがいます。】

**問 11** 現在、ペットを飼っていますか。(○はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 中小型犬(両手で抱えられる程度の大きさ)を飼っている |
| 2. 大型犬(「1」以外)を飼っている           |
| 3. 猫を飼っている                    |
| 4. 犬、猫以外のペットを飼っている(具体的に       |
| 5. ペットは飼っていない                 |

ここからは、「①避難期間中の住居」「②将来に関するご意向」について、二段階でお聞きします。

まずは、「①避難期間中の住居」についてお聞かせください。

### 原発避難者向け復興公営住宅について

福島県では、震災および原発事故により避難されている方々のコミュニティの維持・形成の拠点となる復興公営住宅の整備計画を策定しています。

全体で4,890戸を整備する予定であり、現在、受入自治体毎に、整備に向けた具体的な協議を進めているところです。

<整備戸数・箇所>

福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	二本松市	南相馬市	川俣町	三春町	田村市、本宮市、桑折町、大玉村、川内村 他
430 戸	100 戸	570 戸	1,760 戸	340 戸	900 戸	170 戸	220 戸	400 戸

※ 整備戸数は、これまでに実施した住民意向調査の結果等を基に算出した概ねのものであり、今後の関係市町村との協議や住民意向調査の結果等により、適宜見直しを行います。

現在、第1期分として、平成26年度からの入居を目指し、いわき市、郡山市、会津若松市において、合計500戸の整備を進めています（第1期分は集合住宅タイプ）。

※別刷りの「復興公営住宅について」をご参照ください。

### 川俣町内での復興公営住宅の整備について

川俣町では、居住制限区域（乙8区）の全世帯と、避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯等のために、避難期間中も安心して生活できる環境の整備を予定しています。

現在、町内の川俣精練跡地に町営の復興公営住宅の整備を進めています。

また、これ以外にも必要に応じて整備の検討を行います。

<川俣精練跡地の町営復興公営住宅の整備概要>

・復興公営住宅40戸程度

※別刷りの「川俣精練跡地の町営復興公営住宅の整備イメージ」をご参照ください。

復興公営住宅は、長期避難を余儀なくされる方を対象とした住宅です。復興公営住宅の整備戸数については、居住制限区域の全世帯と、避難指示解除準備区域のうち避難が長期化せざるを得ない18歳未満の子育て世帯を対象とした調査結果により検討いたします。

なお、復興公営住宅の入居には家賃が必要となります。避難中の家賃は原則として、避難指示解除後の相当期間までは賠償の対象となります。（ただし、原子力損害賠償紛争審査会の議論の結果等を踏まえ、家賃の取扱いについて再整理されることがあります。）

【すべての方にうかがいます。】

**問 12** 現在、福島県、川俣町では上記の通り、復興公営住宅の整備を予定しています。あなたのご家族は、復興公営住宅への入居を希望しますか。（○は1つ）

1. 入居を希望する ⇒問 12-2 へ
2. 現時点では判断できない ⇒問 12-1 へ
3. 入居を希望しない ⇒問 12-8 へ

【問 12 で「2. 現時点では判断できない」と回答した方にうかがいます。】

**問 12-1** 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 集合住宅に住むことに抵抗があるから	4. 周辺にある施設や住環境がわからないから
2. どの地域の復興公営住宅に入居できるかわからないから	5. 近所にどういふ人が住むかわからないから
3. 復興公営住宅の家賃、間取り等が詳細にわからないから	6. 自身の生活の見通しが立っていないから
	7. その他 [具体的に ]

【復興公営住宅へ入居を検討する方(問 12 で「1」、「2」と回答した方)にうかがいます。】

**問 12-2** 復興公営住宅に入居するに当たって、希望する地域と家族構成をお聞かせください。

※現在の世帯から複数に分かれて入居を希望される場合は、それぞれの世帯についてお答えください。

<1世帯目>

(1)最も希望する自治体を教えてください。(○は1つ)

1. 川俣町	7. 二本松市	13. 喜多方市	19. 檜葉町
2. 福島市	8. 大玉村	14. 田村市	20. 川内村
3. 郡山市	9. 三春町	15. 本宮市	21. その他
4. 会津若松市	10. 桑折町	16. 鏡石町	[具体的に ]
5. いわき市	11. 白河市	17. 小野町	
6. 南相馬市	12. 須賀川市	18. 広野町	

(2)家族構成をご記入ください。(人数で回答) ※現在ご一緒にお住まいの家族について、ご記入ください。

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満(中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

<2世帯目>

分散して入居を希望しない場合は、下記の(3)で「22」を選び、問 12-4 へ進んでください。

仕事の都合、家族の人数の都合等により分散して入居を希望する場合は、(3)「1」から「21」の中から、最も希望する自治体を選び、(4)にもご回答ください。

(3)最も希望する自治体を教えてください。(○は1つ)

1. 川俣町	9. 三春町	17. 小野町	22. 分散して入居する希望はない ⇒問 12-4 へ
2. 福島市	10. 桑折町	18. 広野町	
3. 郡山市	11. 白河市	19. 檜葉町	
4. 会津若松市	12. 須賀川市	20. 川内村	
5. いわき市	13. 喜多方市	21. その他	[具体的に ]
6. 南相馬市	14. 田村市		
7. 二本松市	15. 本宮市		
8. 大玉村	16. 鏡石町		

(4)2世帯目の家族構成をご記入ください。(人数で回答) ※現在ご一緒にお住まいの家族について、ご記入ください。

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満(中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

#### IV 参考資料

【分散して復興公営住宅へ入居を希望する方（問 12-2(3)で「1」から「21」に回答した方）にうかがいます。】

**問 12-3** 復興公営住宅へ2戸以上に分かれて入居する場合、現在ご一緒にお住まいの家族との生活について、どのような形を希望しますか。（〇はいくつでも）

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 隣接する別の住宅で生活          | 3. 隣接、近接しない別の住宅で生活 |
| 2. 同じ敷地内の別の住宅又は近くの住宅で生活 | 4. その他(具体的に )      |

【現在分散して避難されている方（問 8(3)で「2」から「4」と回答した方）にうかがいます。】

**問 12-4** 復興公営住宅に入居する場合、分散して避難している家族との同居について、どのような形を希望しますか。（〇はいくつでも）

- |                         |                                   |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 同じ住宅での生活             | 4. 隣接、近接しない別の住宅で生活                |
| 2. 隣接する別の住宅で生活          | 5. その他(具体的に )                     |
| 3. 同じ敷地内の別の住宅又は近くの住宅で生活 | 6. 分散して避難している家族は、復興公営住宅への入居を希望しない |

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問 12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

**問 12-5** あなたが希望する自治体としてご回答になられた理由はどのような理由ですか。ご家族が分散している場合には、それぞれ番号をお選びください。（世帯ごとに〇はいくつでも）

	1世帯目	2世帯目
放射線量や原子力被害の危険性が少ない(ない)から	1	1
気候や風土が良いから	2	2
川俣町(山木屋地区)に近いから	3	3
現在の避難先に近いから	4	4
人間関係やコミュニティ活動を大切にしたいから	5	5
地域の方が多く住んでいるから	6	6
分かれて住んでいる家族が近くにいるから	7	7
電車やバスなど公共交通機関が整っているから	8	8
医療機関(病院・診療所)が整っているから	9	9
介護・福祉サービスが整っているから	10	10
学校など教育施設が整っているから(仮設学校が近いから)	11	11
子どもに適した教育(保育)環境があるから	12	12
商店やスーパーなど生活に必要な商業施設が整っているから	13	13
働く場所や機会が多いから	14	14
自分の事業用地や事業に適しているから	15	15
従業員を雇用しやすいから	16	16
その他(具体的に )	17	17

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問 12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

**問 12-6** 復興公営住宅に入居する場合に、その住宅に近接する施設、機能として必要だと思うものは何ですか。（〇は3つまで）

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1. 医療施設    | 6. 役所(役場)出張所  |
| 2. 介護・福祉施設 | 7. 公園・広場      |
| 3. 学校      | 8. 貸し農園、家庭菜園  |
| 4. 保育施設    | 9. その他(具体的に ) |
| 5. 商店      |               |

【復興公営住宅へ入居を検討する方（問12で「1」、「2」と回答した方）にうかがいます。】

**問12-7** 復興公営住宅に入居する場合に、サービスとして必要だと思うものは何ですか。（〇は3つまで）

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1. 避難住民同士の交流会等の開催 | 5. 健康相談員の設置 |
| 2. 地元住民との交流会等の開催  | 6. その他（具体的に |
| 3. 高齢者向けの見守り（巡回等） | ）           |
| 4. 子どもの学習支援       |             |

問12-12へ  
お進みください

【問12で「3. 入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】

**問12-8** あなたは避難指示が解除されるまでの期間の避難先での住居をどのようにお考えですか。（〇は1つ）

1. 今の住居で当面、継続して暮らしたい ⇒問12-9へ
2. 現在居住している市町村内の別の住居へ引っ越したい ⇒問12-11へ
3. 現在居住している市町村以外へ引っ越したい ⇒問12-10へ
4. 現時点ではわからない、判断できない ⇒問12-12へ

【問12-8で「1. 今の住居で当面、継続して暮らしたい」と回答した方にうかがいます。】

**問12-9** 今の住居で継続して暮らしたい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- |                        |                                       |
|------------------------|---------------------------------------|
| 1. 今の地域コミュニティになじんでいるから | 7. 子どもを転校させたくないから                     |
| 2. 立地が気に入っているから        | 8. 自分又は家族の持ち家だから                      |
| 3. 間取り等今の住宅が気に入っているから  | 9. 今の住宅の家賃が無償だから<br>(家賃が賠償対象になっているから) |
| 4. 現在の職場が近くて便利だから      | 10. 引っ越しを繰り返すのがいやだから                  |
| 5. 買い物等の日常生活に便利だから     | 11. その他（具体的に                          |
| 6. 防犯上安心だから            | ）                                     |

問12-12へお進みください

【問12-8で「3. 現在居住している市町村以外へ引っ越したい」と回答した方にうかがいます。】

**問12-10** 避難期間中に、転居を希望される自治体を教えてください。（〇は1つ）

- |           |   |
|-----------|---|
| 1. 川俣町内   |   |
| 【中通り】     | 【浜通り】   |
| 2. 福島市    | 17. いわき市  |
| 3. 郡山市    | 18. 相馬市   |
| 4. 白河市    | 19. 南相馬市  |
| 5. 須賀川市   | 20. 広野町   |
| 6. 二本松市   | 21. 檜葉町   |
| 7. 田村市    | 22. 川内村   |
| 8. 伊達市    | 23. 新地町   |
| 9. 本宮市    | 24. 福島県内のその他の市町村(具体的にご記入ください。)                                  |
| 10. 桑折町   | → <input type="text"/> (市・町・村)                                  |
| 11. 大玉村   |   |
| 12. 西郷村   | 25. 福島県外(具体的にご記入ください。)  |
| 13. 三春町   | → <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区) |
| 【会津】      |   |
| 14. 会津若松市 |   |
| 15. 喜多方市  |   |
| 16. 会津美里町 |   |

## IV 参考資料

【問 12-8 で「2.現在居住している市町村内の別の住居へ引っ越したい」

「3.現在居住している市町村以外へ引っ越したい」と回答した方にうかがいます。】

**問 12-11** 避難期間中の現在の居住地から他への避難先への移動を希望する場合、希望する住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建)                | 6. 給与住宅(社宅など)      |
| 2. 持ち家(集合住宅)               | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建)             | 8. 親戚・知人宅          |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅)            | 9. その他〔具体的に        |
| 5. 公営住宅(居住制限者向けの復興公営住宅を除く) | 〕                  |

【すべての方にうかがいます。】

**問 12-12** 避難期間中の住宅や居住環境についてご意見があればお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 12-13** 避難期間中の生活において困っていること、改善を求めることがあればお書きください。  
(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)

次に、将来に関するご意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 13 今後の職業についてどのように考えていますか。(○は1つ)

【震災および原発事故発生時の職業が自営業・会社経営者以外の方は、下記にご回答ください。】	【震災および原発事故発生時の職業が自営業・会社経営者の方は、下記にご回答ください。】
<p>1. 震災および原発事故発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい</p> <p>2. 震災及び原発事故発生後に転職又は就職し、今後も現在の職場で働き続けたい</p> <p>3. 今後、震災および原発事故発生当時に勤めていた<u>職場付近</u>で職場が用意されるなら、そこで働きたい</p> <p>4. 今後、震災および原発事故発生当時に勤めていた<u>職場付近以外</u>の職場で働きたい → 希望地があれば、具体的にご記入ください</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px;"></div> <span>(都・道・府・県)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px;"></div> <span>(市・町・村・区)</span> </div>	<p>1. 現在仕事をしており、今後も続けたい</p> <p>2. 現在は休業しているが、震災および原発事故発生当時の仕事の再開が<u>元の場所</u>で見通しが立っている</p> <p>3. 現在は休業しているが、震災および原発事故発生当時の仕事の再開が<u>元の場所以外</u>で見通しが立っている → 具体的にご記入ください</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px;"></div> <span>(都・道・府・県)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px;"></div> <span>(市・町・村・区)</span> </div>
<p>5. 今後、働く予定はない</p> <p>6. その他 (具体的に</p>	<p>4. 現在は休業しており、震災および原発事故発生当時の仕事の再開の見通しは立っていないが、<u>元の場所</u>で再開させたい</p> <p>5. 現在は休業しており、震災および原発事故発生当時の仕事の再開の見通しは立っていないが、<u>元の場所以外</u>で再開させたい → 具体的にご記入ください</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px;"></div> <span>(都・道・府・県)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px;"></div> <span>(市・町・村・区)</span> </div> <p>6. 今後、仕事をする予定はない</p> <p>7. その他 (具体的に</p>

【問 13 で「3. 今後、震災および原発事故発生当時に勤めていた職場付近で職場が用意されるなら、そこで働きたい」「4. 今後、震災および原発事故発生当時に勤めていた職場付近以外の職場で働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 職場を選ぶ際に、重要視することは何ですか。(○は3つまで)

1. 職場までの通勤時間	6. 雇用形態
2. 勤務地(通勤時間を除く)	7. 社会保険の有無
3. 職種・業種	8. 所定労働時間
4. 給料	9. その他 (具体的に
5. 職場の規模	)

## IV 参考資料

【すべての方にかがいます。】

**問 14** 将来、山木屋地区の避難指示が解除された後の山木屋地区への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(現在一緒にお住まいの家族の一部だけでも戻りたいと考えている場合は「1」を選んでください)(○は1つ)

- |                                |                               |                                |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 現時点で戻りたいと考えている<br>⇒問 14-3 へ | 2. 現時点でまだ判断がつかない<br>⇒問 14-1 へ | 3. 現時点で戻らないと決めている<br>⇒問 14-7 へ |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|

【問 14 で「2. 現時点でまだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

**問 14-1** 山木屋地区へ戻ることを判断する上で必要と思う情報等について、あてはまるものをすべて教えてください。(○はいくつでも)

1. 避難解除となる時期の目安に関する情報
2. 道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途
3. どの程度の住民が戻るかの状況
4. 放射線量の低下の目途、除染成果の状況
5. 中間貯蔵施設の情報
6. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
7. 放射線の人体への影響に関する情報
8. 働く場の確保の目途
9. 受領する賠償額の確定
10. その他(具体的に )
11. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない ⇒問 15 へ

【問 14-1 で「1」から「10」と回答した方にかがいます。】

**問 14-2** 上記(問 14-1)で選んだ情報等のうち、重視したいものを3つまで選んで、選択肢番号の欄にご記入下さい。

そして、その情報等について、どのような条件であれば戻りたいと考えますか。  
具体的な条件の内容をお書きください。

選択肢番号	具体的な内容
(例) 3	元の人口の半分でも戻ってくるのであれば

⇒ 問 15 へお進みください

【問 14 で「1. 現時点で戻りたいと考えている」と回答した方にかがいます。】

**問 14-3** 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 元の持ち家(自宅)(建替える場合を含む)     | 7. 給与住宅(社宅など)      |
| 2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい | 8. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい    | 9. 親戚・知人宅          |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建)              | 10. その他(具体的に )     |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)             |                    |
| 6. 公営住宅                     | 11. 現時点では判断できない    |

「1.元の持ち家(自宅)(建替える場合を含む)」を選んだ方 ⇒ 次ページ 問 14-4 へお進みください

「2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」から  
「10.その他」を選んだ方 ⇒ 次ページ 問 14-5 へお進みください

「11.現時点では判断できない」を選んだ方 ⇒ 次ページ 問 14-6 へお進みください

【問 14-3 で「1. 元の持ち家（自宅）（建替える場合を含む）」と回答した方にかがいます。】

**問 14-4** 元の持ち家に戻る場合、ご自宅に対してどのような修繕などが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- |                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| 1. 震災で壊れた部分の修繕 | 7. 解体し建替え                        |
| 2. 住宅外壁の修繕     | 8. その他（具体的に）                     |
| 3. 屋根などの修繕     |                                  |
| 4. 住宅内部のリフォーム  | 9. 修繕の必要はない                      |
| 5. 家財などの買換え    | 10. 帰還時期がわからないためどの程度の修繕が必要かわからない |
| 6. 住宅の清掃・消毒    |                                  |

【問 14-3 で「2」から「10」と回答した方にかがいます。】

➡ 問 14-6 へお進みください

**問 14-5** 元の持ち家以外を希望される理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

- |                                      |                       |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 1. 元の持ち家(自宅)周辺の放射線量の高さが心配だから         | 4. 元の持ち家(自宅)が荒廃しているから |
| 2. 元の持ち家(自宅)周辺に住む人が少ないと思うから          | 5. その他（具体的に）          |
| 3. 川俣町内(もしくは山木屋地区内)の新たな場所で生活を開始したいから |                       |

【問 14 で「1. 現時点で戻りたいと考えている」と回答した方にかがいます。】

**問 14-6** 戻る場合に行政にどのような支援を望みますか。（〇はいくつでも）

- |                      |                                    |
|----------------------|------------------------------------|
| 1. 住宅再建、確保の支援        | 9. 放射線に関する説明会などの実施                 |
| 2. 継続的な健康管理の支援       | 10. きめ細かいモニタリングとその継続(空間線量率、水、食料品等) |
| 3. 雇用確保の支援           | 11. 地域自治会等のコミュニティ活動への支援            |
| 4. 町役場からの継続的な情報提供    | 12. イノシシ・ネズミ等の駆除                   |
| 5. 商店の再開             | 13. その他 具体的に                       |
| 6. バス等の公共交通機関の再開     |                                    |
| 7. 医療機関・介護・福祉サービスの再開 |                                    |
| 8. 学校や教育施設の再開        |                                    |

➡ 問 15 へお進みください

【問 14 で「3. 現時点で戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】

**問 14-7** 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

- |   |  |
|---|--|
| <p>【帰還の前提・健康に関わるもの】</p> <p>1. 放射線量が低下せず不安だから</p> <p>2. 原子力発電所の安全性に不安があるから</p> <p>3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから</p>  | <p>【今後の生活に関わるもの】</p> <p>14. 高齢者・要介護者だけの世帯なので生活が不安だから</p> <p>15. 他の住民も戻りそうにないから</p> <p>16. 帰還までに時間がかかるから</p> <p>17. 避難先で仕事を見つけているから</p> <p>18. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから</p> <p>19. 避難先の方が生活利便性が高いから</p> <p>20. その他 具体的に</p> |
| <p>【山木屋地区の復旧状況に関わるもの】</p> <p>4. 山木屋地区に戻っても仕事がなさそうだから</p> <p>5. 山木屋地区での事業の再開が難しいから</p> <p>6. 営農などができそうにないから</p> <p>7. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから</p> <p>8. 川俣町外への移動交通が不便だから</p> <p>9. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから</p> <p>10. 医療環境に不安があるから</p> <p>11. 介護・福祉サービスに不安があるから</p> <p>12. 教育環境に不安があるから</p> <p>13. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから</p> |  |

#### IV 参考資料

【問 14 で「3. 現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

**問 14-8** 帰還しない場合に、居住を希望する自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。

(1) 現在のお住まいの自治体にそのまま居住されるご予定ですか。(○は1つ)

1. 現在住んでいる自治体に住むつもり	}	⇒問 14-9 へ
2. 現状ではどうするか決まってない		
3. 別の自治体に転居したい		

【問 14-8(1) で「3. 別の自治体に移転したい」と回答した方にうかがいます。】

(2) 移転を検討される自治体を教えてください。(○は1つ)

1. 川俣町内	【 浜 通 り 】
【 中 通 り 】	17. いわき市
2. 福島市	18. 相馬市
3. 郡山市	19. 南相馬市
4. 白河市	20. 広野町
5. 須賀川市	21. 檜葉町
6. 二本松市	22. 川内村
7. 田村市	23. 新地町
8. 伊達市	24. 福島県内のその他の市町村(具体的にご記入ください。)
9. 本宮市	→ <input type="text"/> (市・町・村)
10. 桑折町	25. 福島県外(具体的にご記入ください。)
11. 大玉村	→ <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)
12. 西郷村	
13. 三春町	
【 会 津 】	
14. 会津若松市	
15. 喜多方市	
16. 会津美里町	

【問 14 で「3. 現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

**問 14-9** 転居する場合に、希望する住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)	)
2. 持ち家(集合住宅)	
3. 民間賃貸住宅(一戸建)	
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)	
5. 公営住宅	
6. 給与住宅(社宅など)	
7. 家族のどなたかのお住まい・実家	
8. 親戚・知人宅	
9. その他(具体的に	
10. 現時点では判断できない	

【問 14 で「3. 現時点で戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

**問 14-10** 震災および原発事故当時に居住されていた山木屋地区に戻らない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 住宅の確保の支援
2. 継続的な健康管理の支援
3. 雇用確保の支援
4. 仮設住宅・借り上げ住宅の継続的利用
5. 町役場からの継続的な情報提供
6. 一時帰宅支援
7. その他(具体的に

)

【すべての方にうかがいます。】

**問 15** 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

## IV 参考資料

最後に、あなたご自身のことについて教えてください。

本調査は、今後の復興公営住宅整備に向けて、住民のみなさまのご意見や要望などをおうかがいすることを目的として実施しております。今後、改めて、復興公営住宅について、詳しくご意向をお聞きする場合がありますので、現在のご住所とご連絡先のご記入をお願いいたします。

なお、当該欄にご記入いただくことによって、復興公営住宅への入居申し込みや入居の確約となるわけではありません。

**F1** 現在のあなたの住所(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

**F2** あなたの氏名

**F3** あなたの連絡先(電話番号)

以上でご回答いただく内容は終わりです。

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返送封筒にご記入済み調査票を入れて、  
1月29日(水)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

**川俣町 住民意向調査  
報告書**

**平成26年3月  
復興庁**

**調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター**